



## スライドドア収納庫

MRT ☆ - 90(120)HCATSG(SM・SW)1

MRT ☆ - 90(120)HBATSG(SM・SW)1

MRT ☆ - 90(120)TNSG(SM・SW)1

## 取扱説明書

## 取付・設置説明書

このたびは、お買い上げいただき  
ありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになって、  
正しく又末永くお使いください。
- 取扱説明書は、いつでも見られる場所に  
必ず保管し、必要な時にお読みください。

## もくじ

### 取扱説明書

・安全上のご注意	1～2
・各部の名称	3～5
・ご使用に際して	6～13
・お手入れ方法	13
・ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて／ アフターサービスについて／ ホルムアルデヒド発散区分／ VOC放散性能	14

### 取付・設置説明書

・安全上のご注意	15～16
・取付・設置前の確認	16
・製品寸法図	17～19
・部品の確認	20～23
・取付・設置方法	24～51
・引き戸の取付け	52～53
・引き戸の調整	54～55
・引き戸、上レールの固定	56
・戸当たりの本固定	57
・インナーパーツの取付け	58～59
・内装引出し前板の調整	60
・アース付コンセントの取付け【電気工事】	61
・取付・設置後の確認／ 取付・設置後の点検・清掃／ ホルムアルデヒド発散区分／ VOC放散性能	裏表紙



# 取扱説明書

## 安全上のご注意 必ずお守りください



ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。


安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



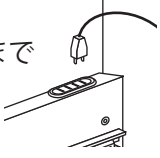

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

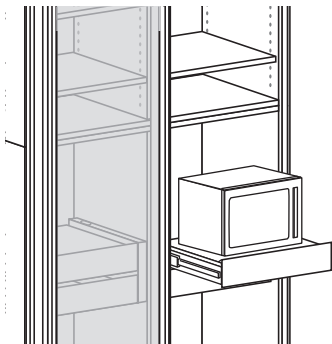
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

 **警告**

<p>分解・修理・改造は絶対にしないでください。</p> <div style="text-align: center;">             分解禁止         </div> <p>感電、発火、ケガ、異常動作の原因になります。故障と思われた時は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社にご連絡ください。</p>	<p>スライドコンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わないでください。</p> <div style="text-align: center;">  <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;">           1200W まで   </div> </div> <p>発熱により、火災の原因になることがあります。</p> <hr/> <p>スライドコンセントに水をかけないでください。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>感電や火災の原因になることがあります。</p>
---	--

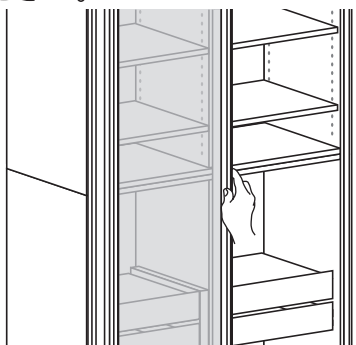
## ⚠ 注意

家電製品を使用する時は、必ずスライドボードを一杯まで引き出して、安定した状態で使用してください。



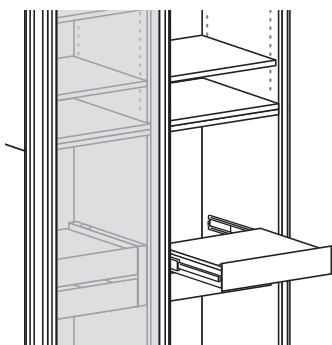
家電製品を使用した後で収納庫内に収納する場合は、家電製品が室温レベルに下がるまで待ってから、収納してください。オーブンレンジ、炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、ユニットの変形及び破損の原因になります。また、水蒸気が家電製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。なお、オーブンレンジ等を収納する場合は、壁に接する事がない様スライドボードの中央に配置してください。過熱、火災の原因になります。

引き戸の開閉は、必ず引手を持って、静かに行ってください。



指等をはさんだり、思わぬケガをする恐れがあります。

内装引出し、スライドボードにぶら下がったり、体重をかけたりしないでください。



ケガや破損の恐れがあります。

内装引出し、スライドボードを開ける際は、引き戸が確実に開いていることを確認してください。また、引き戸を閉める際は、内装引出し、スライドボードが確実に閉まっていることを確認してください。



引き戸に内装引出し、スライドボードが当たって、ケガや破損の恐れがあります。

引き戸に強い衝撃を与えないでください。



アルミが変形したり、ガラスや鏡が割れて、ケガをする恐れがあります。

棚板、内装引出し、スライドボードには指定の荷重以上載せないでください。



載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。



棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

濡れた手でコンセントにさわらないでください。

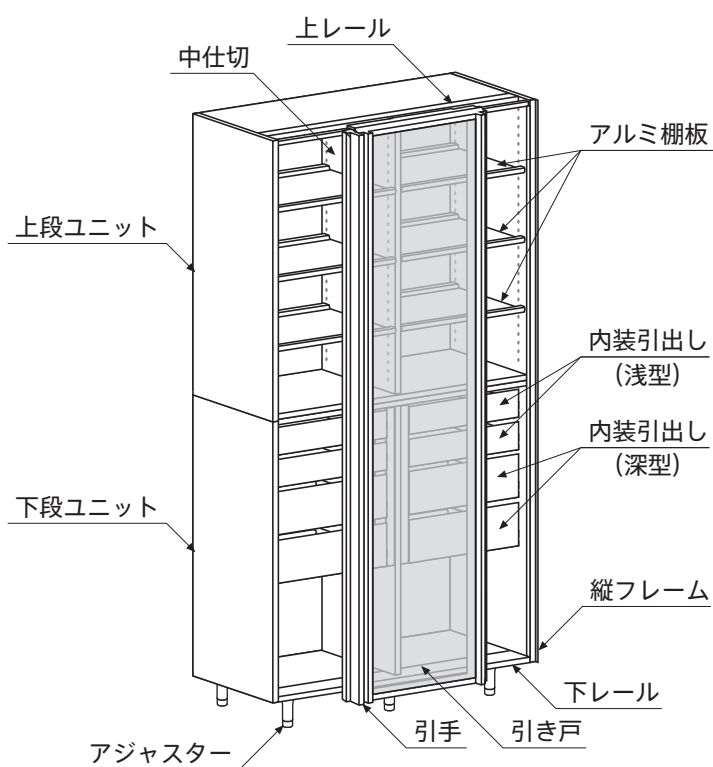


感電する恐れがあります。

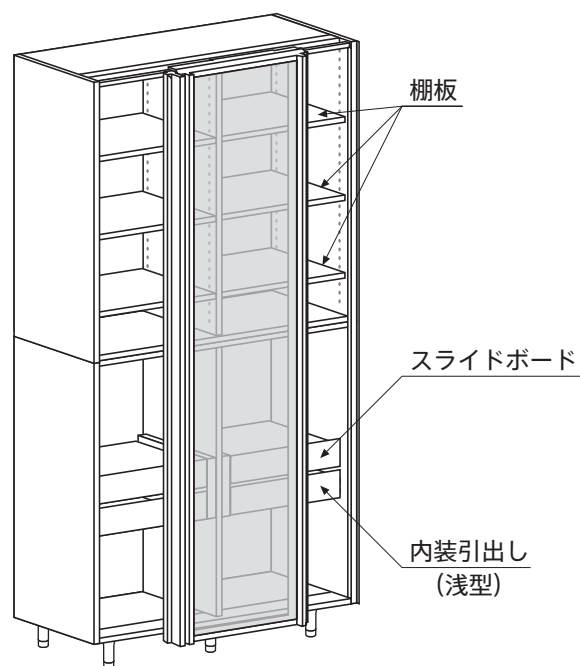
## 各部の名称

### ■ B A Y の場合

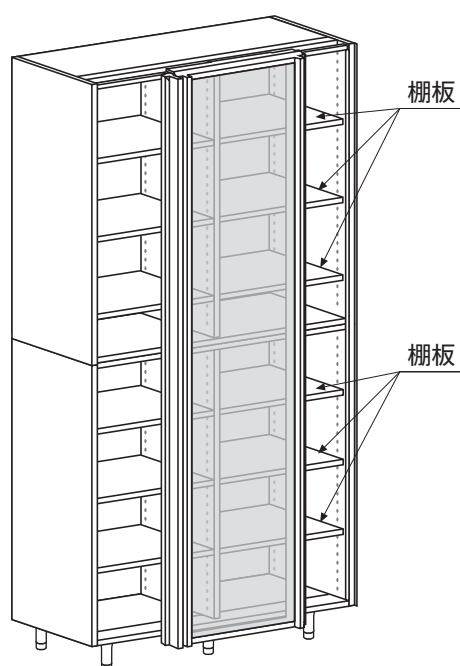
MRT1(5)DT - 90(120)HCATSG(SM・SW)1



MRT1(5)DT - 90(120)HBATSG(SM・SW)1



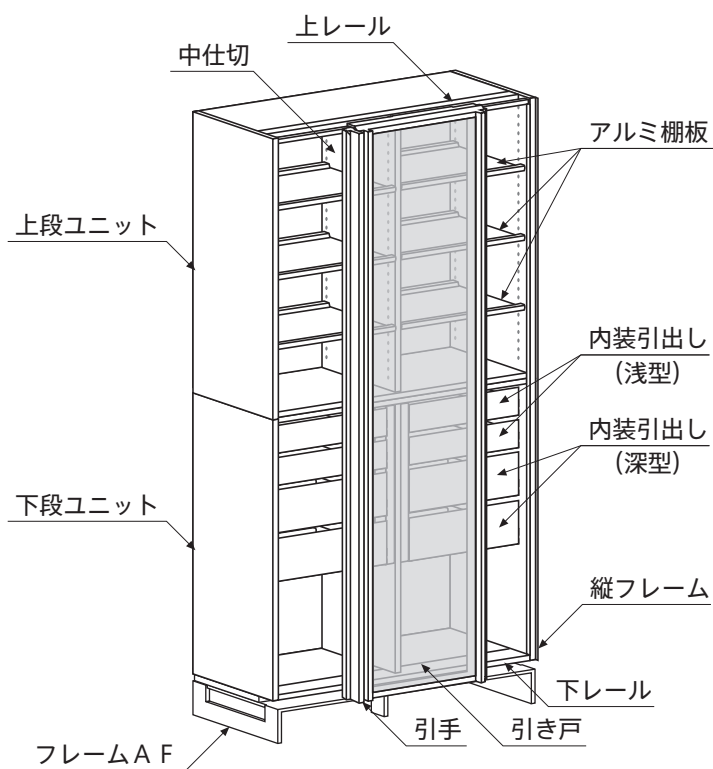
MRT1(5)DT - 90(120)TNSG(SM・SW)1



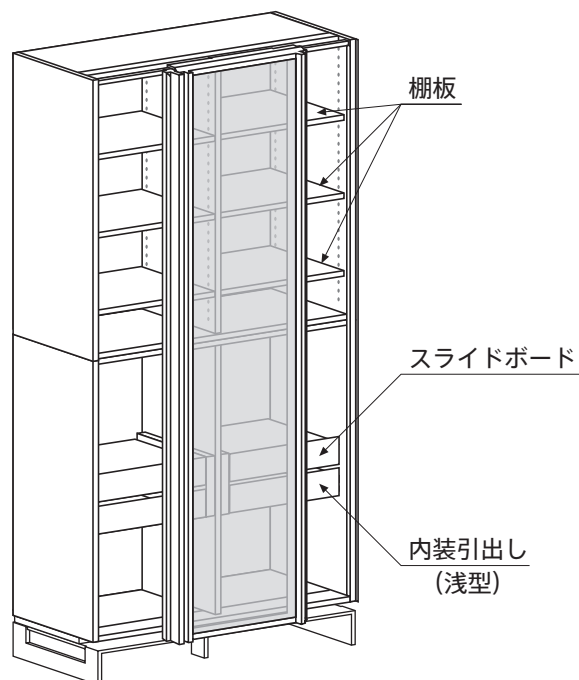
■ I N O の場合

※イラストは I N O A F F タイプの場合を示す。

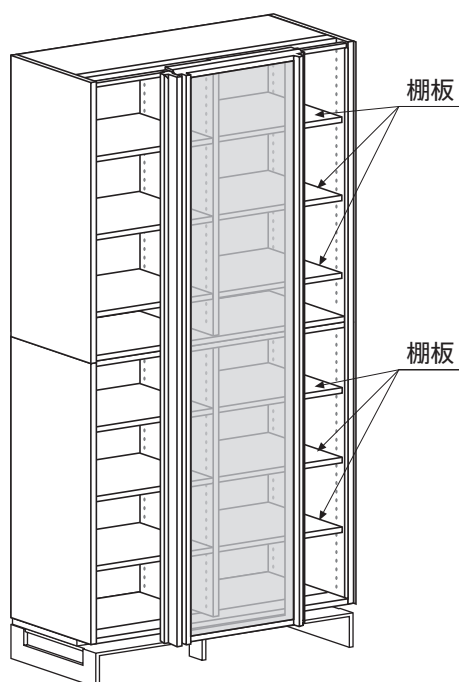
MRTN - 90(120)HCATSG(SM・SW)1



MRTN - 90(120)HBATSG(SM・SW)1

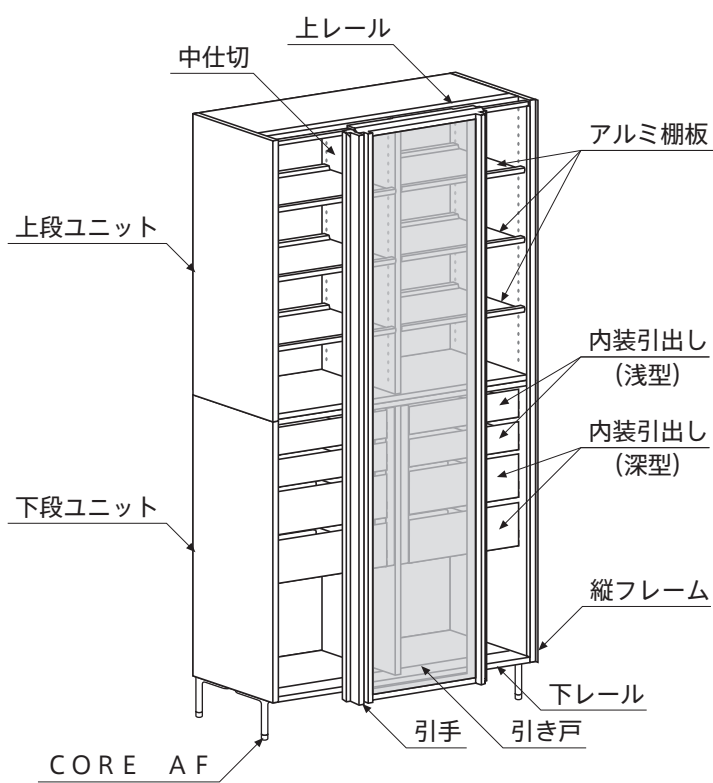


MRTN - 90(120)TNSG(SM・SW)1

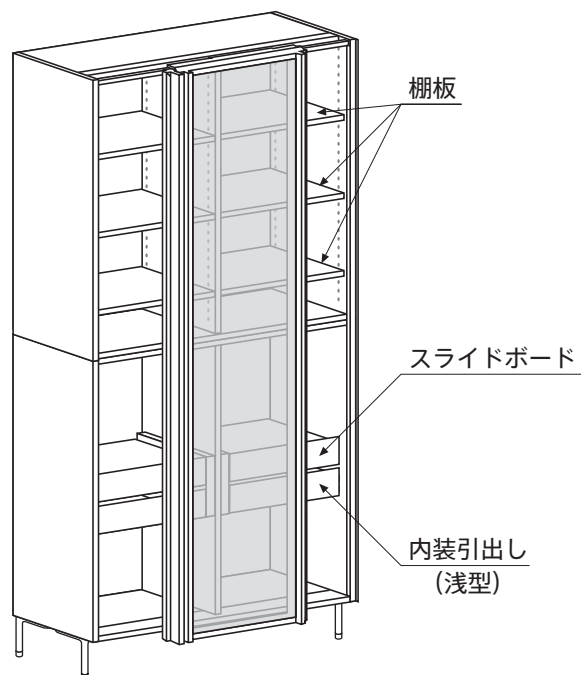


■COREの場合

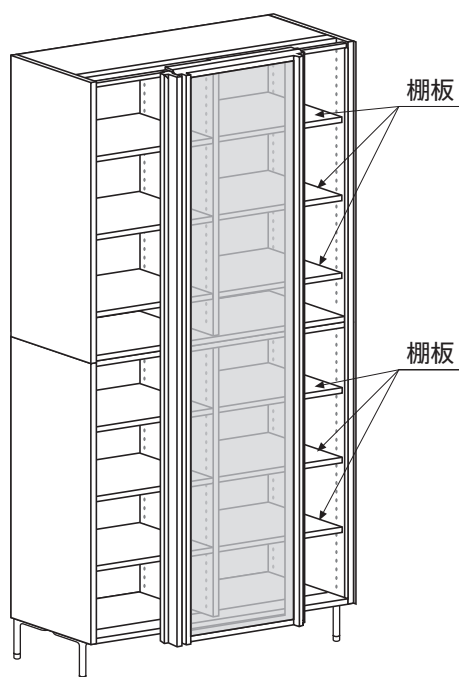
MRTN - 90(120)HCATSG(SM・SW)1



MRTN - 90(120)HBATSG(SM・SW)1



MRTN - 90(120)TNSG(SM・SW)1

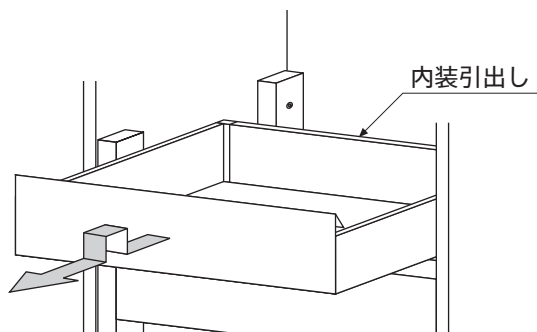


## 1 内装引出しの取り外し、取付け

【MRT☆ - 90(120)HCATS\*1、MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合】

### 〔取り外し〕

- ・内装引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。
- ※必ず両手で内装引出しを持って取り外してください。



### 〔取付け〕

- ・内装引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図1）
- ・内装引出しレールの上に内装引出しをのせてください。（図2）
- ・内装引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、内装引出しレールに固定します。（図3）

図1

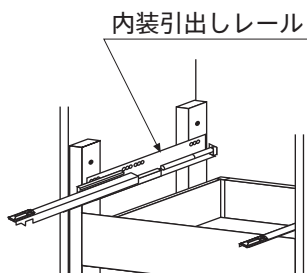


図2

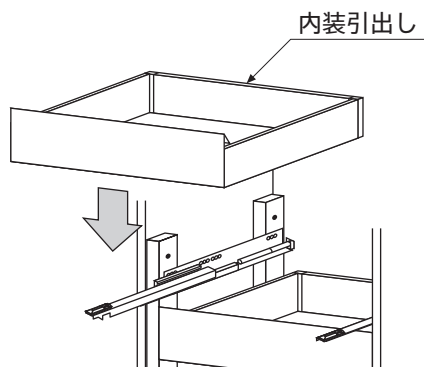
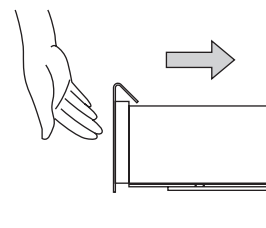


図3





## 2 クロスギャラリーの取付け (※オプション)

【MRT☆ - 90(120)HCATS\*1の内装引出し (深型) の場合のみ】

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。(図1)
- ・内装引出し (深型) のギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。(図2、図3)
- ・クロスギャラリーのネジを締めます。(図1)

※取り外す時は、逆の手順で行います。

図1

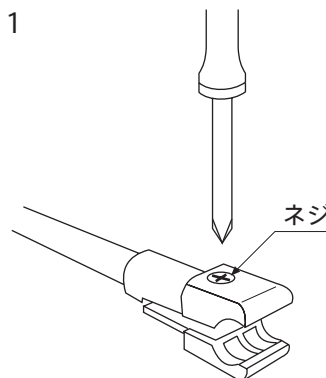


図2

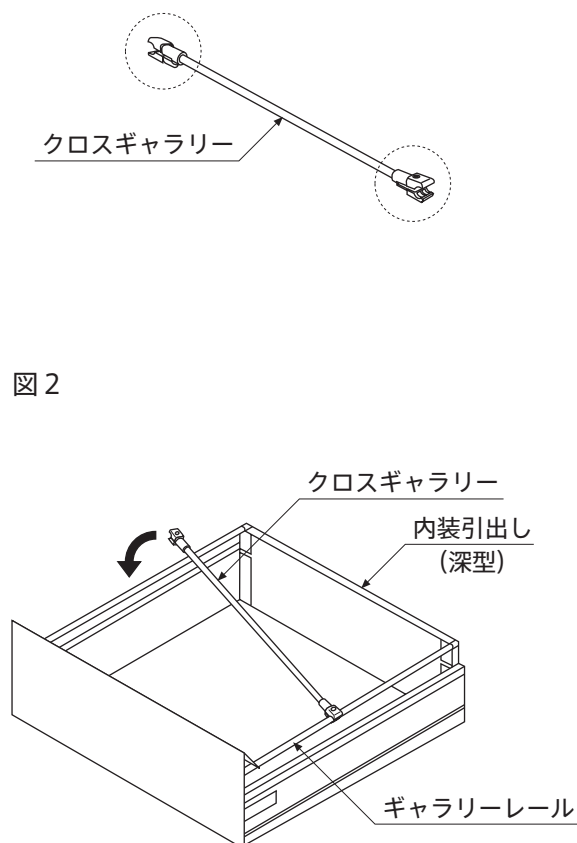
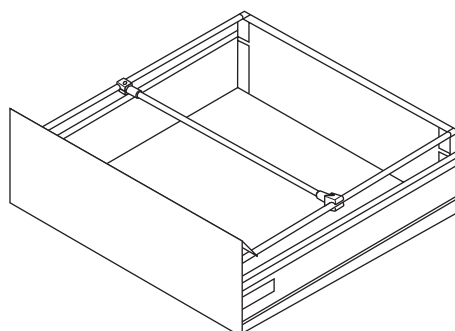


図3



## 3 スライドボードの取り外し、取付け

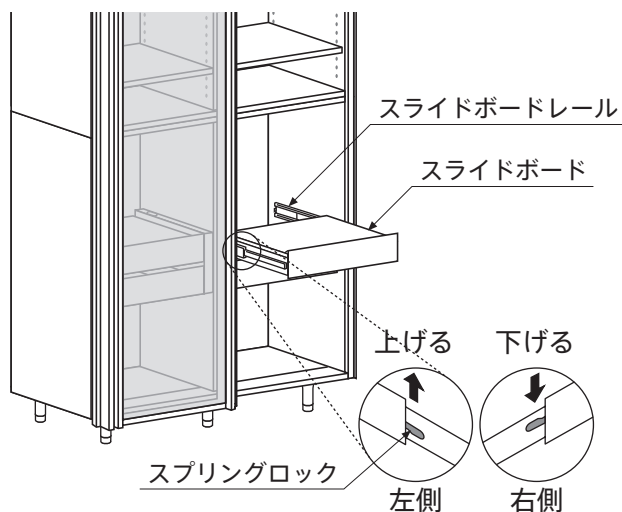
【MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合】

〔取り外し〕

- ・スライドボードをいっぱいまで引出した後、スライドボードレールについているスプリングロックを左側は上げながら、右側は下げながらさらに引出します。

〔取付け〕

- ・スライドボード本体のレールをスライドボードレールに差し込むようにスライドさせて取付けます。



## 4 引き戸の取り外し

### ■引き戸（R）の取り外し

- ・引き戸（R）の下部ローラーを斜め下に引き、下レールから外します。（図1・2・3）
- ・引き戸（R）を持ち上げ、上レールのレール部分（奥側）から取り外します。（図2・4）

図1

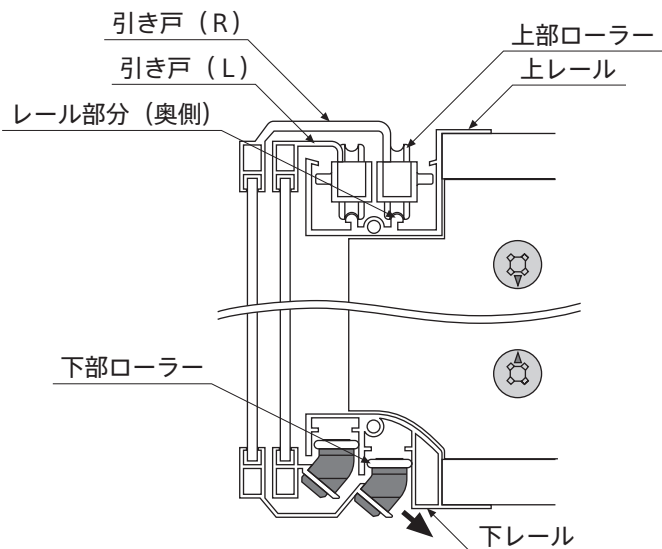


図4

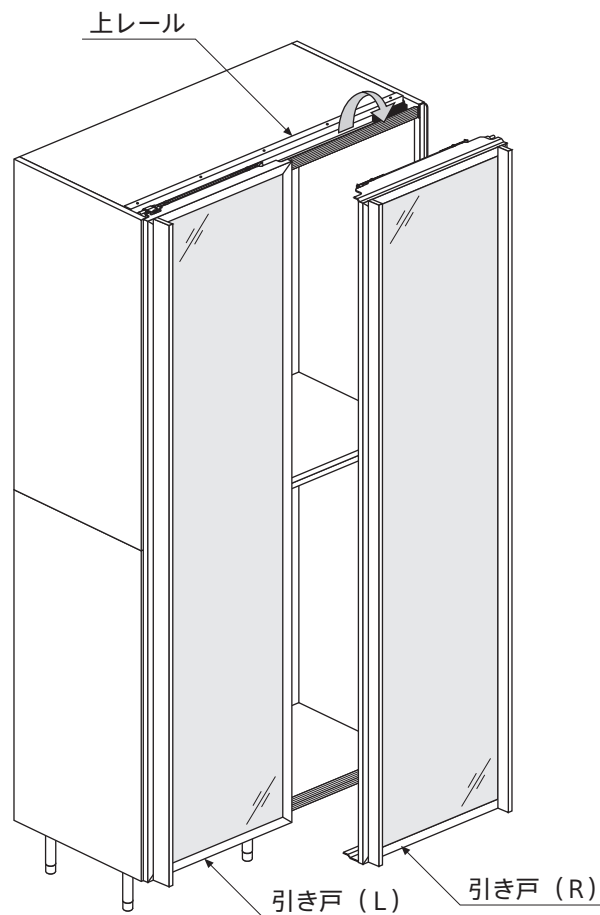


図2

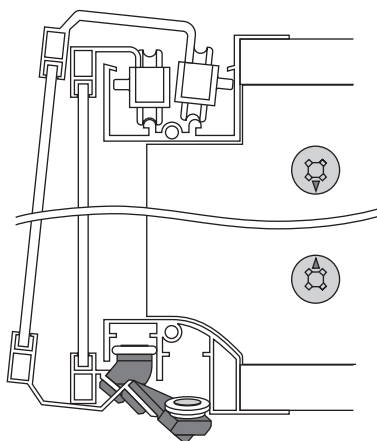
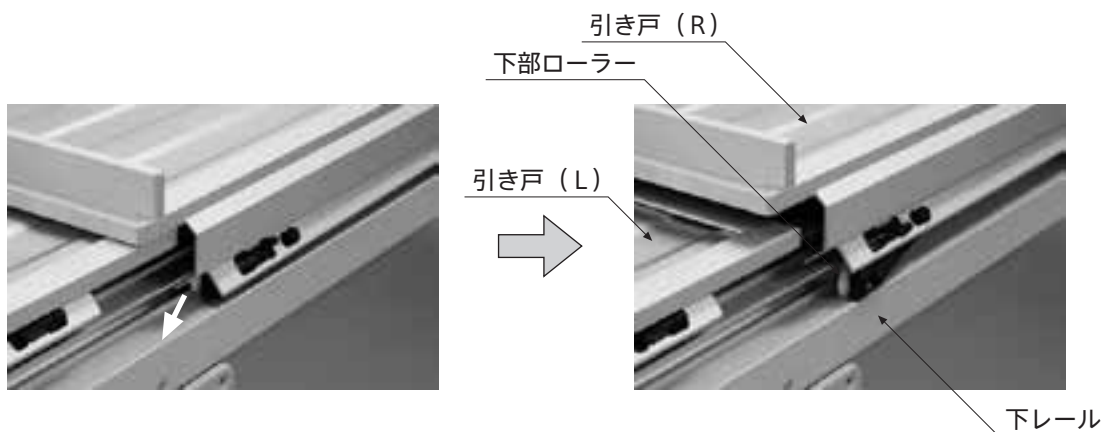


図3



※引き戸を取付ける際は、引き戸のフレームの直角、固定ネジのゆるみ、ローラー金具の取付ネジのゆるみがないか確認してください。  
 引き戸（R）を左右にスライドさせ、上下部ローラーが上下レールにはまっているか確認してください。  
 引き戸に傾きがないか確認してください。

## ■引き戸（L）の取り外し

- ・引き戸（L）の下部ローラーを斜め下に引き、下レールから外します。（図5・6・7）
- ・引き戸（L）を持ち上げ、上レールのレール部分（手前）から取り外します。（図6・8）

図5

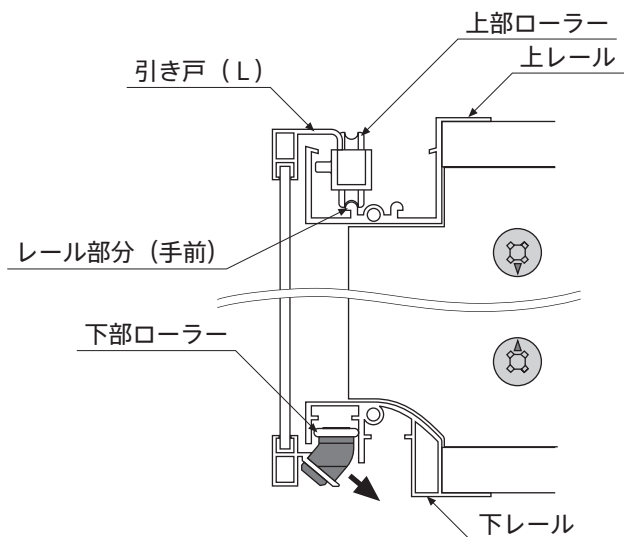


図8

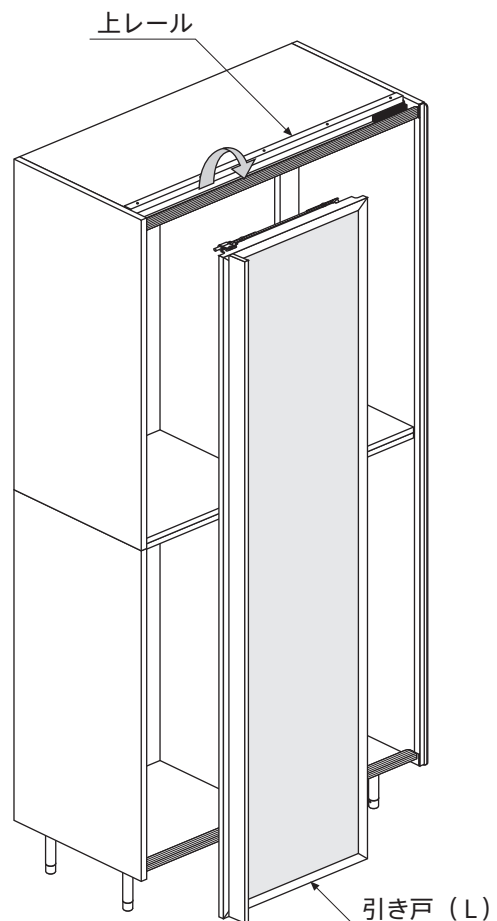


図6

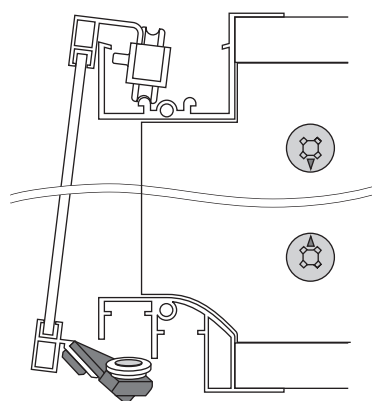
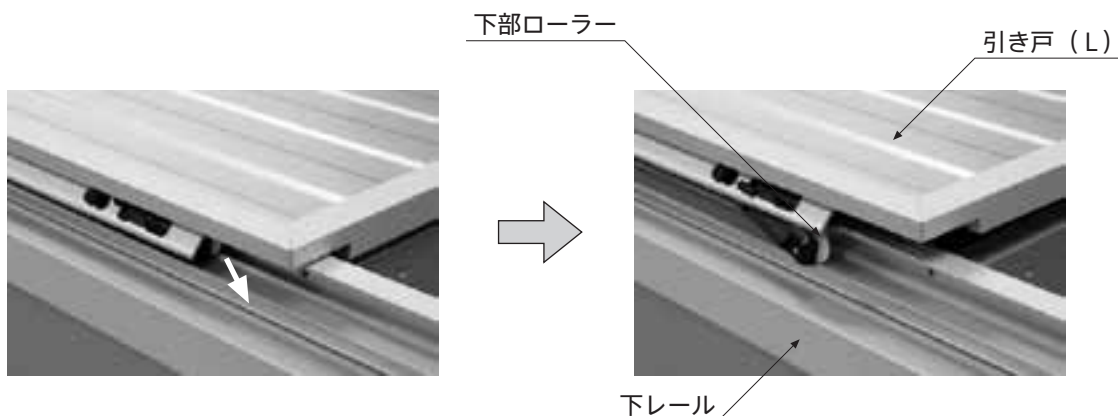


図7



※引き戸を取付ける際は、引き戸のフレームの直角、固定ネジのゆるみ、ローラー金具の取付ネジのゆるみが無いか確認してください。  
引き戸（L）を左右にスライドさせ、上下部ローラーが上下レールにはまっているか確認してください。  
引き戸に傾きが無いか確認してください。

## 5 引き戸の調整

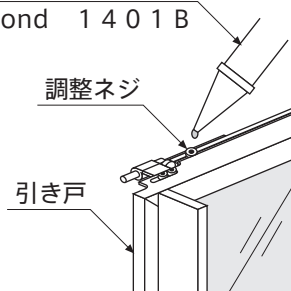
調整を行う前に・・・

- ・引き戸（R L各2ヶ所 合計4ヶ所）と上レール（2ヶ所）のネジはネジロックにて固定してありますので、調整の際には切ってください。
- ※調整が終わりましたら、ネジがゆるまないように、ネジロック（推奨品：Three Bond 1401B）等で再度接着固定してください。

### 【引き戸】

ネジロック等

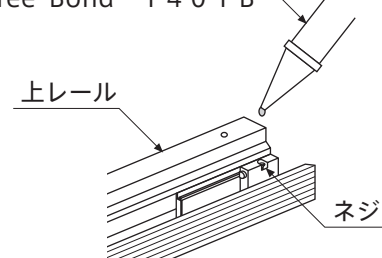
推奨品：Three Bond 1401B



### 【上レール】

ネジロック等

推奨品：Three Bond 1401B

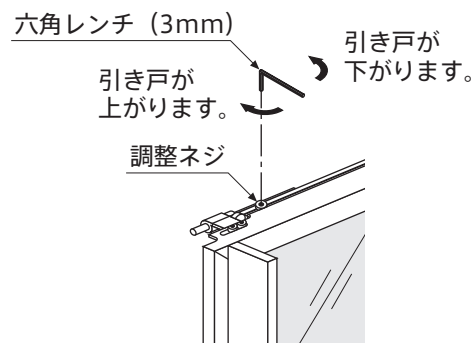
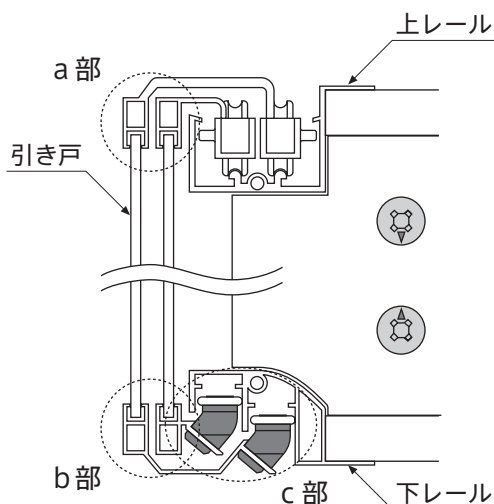


- ・なめらかな開閉をしない場合は、図1に示すように引き戸の上部a部、下部b部の角度が悪く、c部に余裕が無いために起こる場合があります。このような場合は、引き戸を取り外し、a部、b部の角度を調整してください。
- ・引き戸上面にある調整ネジを六角レンチ（3mm）にて回し、引き戸の水平を調整してください。（図2）
- ・左右の引き戸とユニット側板のチリをチェックします。図3に示すようにチリは1mmとし、前後の引き戸の枠が重なり合うように、図4の樹脂製ストッパーのネジを＋ドライバーでゆるめ、チリが1mmになるように移動させ、締め付けてください。

※調整が終わりましたら、「引き戸の取り外し」を逆の手順から行い、引き戸を取付けてください。

図1

図2 d部拡大図



### 【引き戸の水平調整】

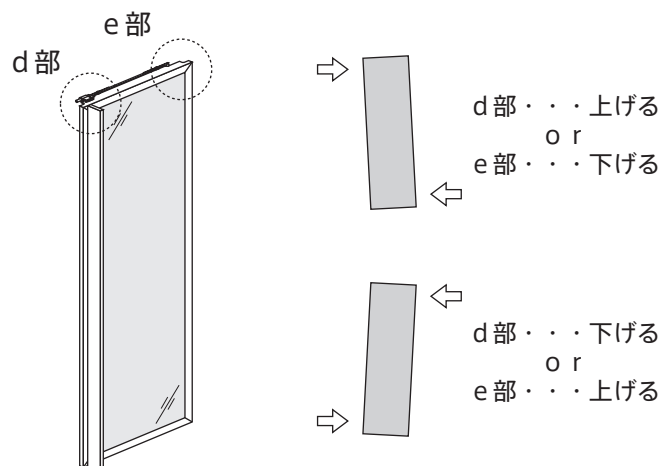


図 3

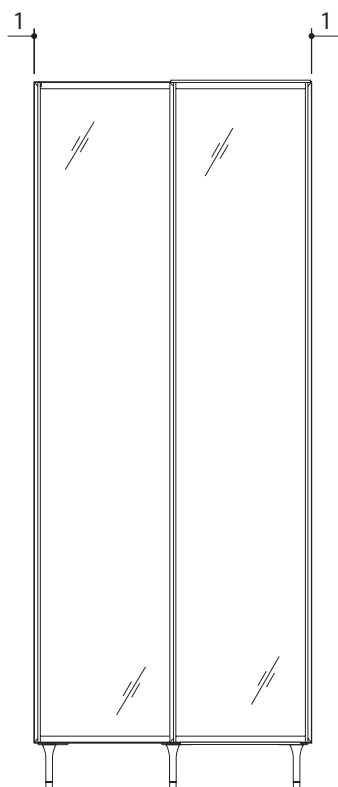
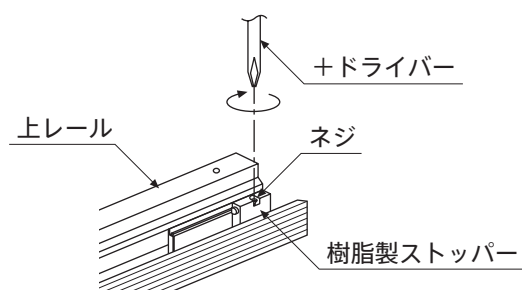


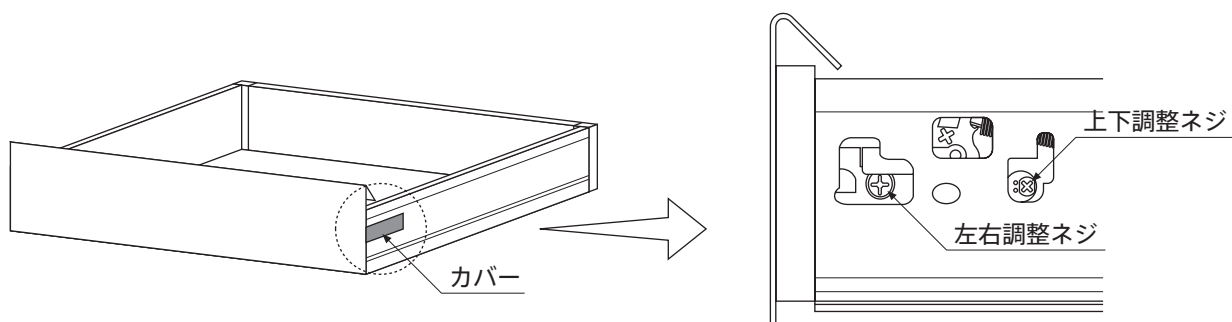
図 4



## 6 内装引出し前板の調整

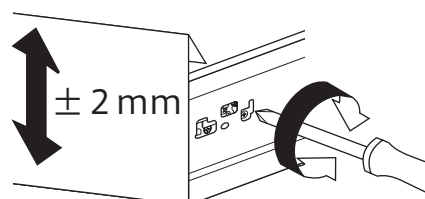
【MRT☆ - 90(120)HCATS\*1、MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合】

- ・内装引出しの側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- ※調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



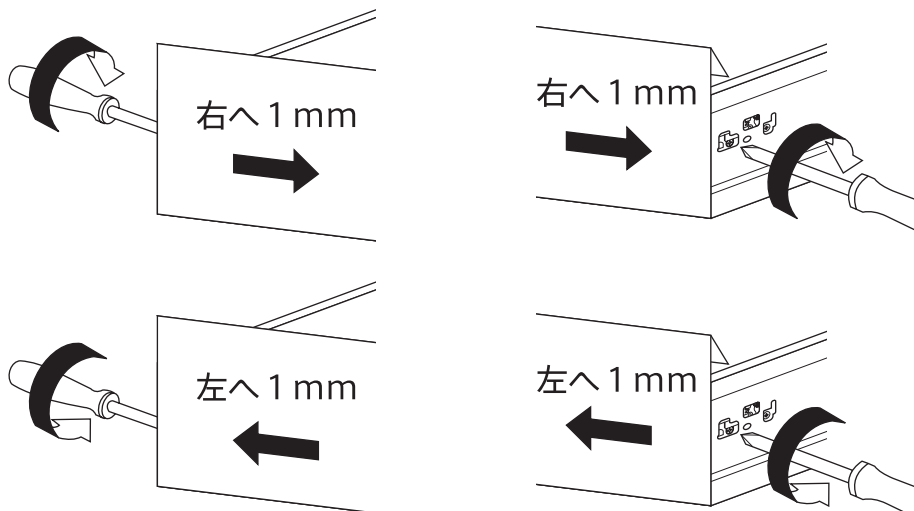
### 〔上下方向の調整〕

- ・上下調整ネジを+ドライバーで回して、内装引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ $\pm 2\text{ mm}$ 調整できます。



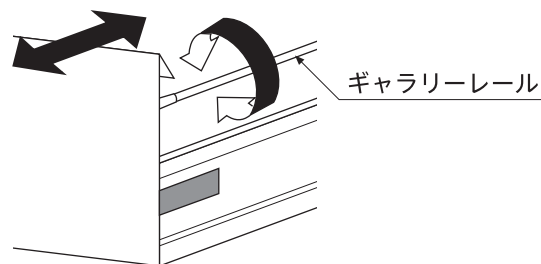
### 〔左右方向の調整〕

- ・ 左右調整ネジを＋ドライバーで回して、内装引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ 土 1 mm調整できます。



### 〔前板の傾き調整〕

- ※MRT ☆ - 90(120)HCATS \*1の内装引出し（深型）のみ調整できます。
- ・ ギャラリーレールを回して、内装引出し前板の傾きを調整します。



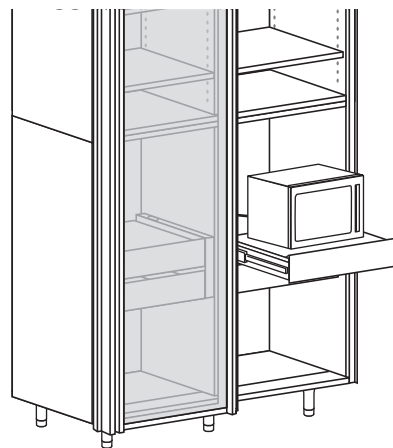
## 7 スライドボードについて

### 【MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合】

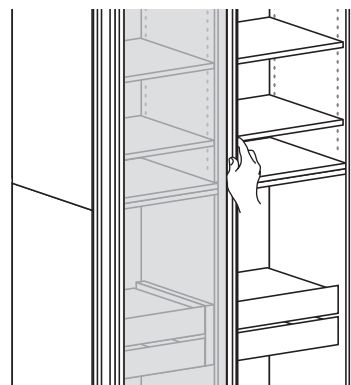
**家電製品を使用する時は、必ずスライドボードを一杯まで引き出して、安定した状態で使用してください。**

家電製品を使用した後で収納庫内に収納する場合は、家電製品が室温レベルに下がるまで待ってから、収納してください。オーブンレンジ、炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、ユニットの変形及び破損の原因になります。また、水蒸気が家電製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。

なお、オーブンレンジ等を収納する場合は、壁に接する事がない様スライドボードの中央に配置してください。過熱、火災の原因になります。



## 8 引き戸の開閉は、引手の中央付近を持って行うとより滑らかな開閉ができます。



9 引き戸（ミラー）に水等が付着した場合はすぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。

鏡の銀は薬品により腐食する恐れがあります。また、水は腐食を促進させることがあります。

10 引き戸に強い衝撃を与えないでください。

アルミが変形したり、ガラスや鏡が割れて、ケガをする恐れがあります。

11 高熱のものは近づけないでください。

暖房器具等を近づけると、引き戸の変形の原因になります。

12 弱アルカリ性の漂白剤・硫酸・塩酸等の強酸、ガソリン・アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤、ワックス・化学雑巾等は、絶対に使用しないでください。

変質・変色する恐れがあります。

### 1.3 耐荷重

内装引出し	15kg	アルミ棚板	15kg
スライドボード	15kg	棚板（W=918の場合）	30kg
		棚板（W=1218の場合）	15kg

※ 5 k g …直径 2 0 c mのお皿 1 5 枚程度を目安にしてください。  
※ 均等に物をのせた場合の耐荷重です。

### 1.4 棚板の位置変え

棚板は、好みの位置に変えられます。  
その際は、棚受け（ダボ）の位置も変えてください。



### お手入れ方法

● 通常のお手入れは、柔らかい布を水またはお湯に浸し、よく絞ってから拭いてください。

※ 汚れは、中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

● ガラスや鏡部分のお手入れは、乾布または湿った布で拭いてください。  
市販のガラスクリーナー等を使用する場合は、鏡裏面や端部にガラスクリーナーが付着しないようにしてください。



## ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名・住所等の個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取り扱いします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認等に利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。  
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

## アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、取付・設置店、販売店、又はトーヨーキッチンメンテナンスにお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容

・ ご氏名 ・ ご住所 ・ お電話番号 ・ お買い上げ日 ・ 異常の内容 ・ 品番

■製品の保証期間はご購入後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

ホルムアルデヒド発散区分  
表示ルール

内装仕上り部分及び下地部分とも F☆☆☆☆  
「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による

VOC放散性能  
表示ルール

4 VOC基準適合（木質建材）  
「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。





# 取付・設置説明書

## 安全上のご注意



必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を見逃して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

■取付・設置完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

■この「取扱説明書、取付・設置説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

### 警告

スライドドア収納庫の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



転倒して、ケガをする恐れがあります。

電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電の原因になることがあります。

## ⚠ 注意

スライドドア収納庫は、必ず壁面に固定してください。



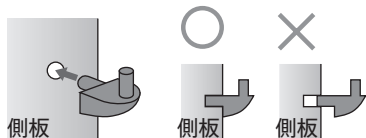
転倒して、ケガをする恐れがあります。

ユニットは脚を軸にして起こしたり、引きずらないでください。



床を傷つけたり、ユニットが破損する恐れがあります。

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう根元まで確実に差し込んでください。



棚板が外れ、収納物が落下して、ケガをする恐れがあります。

取付・設置完了後は、引き戸のがたつきや部品のゆるみが無いことを確認してください。



使用中に引き戸が落下して、ケガをする恐れがあります。

## 取付・設置前の確認

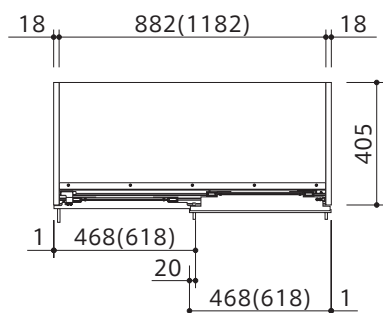
- 1 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 2 壁面の取付位置に取付枠があることを確認してください。
- 3 MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合、指定位置に電源が壁出ししてあるか確認してください。（交流・単相100V 1200W）
- 4 壁の直角・垂直・床の水平レベルを確認してください。
- 5 下記の天井高さがあることを確認してください。
  - ・ A F仕様【H=100】の場合、2350mm以上（※ I N Oの場合、2360mm以上）
  - ・ A F仕様【H=150】の場合、2400mm以上（※ I N Oの場合、2410mm以上）
  - ・ A F仕様【H=200】の場合、2460mm以上（※ I N O A F Sタイプの場合のみ）

## 製品寸法図

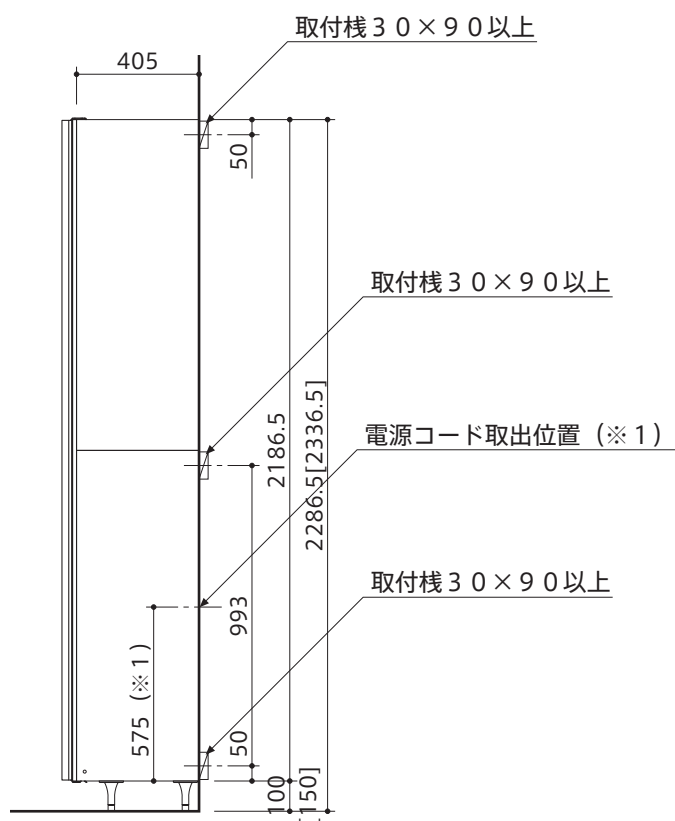
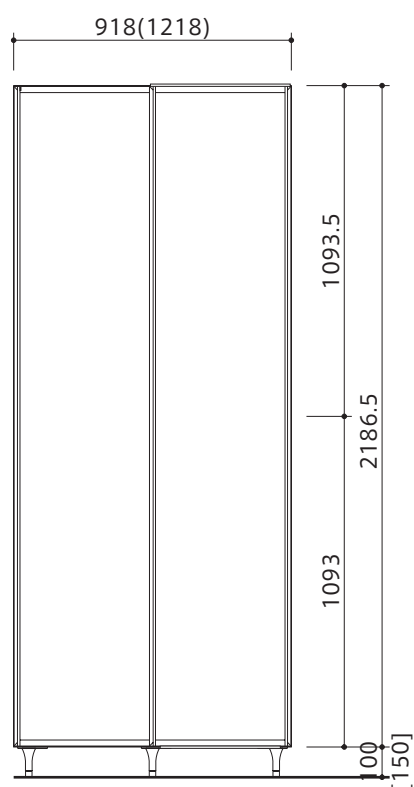
※ ( ) 内寸法は、W=1218の場合を示す。

※ [ ] 内寸法は、A F仕様【H=150】の場合を示す。

※ 1 MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合のみ。



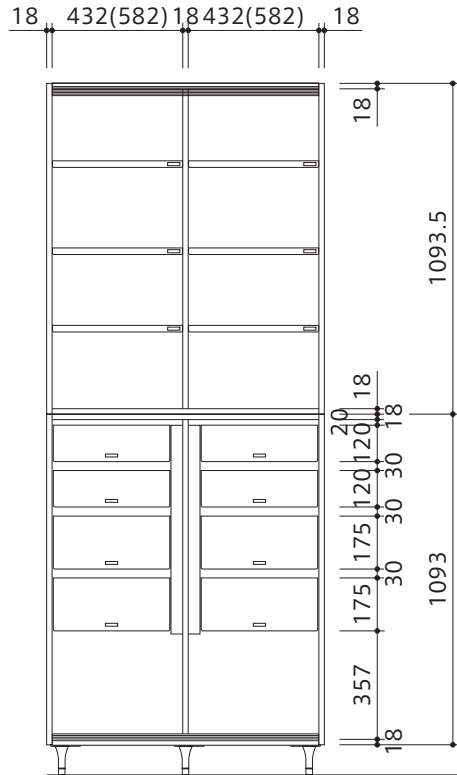
### ■ B A Y の場合



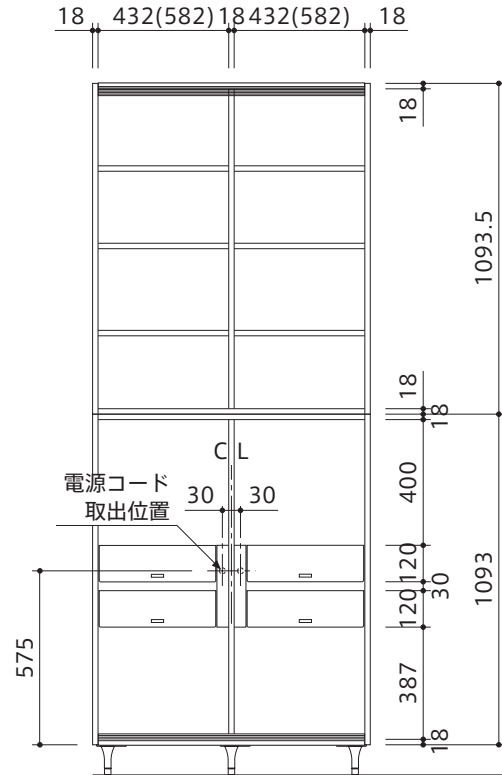


※イラストはBAY A Fの場合を示し、I N OとC O R Eの場合は前ページを参照のこと。

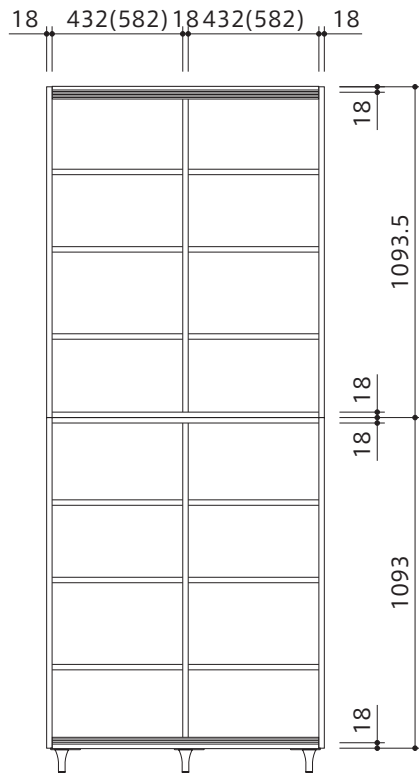
●MRT☆ - 90(120)HCATS\*1



●MRT☆ - 90(120)HBATS\*1



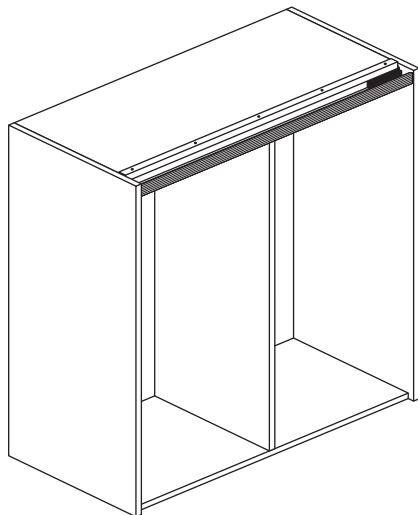
●MRT☆ - 90(120)TNS\*1



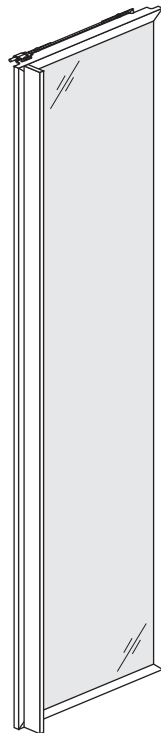
## 部品の確認

- ・スライドドア収納庫は下記の部品にて構成されています。  
欠品等の無いことを確認してください。

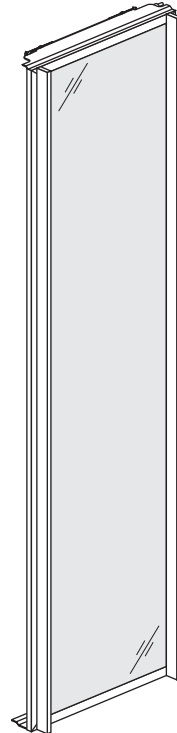
上段ユニット  
1台



引き戸 (L)  
1枚



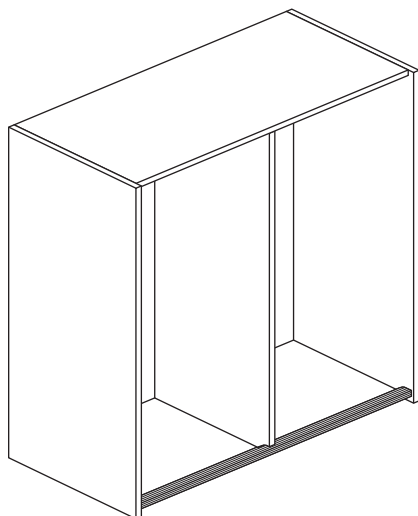
引き戸 (R)  
1枚



縦フレーム  
1本

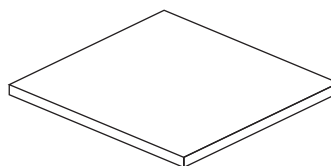


下段ユニット  
1台



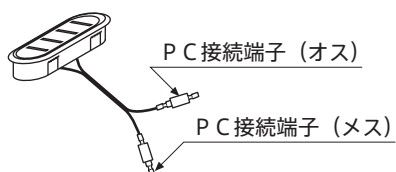
棚板 [部品付]

MRT☆ - 90(120)HBATS\*1 6枚  
MRT☆ - 90(120)TNS\*1 12枚



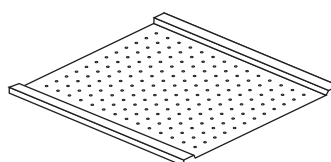
■MRT☆ - 90(120)HBATS\*1

スライドコンセント 2個  
[PC接続端子 オス、メス各2個付]



アルミ棚板 [部品付]

MRT☆ - 90(120)HCATS\*1 6枚



《 付属部品 》

・⊕サラタッピンネジ 3. 5 × 1 6	6 本
・⊕ナゲシネジ 4. 2 × 6 0	9 本
・⊕ナゲシネジ 3. 8 × 3 2	1 4 本
・ワッシャー	2 3 個
・ヘッドキャップカバー	2 3 個
・取説工説	1 冊

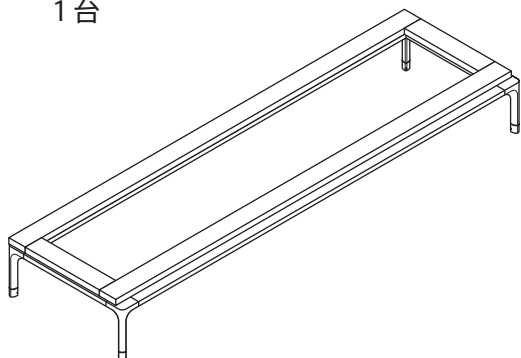
■MRT1(5)DT - 90(120)\*\*\*\*\*の場合

《 脚 》

・アジャスター脚	6 本
・⊕バインドタッピンネジ 4. 0 × 1 6	3 6 本

■MRTN - 90(120)\*\*\*\*\* I N O A F Sタイプの場合

I N O A F Sタイプ  
1台



— ワッシャーヘッドタッピンネジ 4. 0 × 4 0	4 本
— 転倒防止部品	4 個
— 床保護プレートφ 3 0	4 枚

ユニット1セットにつき

・⊕サラタッピンネジ 4. 0 × 4 0	
・ワッシャー	
・ヘッドキャップカバー (グレイ)	
W=900の場合	各 8
W=1200の場合	各 1 2
・補助脚	1 セット

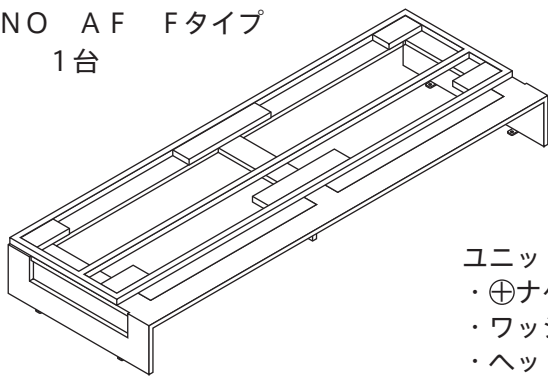
※連結する場合、連結箇所の補助脚も同梱されています。

補助脚セット

— 補助脚	1 本	— ワッシャーヘッドタッピンネジ 4. 0 × 4 0	1 本
— アジャスター プレート	1 個	— 転倒防止部品	1 個
— M 8 セレート付きネジ	1 本	・⊕サラタッピンネジ 4. 0 × 1 6	6 本

■MRTN - 90(120)\*\*\*\*\* I N O A F Fタイプの場合

I N O A F Fタイプ  
1台



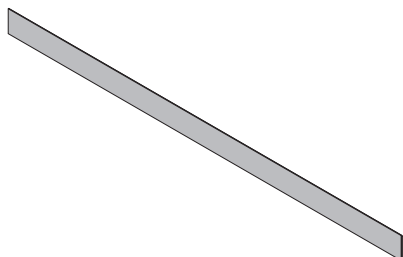
ユニット1セットにつき

- ・⊕ナゲシネジ3. 8×32 . . . . . 6本
- ・ワッシャー . . . . . 6個
- ・ヘッドキャップカバー（グレイ） . . . . . 6個

■MRTN - 90(120)\*\*\*\*\* I N Oの場合

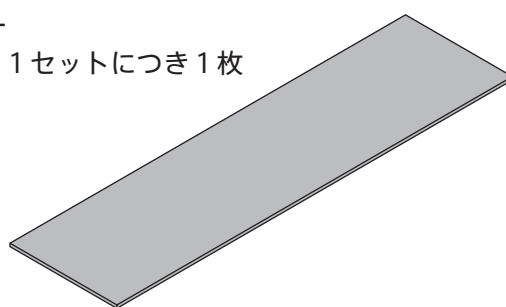
スリット化粧板 [24mm巾]

単独置きの場合 1本  
連結する場合 2本



底板スペーサー

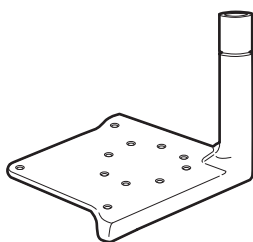
ユニット1セットにつき1枚



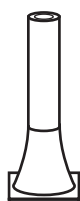
- ・⊕サラタッピンネジ3. 5×16 . . . . . ユニット1セットにつき6本

■MRTN - 90(120)\*\*\*\*\* C O R Eの場合

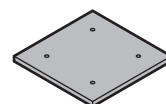
コーナー用脚 (S)  
4本



アジャストパーツ  
1本



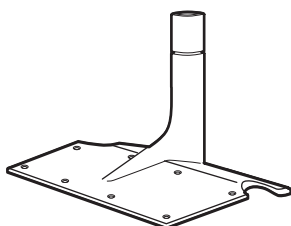
底板スペーサー  
4枚



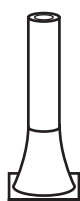
- ・アジャスタープレート . . . . . 1個
- ・M8セレート付きネジ . . . . . 1本
- ・⊕サラタッピンネジ4. 0×16 . . . . . 6本
- ・⊕サラタッピンネジ3. 5×16 . . . . . 16本
- ・⊕バインドタッピンネジ4. 0×16 . . . . . 28本

※連結する場合、連結箇所1箇所につき1セット同梱

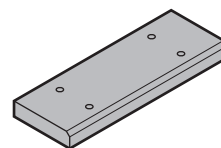
センター用脚 (B)  
1本



アジャストパーツ  
2本



連結スペーサー  
1枚



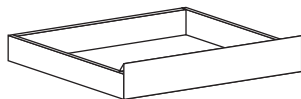
- ・アジャスタープレート . . . . . 2個
- ・M8セレート付きネジ . . . . . 2本
- ・⊕サラタッピンネジ4. 0×16 . . . . . 12本
- ・⊕サラタッピンネジ3. 5×35 . . . . . 4本
- ・⊕バインドタッピンネジ4. 0×16 . . . . . 8本



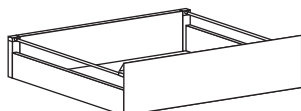
・下段ユニットには、それぞれ下記の部品が取付けられています。

■MRT☆ - 90(120)HCATS\*1

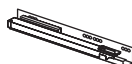
内装引出し（浅型）  
4 段



内装引出し（深型）  
4 段



内装引出しレール  
R L 各 8 本



スペーサー  
R L 各 2 本



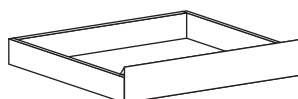
- ・⊕サラタッピンネジ . . . . . 3 2 本  
3. 5×1 6
- ・⊕バインド小ネジ . . . . . 1 6 本  
M 4×3 0

■MRT☆ - 90(120)HBATS\*1

スライドボード  
2 段



内装引出し（浅型）  
2 段



ステンレスワッシャー  
6 個



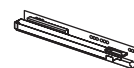
穴キャップ  
1 0 個



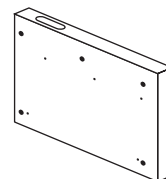
スライドボードレール  
4 本



内装引出しレール  
R L 各 2 本



スペーサー  
R L 各 1 枚



- ・⊕バインドタッピンネジ . . . . . 1 2 本  
3. 5×1 6
- ・⊕サラタッピンネジ . . . . . 8 本  
3. 5×1 6
- ・⊕バインド小ネジ . . . . . 1 0 本  
M 4×3 0

## 1. 内装パーツの取り外し

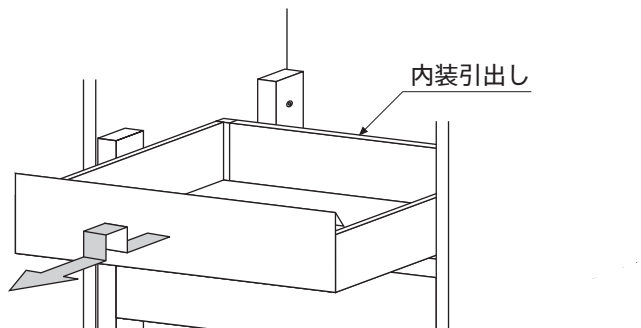
・下段ユニットに取付けられている内装パーツを取り外します。

【MRT☆ - 90(120)HCATS\*1、MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合】

### ■内装引出しの取り外し

・内装引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。

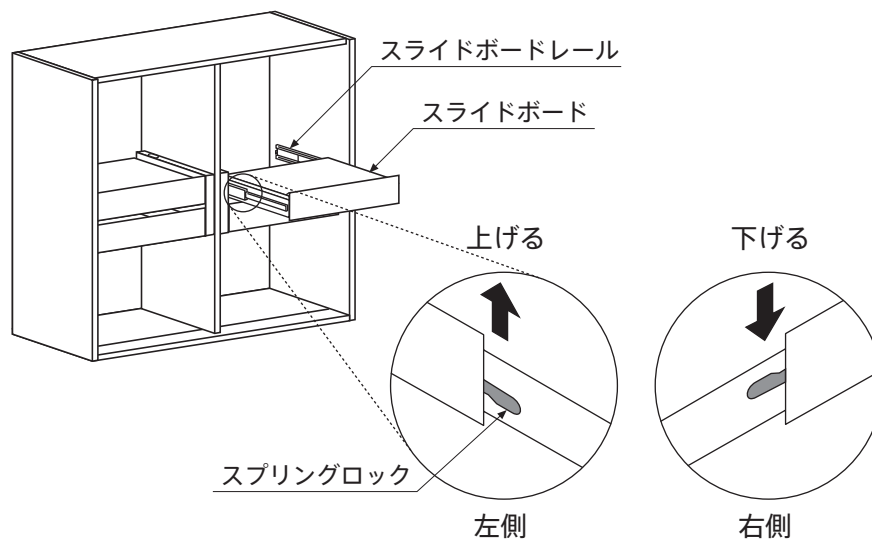
※必ず両手で内装引出しを持って取り外してください。



【MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合】

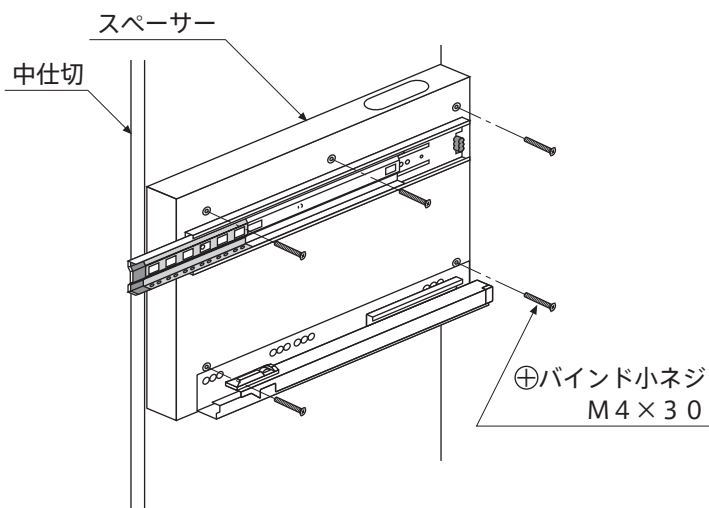
### ■スライドボードの取り外し

・スライドボードをいっぱいまで引出した後、スライドボードレールについているスプリングロックを左側は上げながら、右側は下げながらさらに引出します。



### ■スペーサーの取り外し

・中仕切からスペーサー (⊕バインド小ネジ M4×30 左右各5本) を取り外してください。

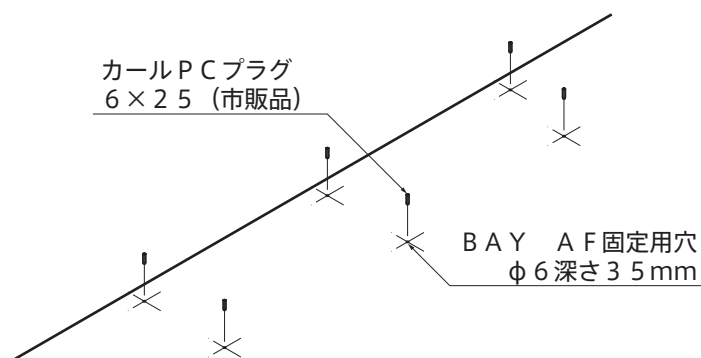


## 2. 下段ユニットの設置、固定

### ◎ B A Y 【MRT1(5)DT - 90(120) \* \* \* \* \* の場合】

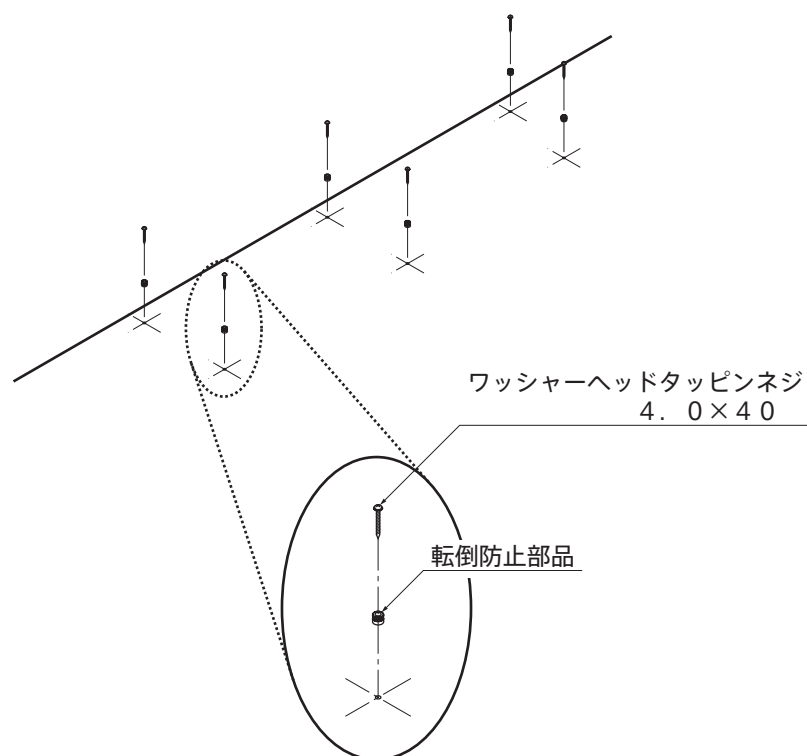
#### ■ 固定用穴あけ (※床固定にカール P C プラグを使用する場合)

- ・コンクリート床、石床の場合、B A Y A F の取付位置にカール P C プラグを取付けます。  
B A Y A F の設置位置に固定用穴  $\phi 6$  深さ 3.5 mm をあけます。  
固定用穴にカール P C プラグ 6 × 2.5 (市販品) を打ち込みます。



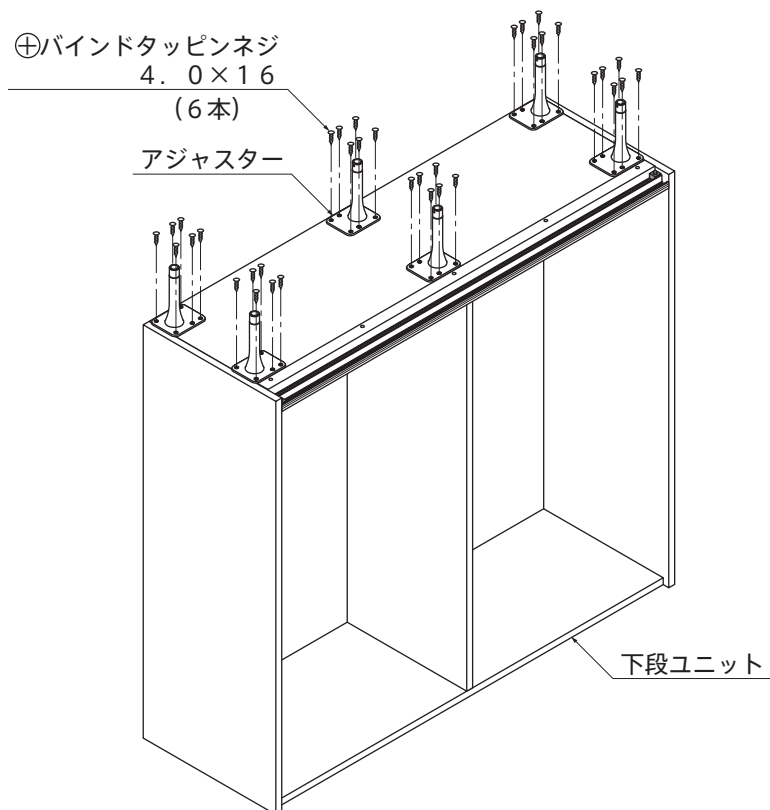
#### ■ 転倒防止部品の取付け

- ・ B A Y A F の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ 4.0 × 4.0 にて転倒防止部品を床面に固定します。
- ※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。



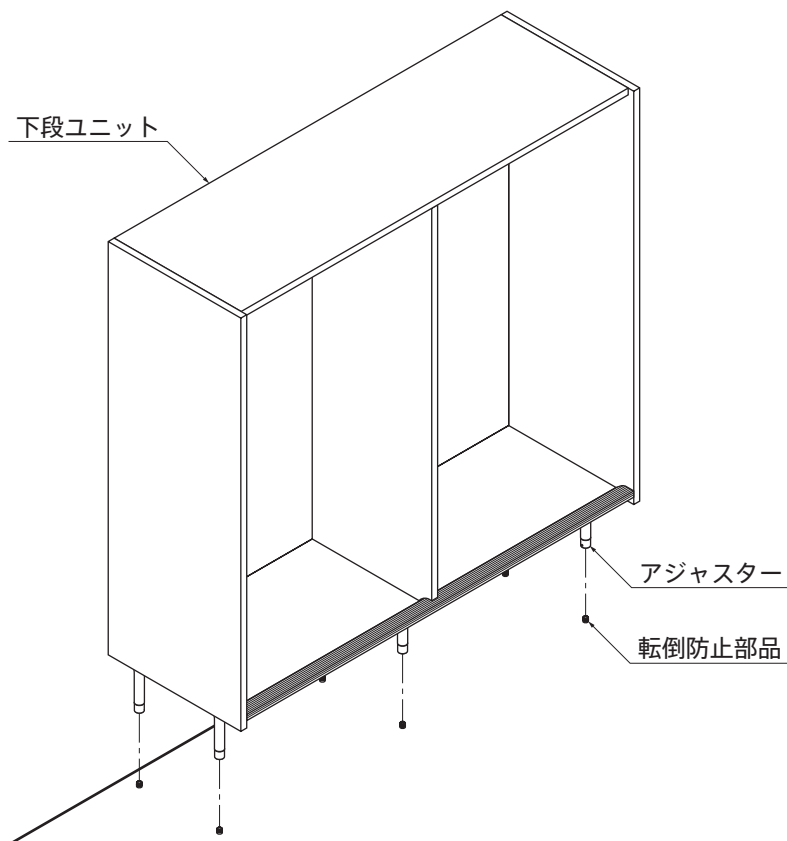
## ■アジャスターの取付け

- ・下段ユニットを裏返し、底板裏面の取付穴にアジャスターの取付穴を合わせ、⊕バインドタッピンネジ 4.0×16にて固定します。



## ■下段ユニットの設置

- ・アジャスターを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。



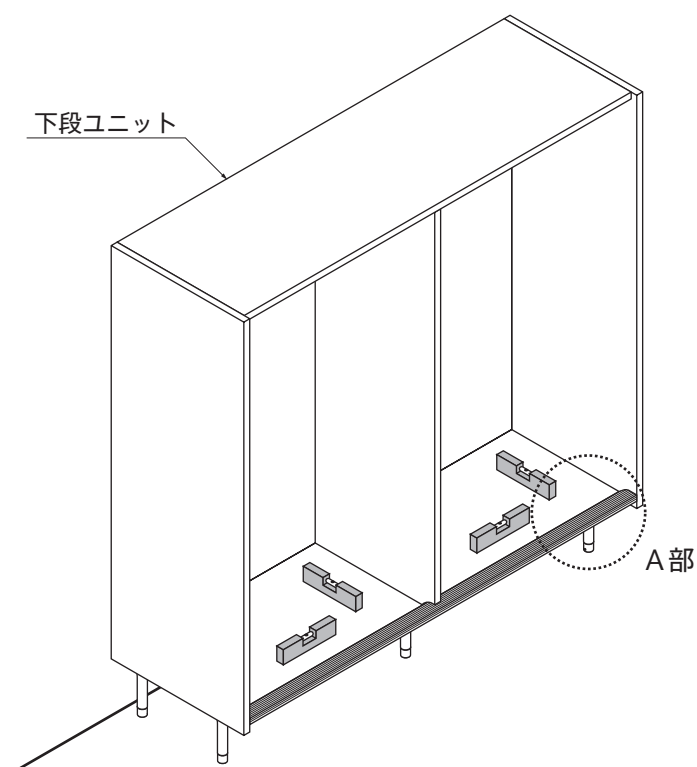
## ■レベル調整、BAY AFの固定

・BAY AFのアジャスト部分を回して、レベルを調整します。

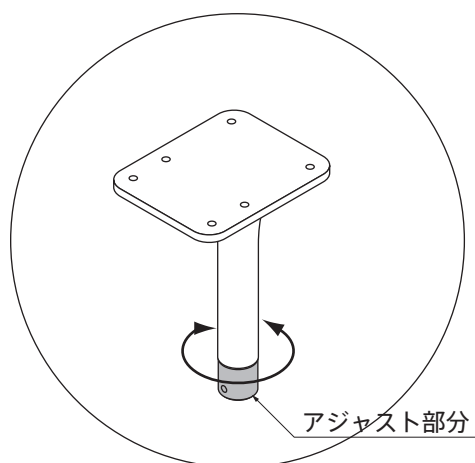
■調整範囲 -0mm~+10mm

※アジャスト部分の固定穴は見えないう内側へ向けて調整します。

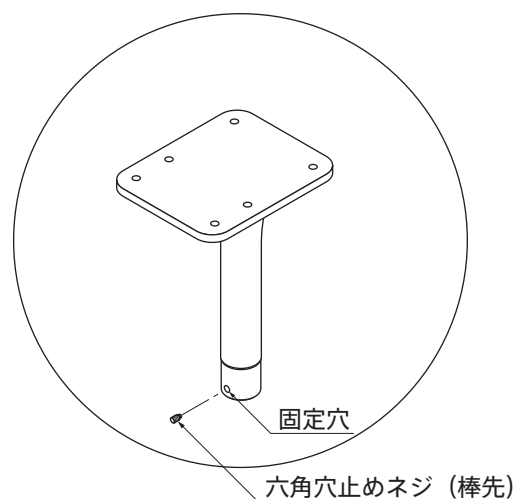
・BAY AFのアジャスト部分の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。



A部 レベル調整



A部 固定

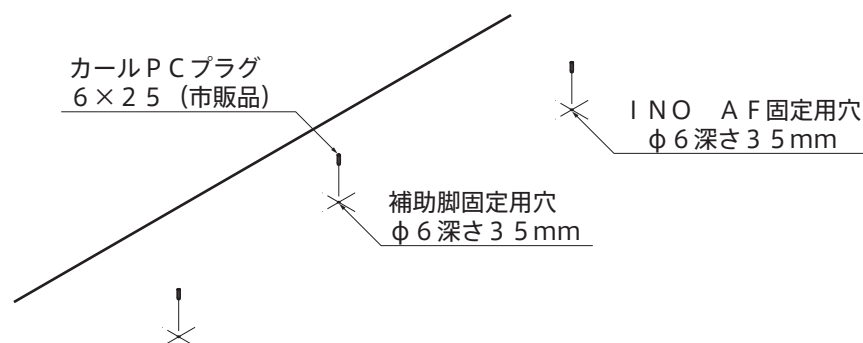


◎ I N O 【MRTN - 90(120) \* \* \* \* \* の場合】

◇ I N O A F Sタイプの場合

■ 固定用穴あけ（※床固定にカールP Cプラグを使用する場合）

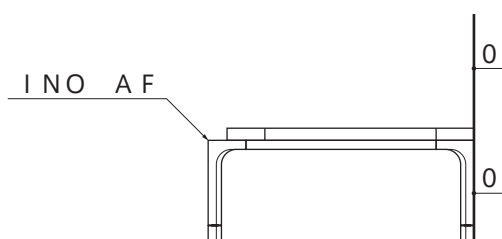
- ・コンクリート床、石床の場合、I N O A Fと補助脚の取付位置にカールP Cプラグを取付けます。  
I N O A Fと補助脚の設置位置に固定用穴φ6 深さ3.5mmをあけます。  
固定用穴にカールP Cプラグ6×2.5（市販品）を打ち込みます。
- ※壁に接する側のI N O A F取付位置にはカールP Cプラグの取付けは不要です。



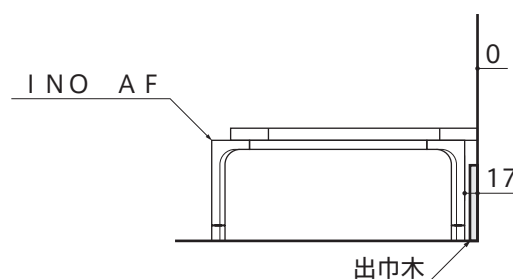
I N O A F 設置位置

[側面図]

《背面の壁に出巾木がない場合》

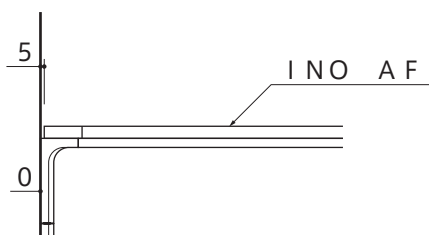


《背面の壁に出巾木がある場合》

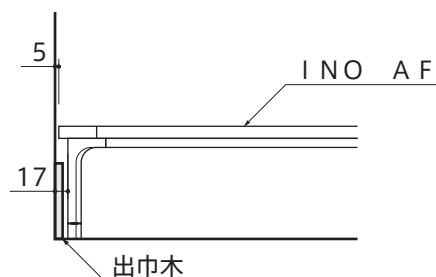


[正面図]

《側面の壁に出巾木がない場合》

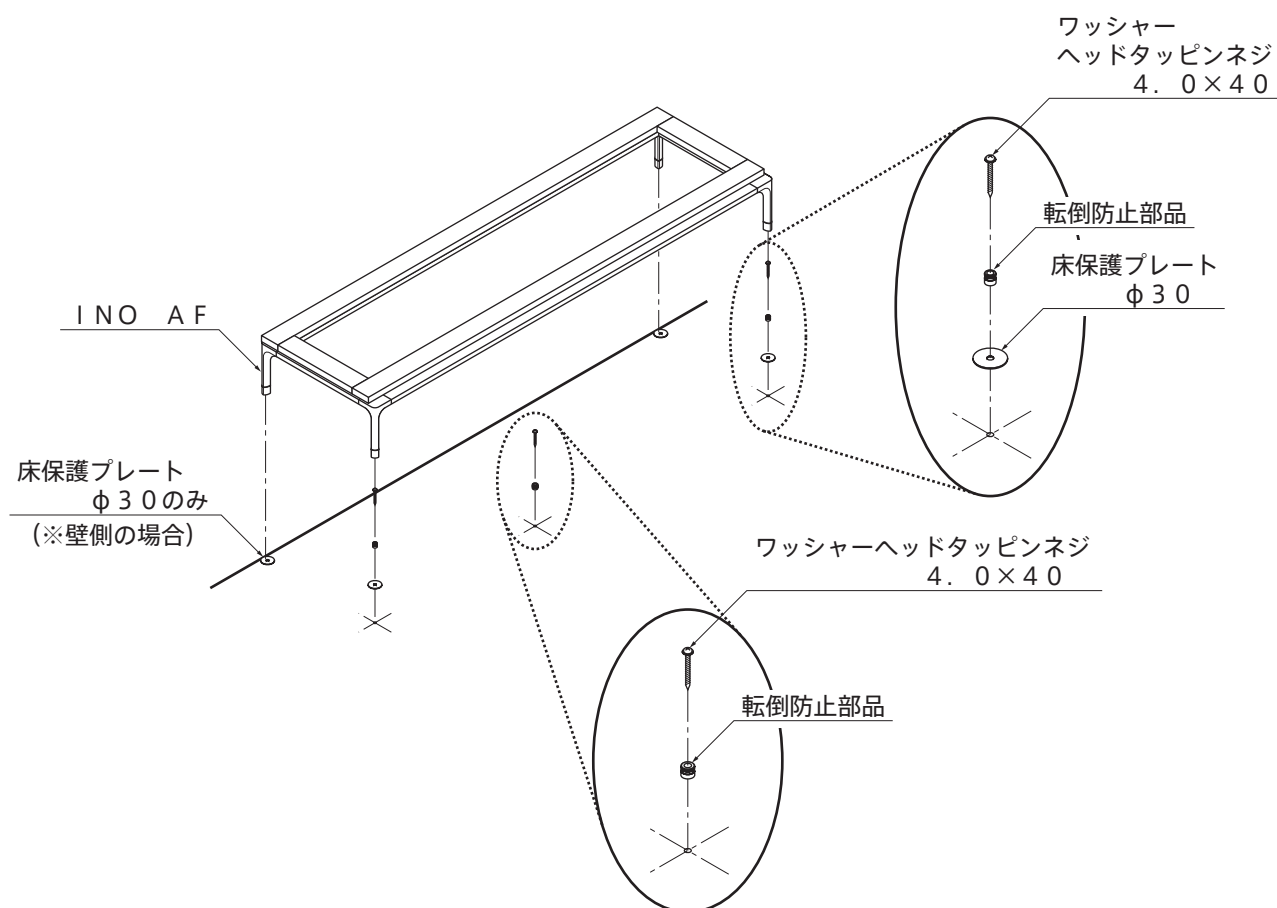


《側面の壁に出巾木がある場合》



## ■転倒防止部品の取付け、INO AFの設置

- ・INO AFの設置位置に、床保護プレートφ30を置き、その上から付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
  - ・補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
- ※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。  
壁に接する側は転倒防止部品を取付けず、床保護プレートφ30のみ置きます。
- ・INO AFを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。

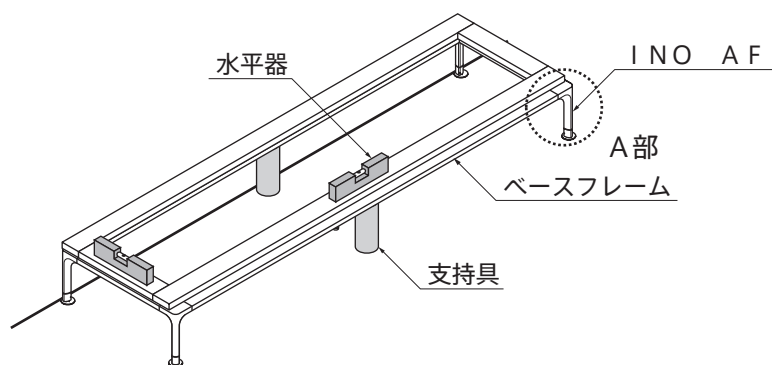


## ■支持具の設置

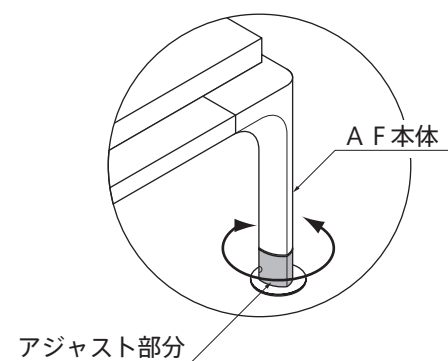
- ・ 取付・設置の際に、ベースフレームがたるまないように、支持具で支えます。
  - ・ 支持具はベースフレーム下で支え、750mmピッチ以下になるように設置します。
- ※支持具は、取付・設置が全て終了したら取り外します。

## ■レベル調整、INO AFの固定

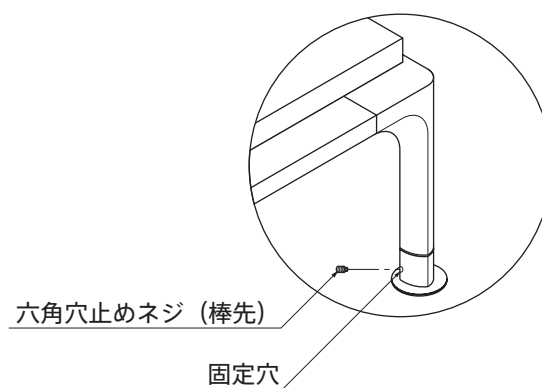
- ・ INO AFのアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
  - 調整範囲 -0mm~+10mm
- ※AF本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整します。
- ・ 前側のINO AFのアジャスト部分の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。



A部 レベル調整



A部 固定



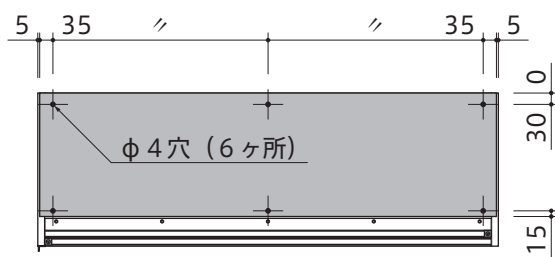


## ■底板スペーサーの取付け

- ・下段ユニットを裏向けて、底板裏面に底板スペーサーを取付けます。
- 底板スペーサーの指定位置にφ4穴（6ヶ所）をあけます。
- 底板スペーサーの背面は下段ユニット後端に揃え、側面は側板側面から5mm内側にくるように（連結する場合、側板側面に揃えて）置きます。
- ⊕サラタッピンネジ3.5×16にて固定します。

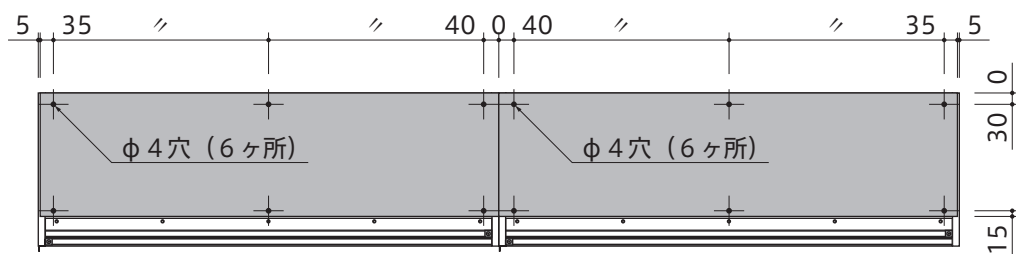
底板スペーサー取付位置 [下段ユニット裏面]

### 《単独置きの場合》

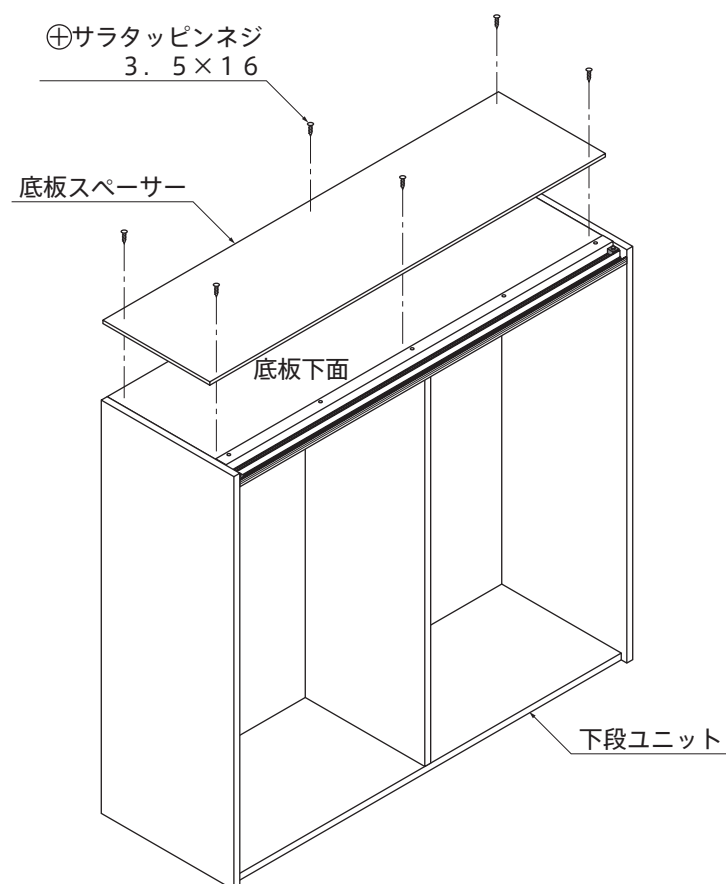


前面

### 《連結する場合》



前面

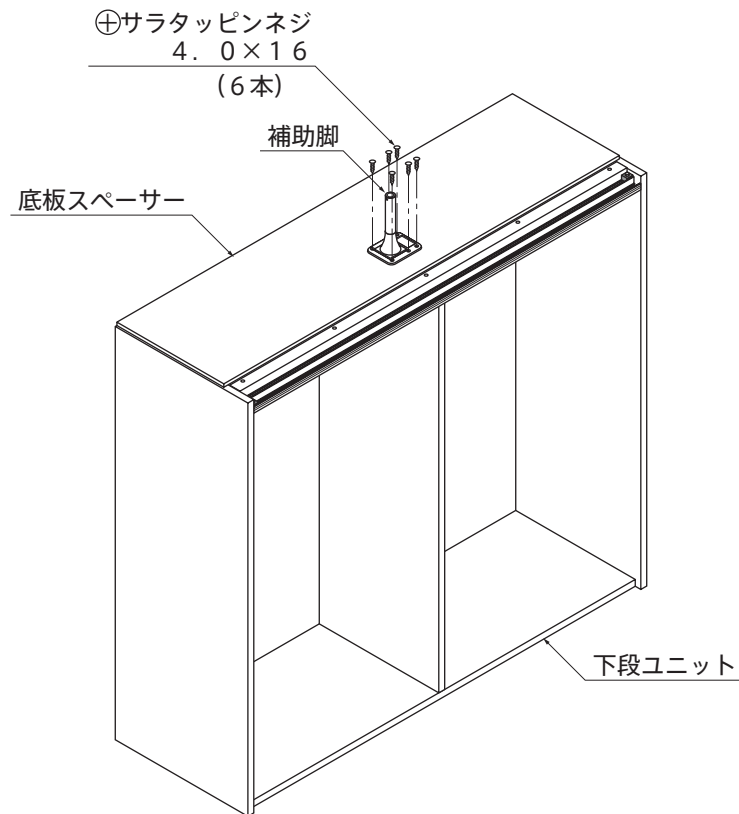
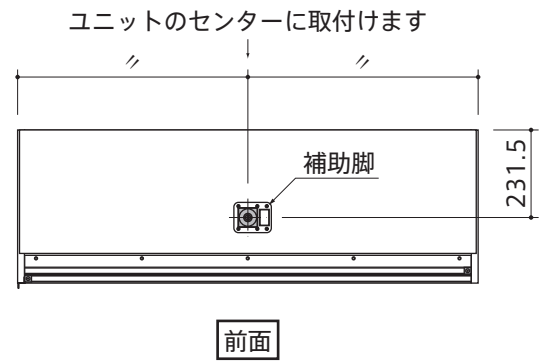
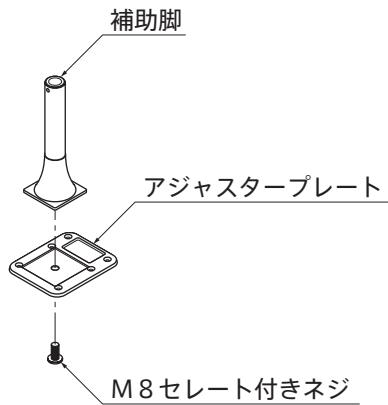


## ■補助脚の取付け

- ・ M8 セレート付きネジを使用し、アジャスタープレートに補助脚を取付けます。  
下段ユニット裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取付けます。  
アジャスタープレートの取付穴から、⊕サラタッピンネジ 4.0×16 にて固定します。

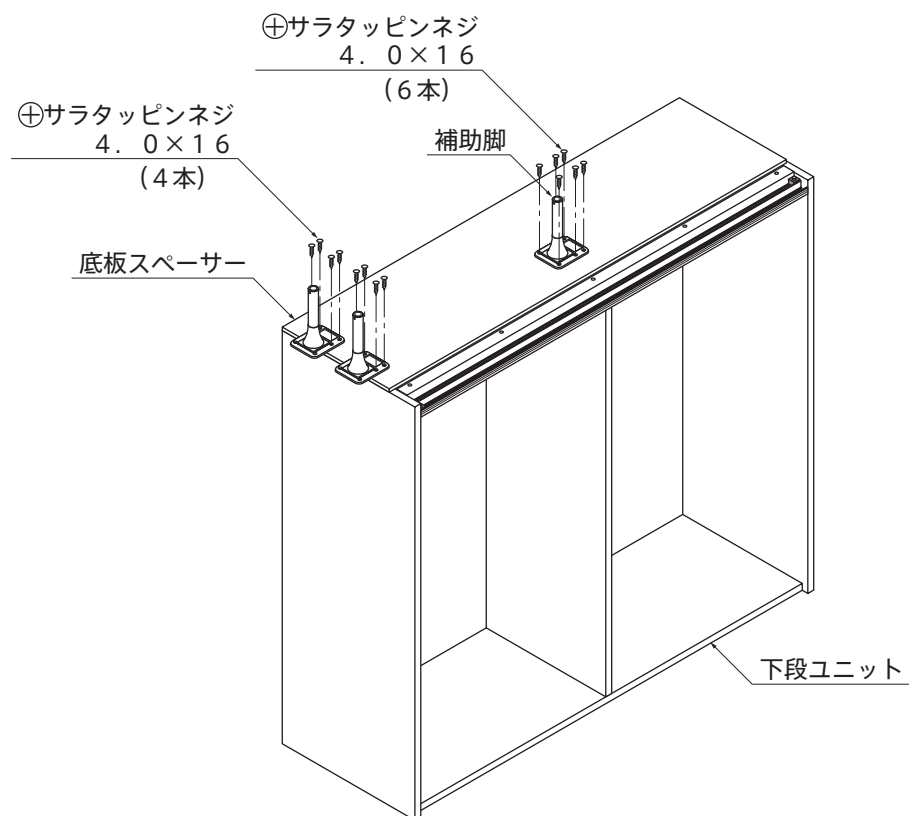
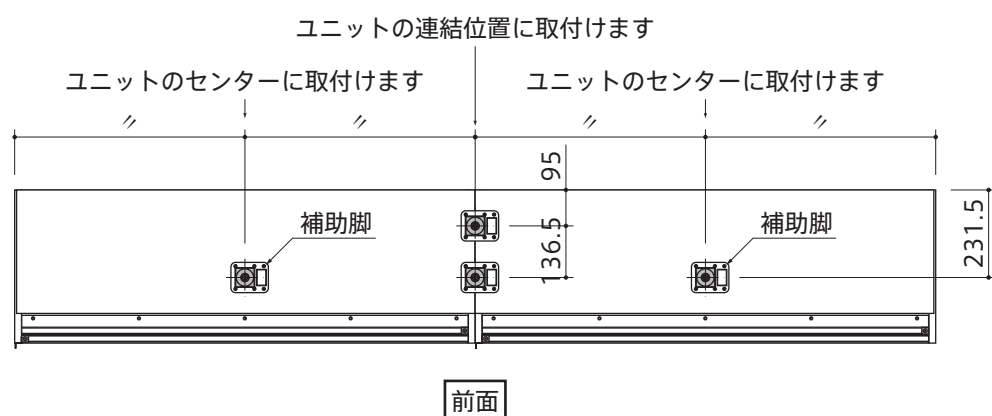
### 《単独置きの場合》

補助脚取付位置 [下段ユニット裏面]



## 《連結する場合》

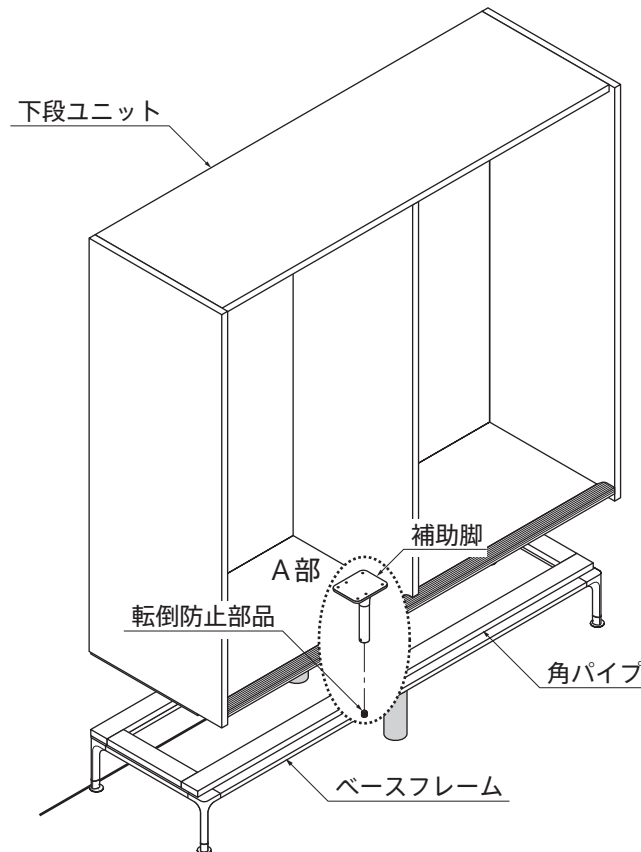
補助脚取付位置 [下段ユニット裏面]



## ■ユニットの設置、補助脚のレベル調整・固定

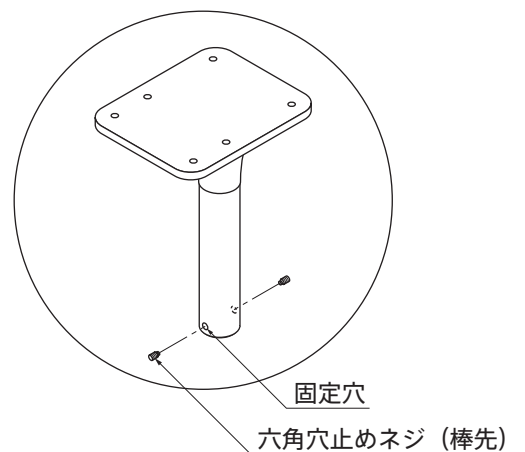
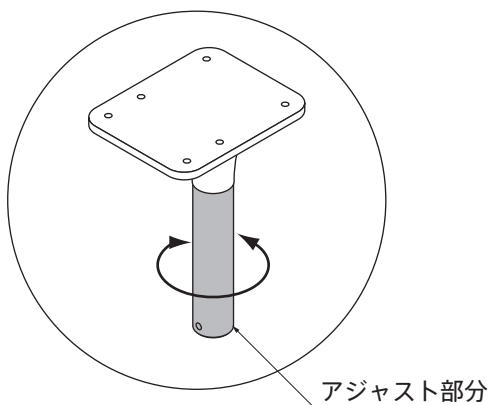
- ・ベースフレームの上に下段ユニットを設置します。  
補助脚を転倒防止部品に差し込みながら、下段ユニットに取付けた底板スペーサー外面とベースフレームの角パイプ外面を揃えて設置します。
- ・補助脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。  
■調整範囲 - 0 mm ~ + 10 mm
- ・補助脚の固定穴（2ヶ所）から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。

### 《単独置きの場合》



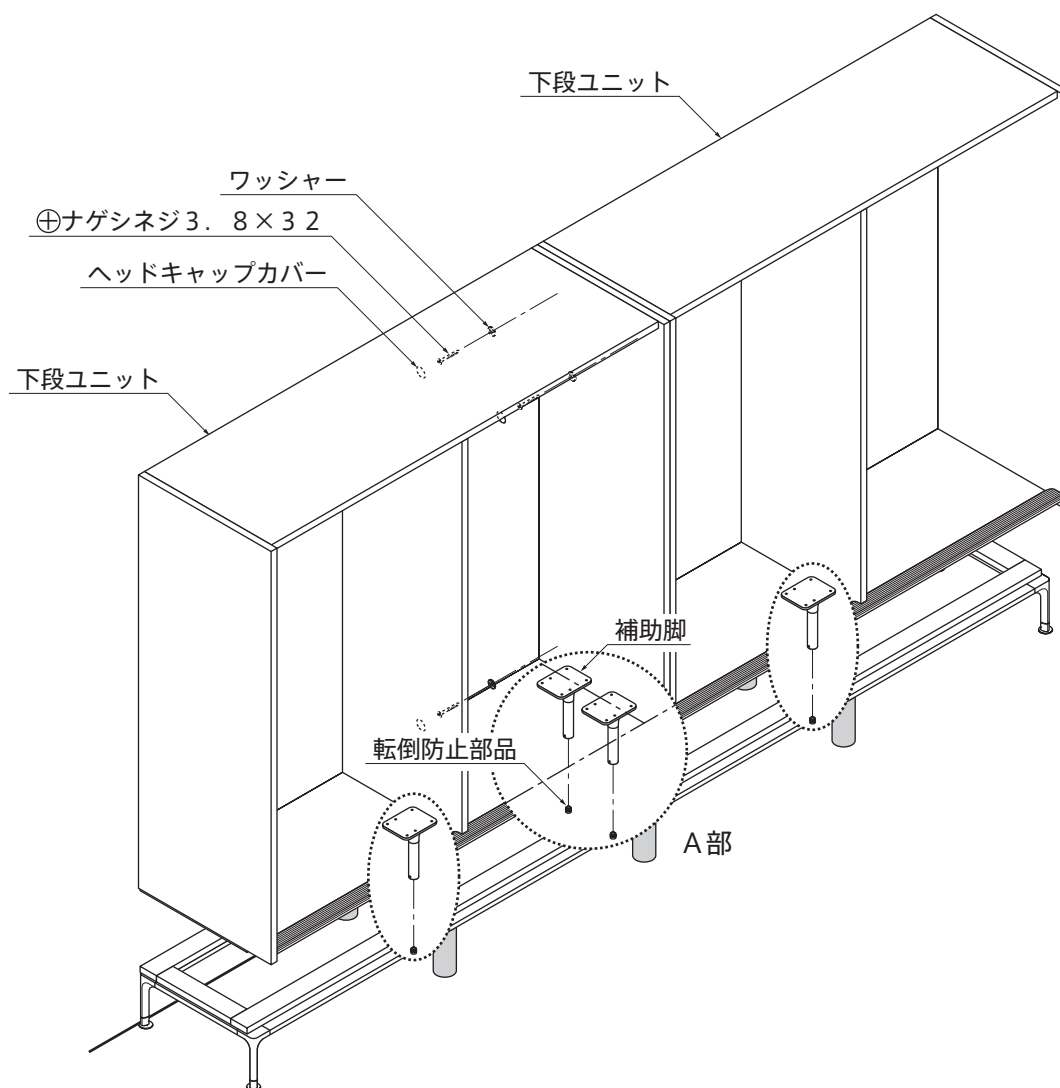
A部 レベル調整

A部 固定

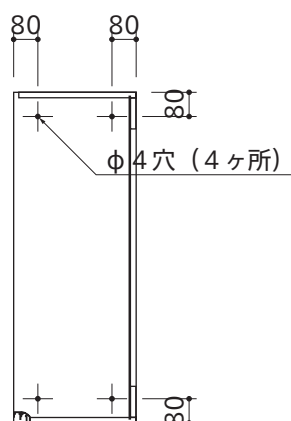


## 《連結する場合》

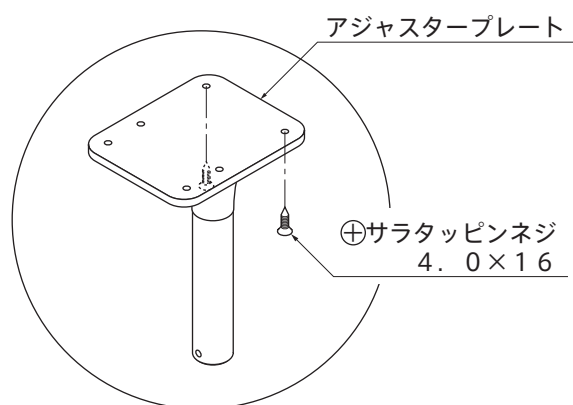
- ・ユニットを連結する場合、下段ユニット側板の指定位置にユニット連結穴φ4をあけます。  
隣接する下段ユニットの側板前面を揃え、⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、下段ユニット側板から固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ・補助脚のアジャスタープレートの残りの穴から⊕サラタッピンネジ4.0×16（2本）にて固定します。
- ・補助脚のレベルを調整し、固定します。（「単独置きの場合」を参照）



ユニット連結位置



A部 ネジ固定

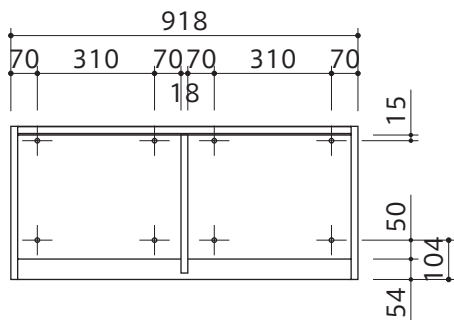


## ■下段ユニットの固定

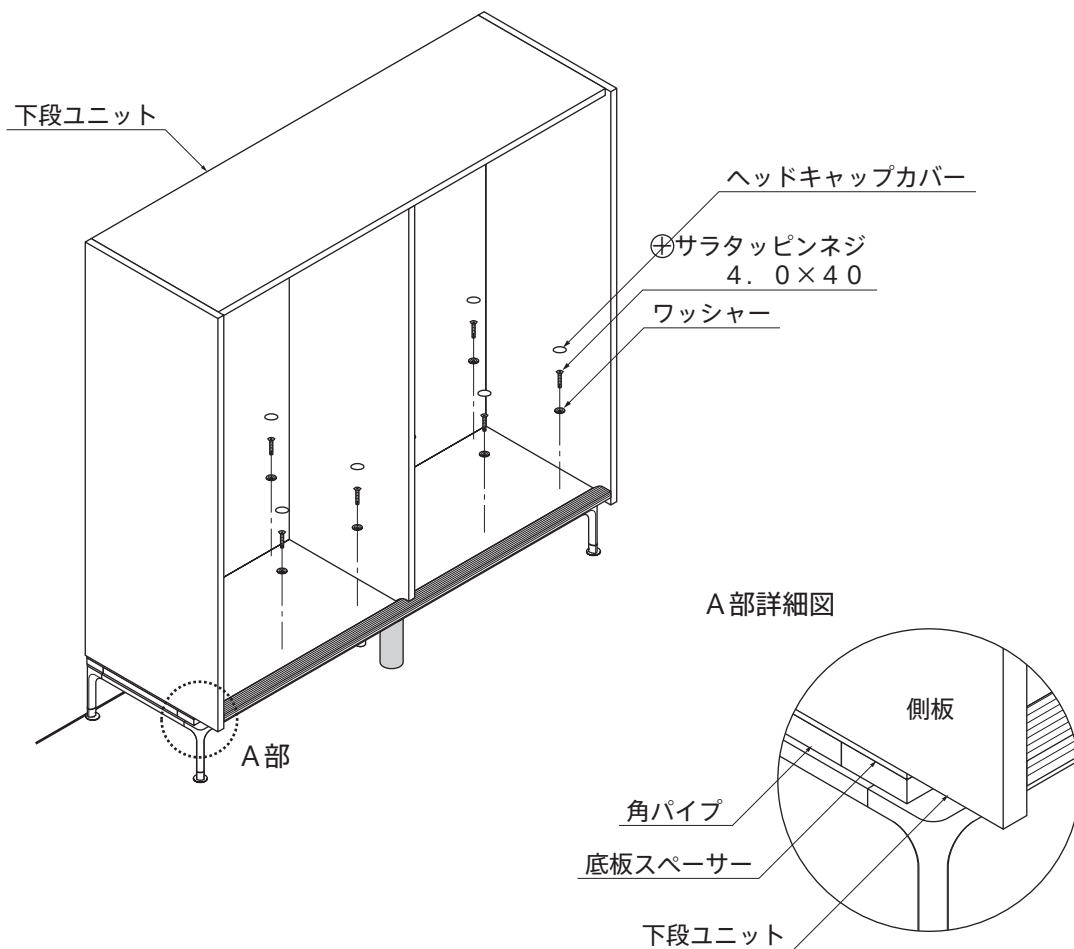
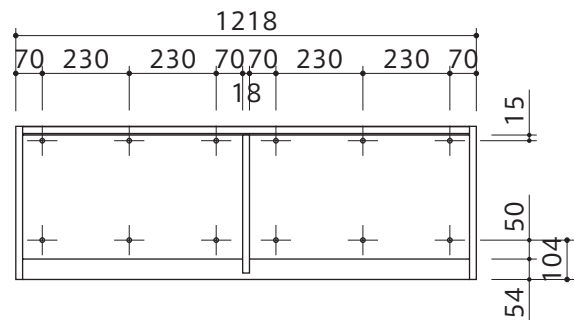
- ・下段ユニットをベースフレームの角パイプに固定します。  
底板スペーサー外面とベースフレームの角パイプ外面を揃えて、下段ユニット内側より底板の指定位置にφ3の下穴をあけ、⊕サラタッピンネジ4.0×40にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

下段ユニット固定位置 [平面図]

■MRTN - 90\*\*\*\*\*



■MRTN - 120\*\*\*\*\*



## ■スリット化粧板の取付け

※スリット化粧板を取付ける前に、ベースフレームの角パイプの表面をきれいに拭き取ってください。

### ■側面に壁がない（オープンになる）場合

- ・スリット化粧板（24mm）をベースフレームの角パイプの奥行に合わせてカットします。  
スリット化粧板（24mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ベースフレームの角パイプ前側の側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（24mm）をベースフレームの角パイプの間口と側面に貼り付けたスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。  
スリット化粧板（24mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ベースフレームの角パイプの前面下端に合わせて貼り付けます。

### ■側面に壁がくる場合

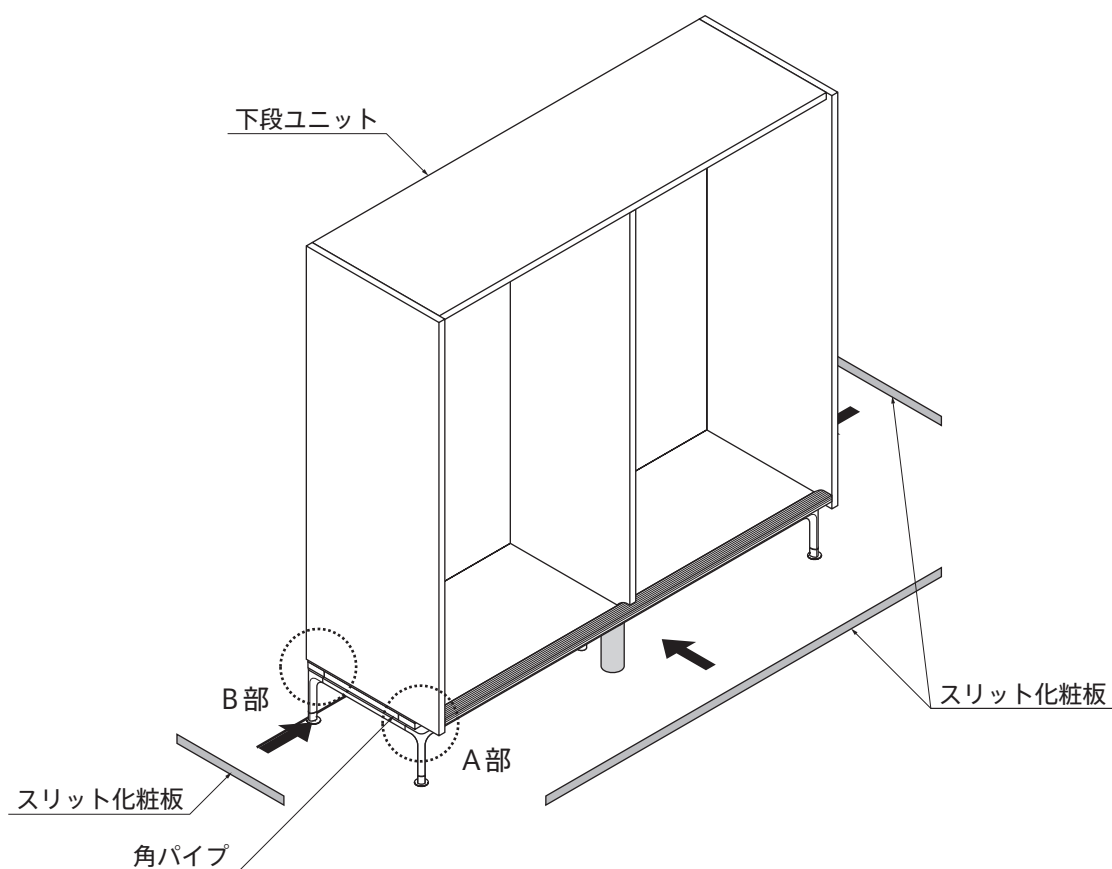
※ユニット側面に壁がくる場合、側面のスリット化粧板は不要です。

- ・ユニット側面の両側とも壁がくる場合、スリット化粧板（24mm）を壁から壁のサイズにカットします。
- ・ユニット側面の片側のみ壁がくる場合、オープン側の側面に貼り付けたスリット化粧板の厚みを合わせた壁までのサイズにカットします。  
スリット化粧板（24mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ベースフレームの角パイプの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

※一度貼ったら剥がしにくいので、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかり貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

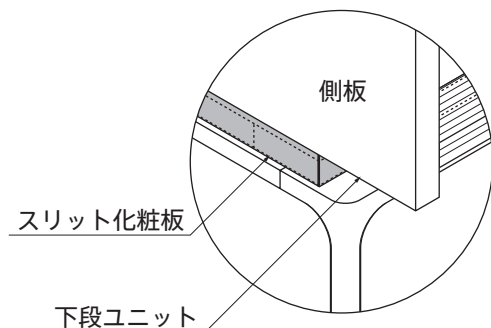


## スリット化粧板納まり図

### A 部詳細図

- ・スリット化粧板をベースフレームの角パイプのコーナーに合わせる。

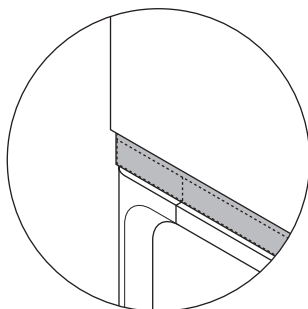
《側面に壁がない（オープンになる）場合》



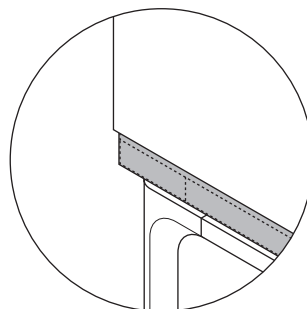
### B 部詳細図

- ・スリット化粧板を背面の壁までのばす。

《背面の壁に出巾木がない場合》



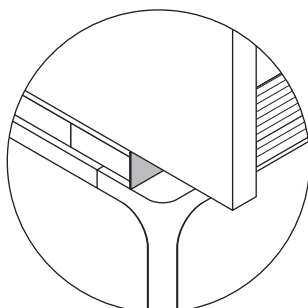
《背面の壁に出巾木がある場合》



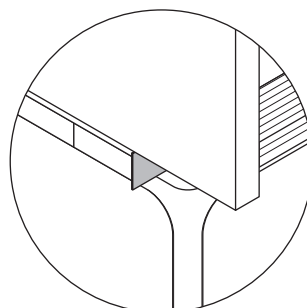
### A 部詳細図

- ・スリット化粧板を側面の壁までのばす。

《側面の壁に出巾木がない場合》



《側面の壁に出巾木がある場合》





◎ I N O 【MRTN - 90(120)\*\*\*\*\*の場合】

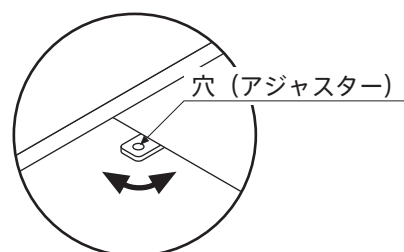
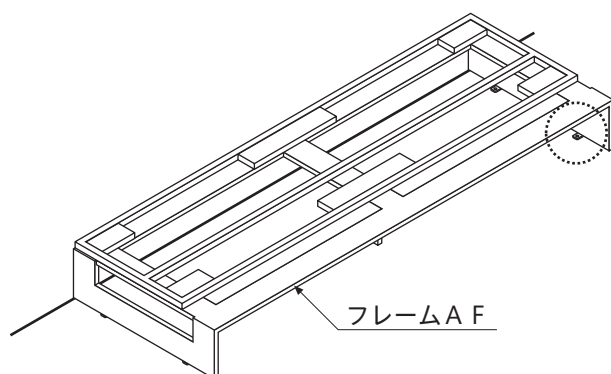
◇ I N O A F Fタイプの場合

■ フレーム A F の設置、レベル調整

- ・ フレーム A F を床面に設置します。
- ・ フレーム A F のアジャスターにてレベルを調整します。

■ 調整範囲 - 1. 5 mm ~ + 1 0 mm

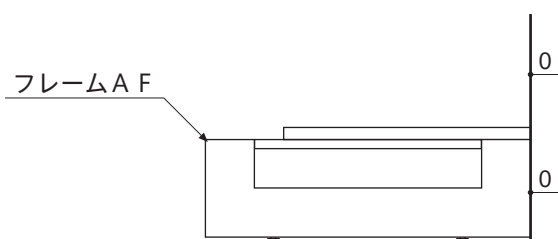
※ 両端のアジャスターは内側に穴がくるように調整します。



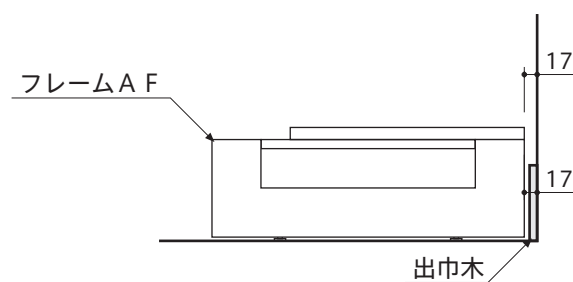
フレーム A F 設置位置

[側面図]

《背面の壁に出巾木がない場合》

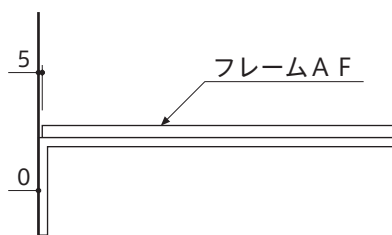


《背面の壁に出巾木がある場合》

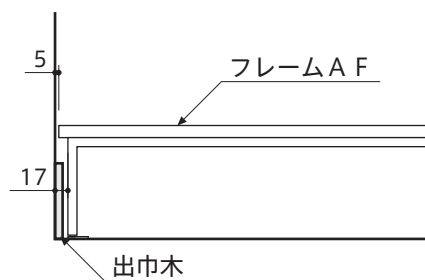


[正面図]

《側面の壁に出巾木がない場合》

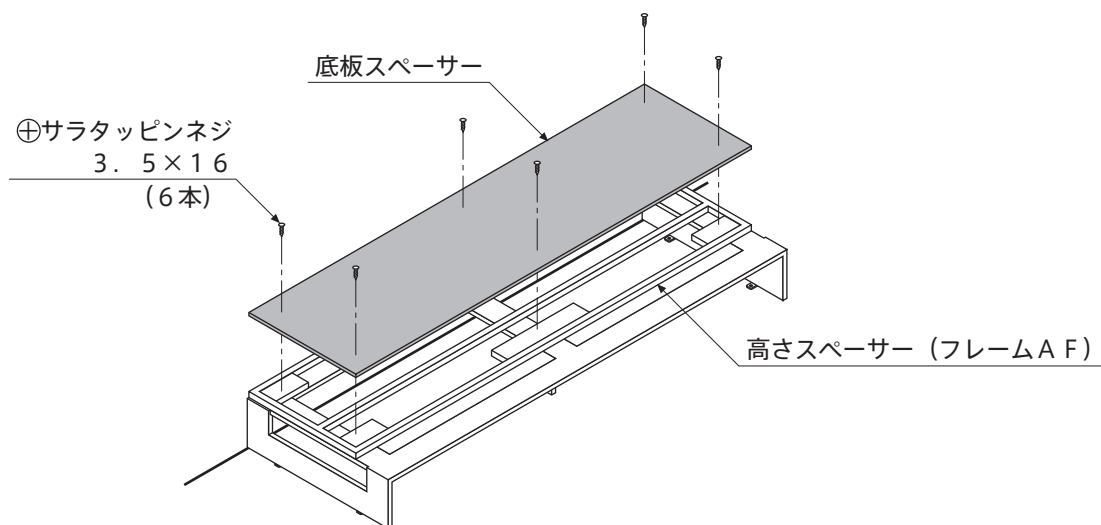


《側面の壁に出巾木がある場合》

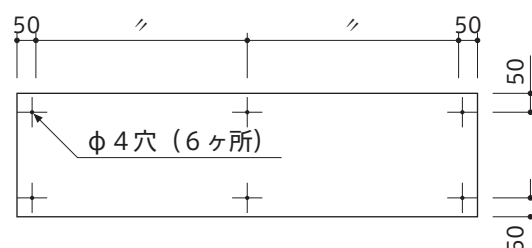


## ■底板スペーサーの取付け

- ・フレーム A F に底板スペーサーを取付けます。  
底板スペーサーの指定位置に  $\phi 4$  穴をあけます。  
フレーム A F の高さスペーサー外面と底板スペーサー外面を揃えて、 $\oplus$ サラタッピンネジ 3.5  $\times$  16 にて固定します。



底板スペーサー取付位置



## ■スリット化粧板の取付け

※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

### ■側面に壁がない（オープンになる）場合

- ・スリット化粧板（24mm）を底板スペーサーの奥行に合わせてカットします。  
スリット化粧板（24mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサー前側の側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（24mm）を高さスペーサーの間口と側面に貼り付けたスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。  
スリット化粧板（24mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの前面下端に合わせて貼り付けます。

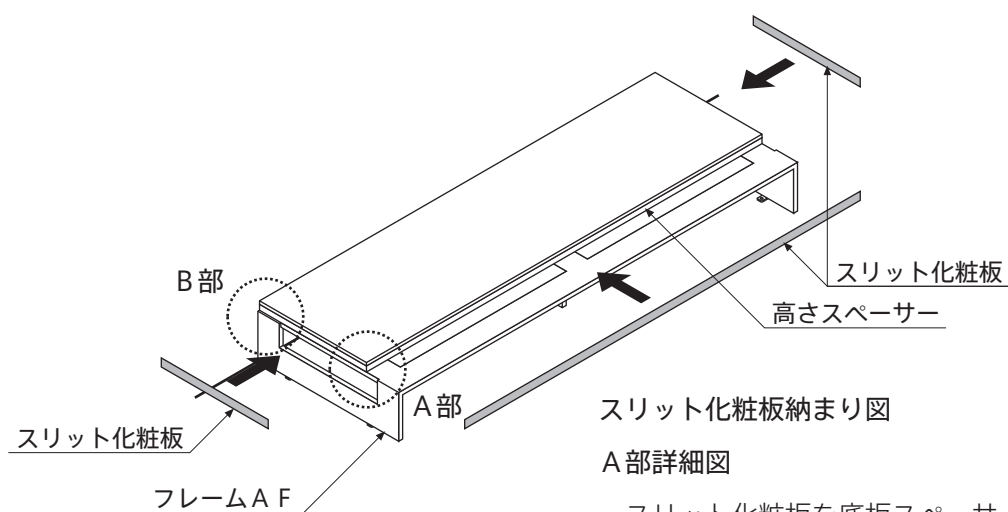
### ■側面に壁がくる場合

- ・ユニット側面の両側とも壁がくる場合、スリット化粧板（24mm）を壁から壁のサイズにカットします。
- ・ユニット側面の片側のみ壁がくる場合、オープン側の側面に貼り付けたスリット化粧板の厚みを合わせた壁までのサイズにカットします。  
スリット化粧板（24mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ベースフレームの角パイプの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

※一度貼ったら剥がしにくいので、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかり貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

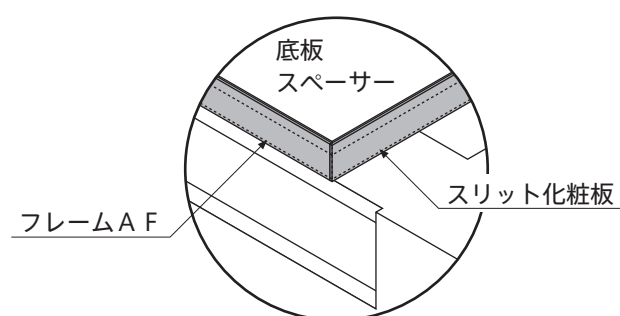


スリット化粧板納まり図

A部詳細図

・スリット化粧板を底板スペーサーのコーナーに合わせる。

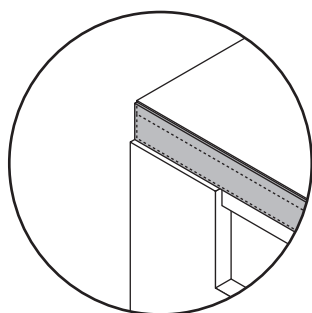
《側面に壁がない（オープンになる）場合》



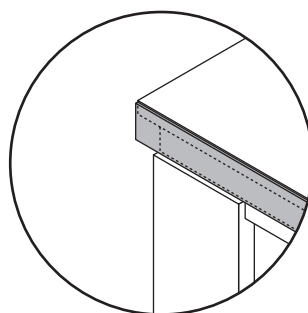
B部詳細図

・スリット化粧板を背面の壁までのばす。

《背面の壁に出巾木がない場合》



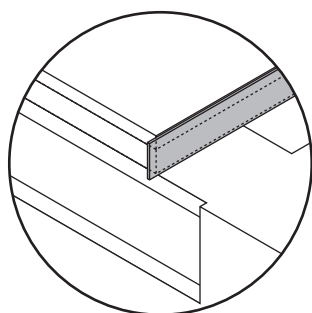
《背面の壁に出巾木がある場合》



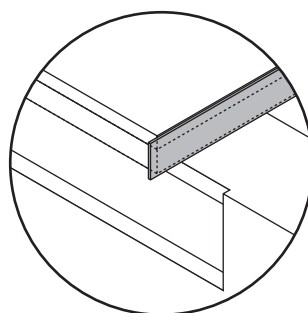
A部詳細図

・スリット化粧板を側面の壁までのばす。

《側面の壁に出巾木がない場合》

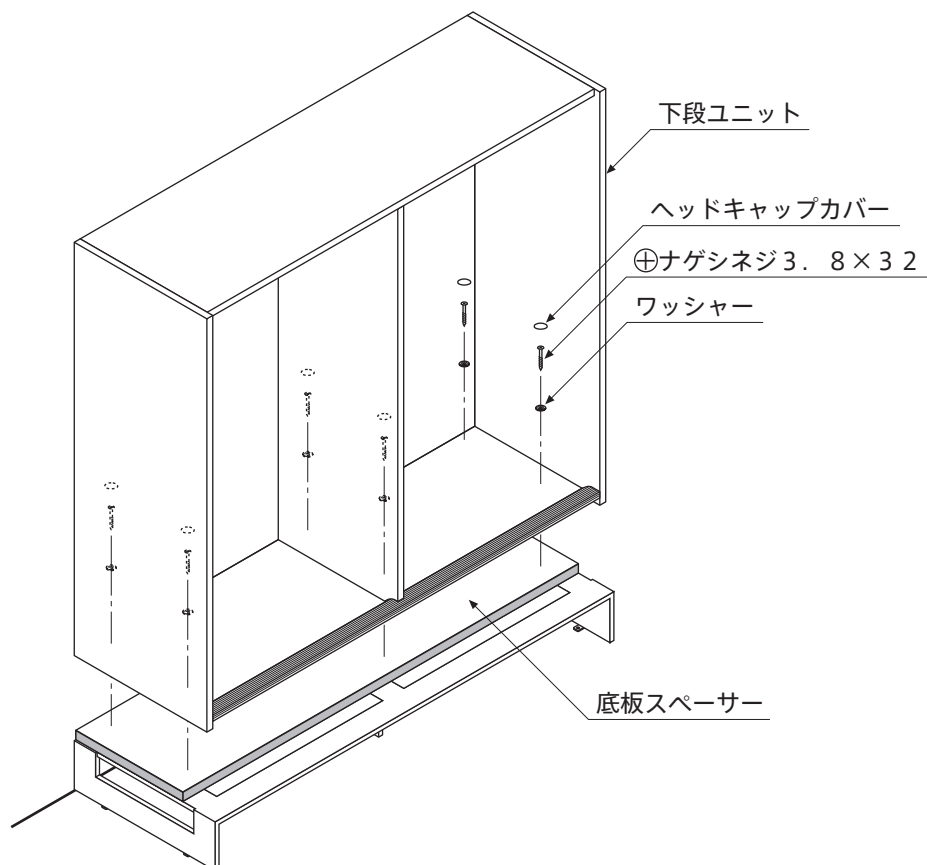


《側面の壁に出巾木がある場合》

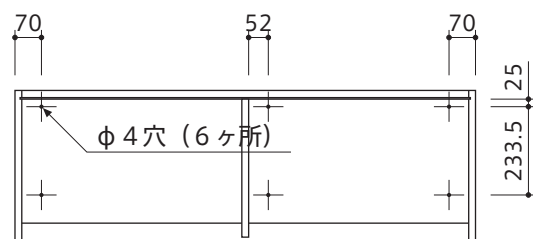


## ■下段ユニットの固定

- ・下段ユニットを底板スペーサーに取付けます。  
下段ユニット底板の指定位置にφ4穴をあけます。  
下段ユニット背面を底板スペーサー背面に合わせ、下段ユニット側板を底板スペーサー側面から5mmはみ出た位置に設置します。  
⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、下段ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



下段ユニット固定位置



## ◎CORE 【MRTN - 90(120)\*\*\*\*\*の場合】

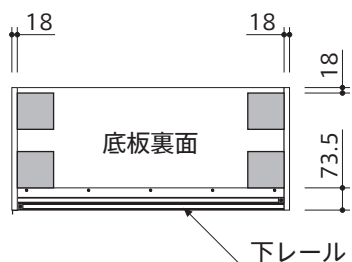
### 《単独置きの場合》

#### ■底板スペーサーの取付け

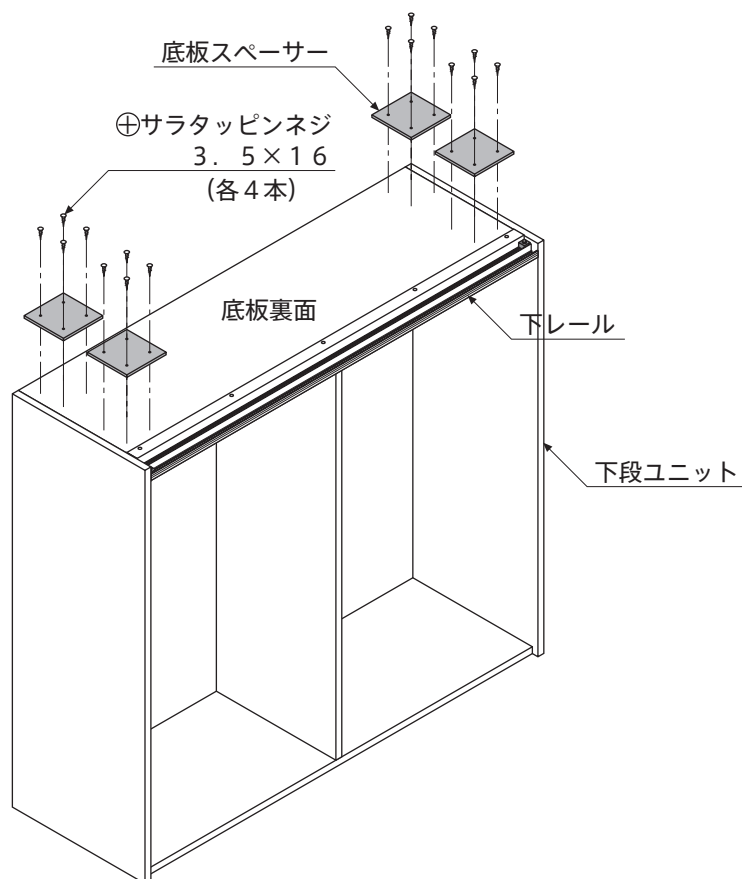
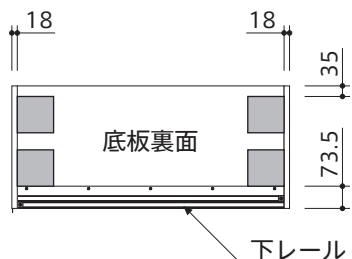
- ・下段ユニットを裏返し、底板裏面の指定位置に⊕サラタッピンネジ 3.5×16にて底板スペーサーを取付けます。

#### 底板スペーサー取付位置

##### 《背面の壁に出巾木がない場合》



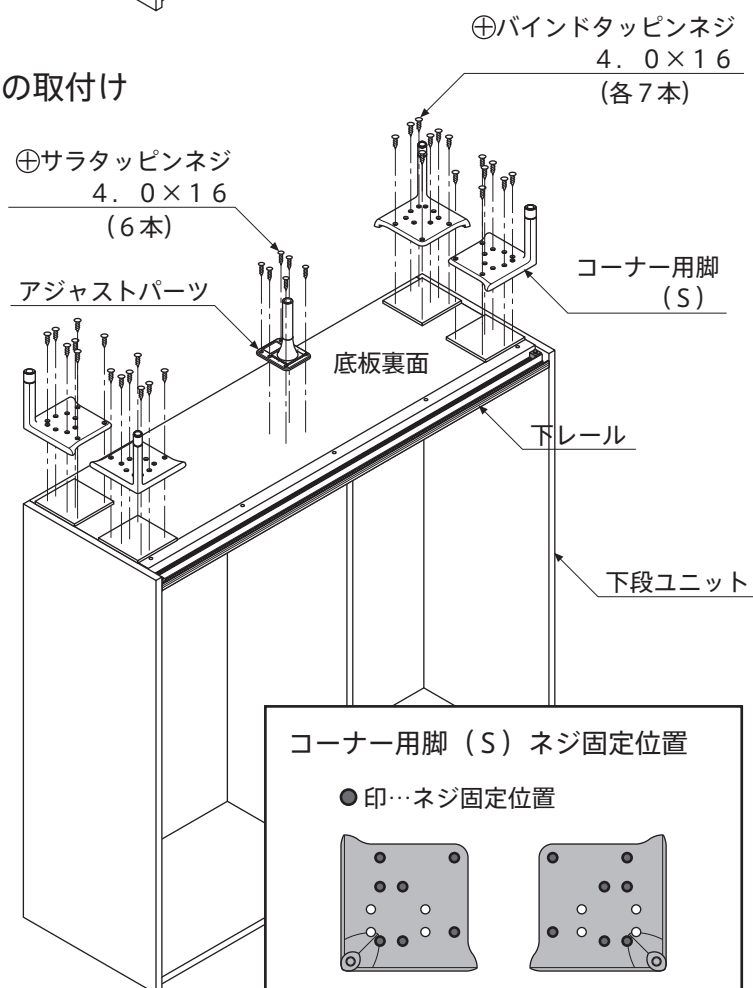
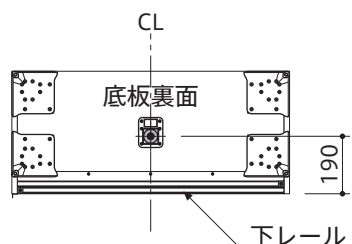
##### 《背面の壁に出巾木がある場合》



#### ■CORE AF、アジャストパーツの取付け

- ・下段ユニット四隅にCORE AFを取付けます。
  - ・底板スペーサーの外角に合わせて、⊕バインドタッピンネジ 4.0×16にてコーナー用脚 (S) を取付けます。
  - ・下段ユニット中央の指定位置に⊕サラタッピンネジ 4.0×16にてアジャストパーツを取付けます。
- ※アジャストパーツの組立てについては、26ページ「アジャスターの取付け」を参照のこと。

#### アジャストパーツ取付位置



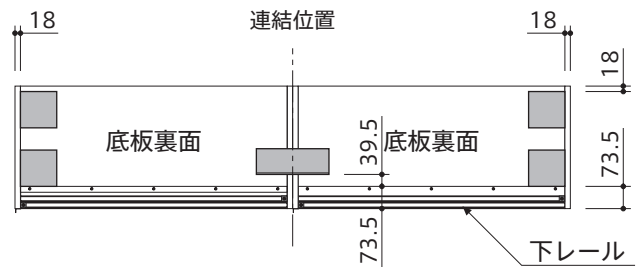
## 《連結する場合》

### ■底板スペーサー、連結スペーサーの取付け

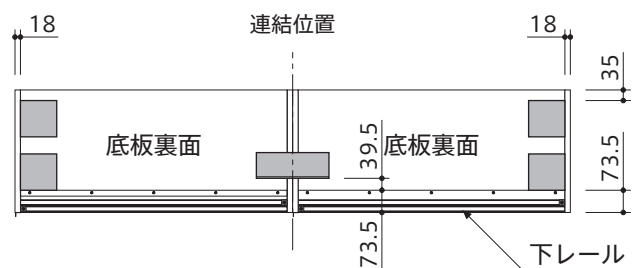
- ・下段ユニットを裏返し、ユニットを連結します。  
下段ユニット側板の指定位置にユニット連結穴φ4をあけます。  
隣接する下段ユニットの側板前面を揃え、⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、下段ユニット側板から固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ・下段ユニット底板裏面の指定位置に⊕サラタッピンネジ3.5×16にて底板スペーサーを取付けます。
- ・下段ユニット底板裏面の連結部分の指定位置に⊕サラタッピンネジ3.5×35にて連結スペーサーを取付けます。

#### 底板スペーサー、連結スペーサー取付位置

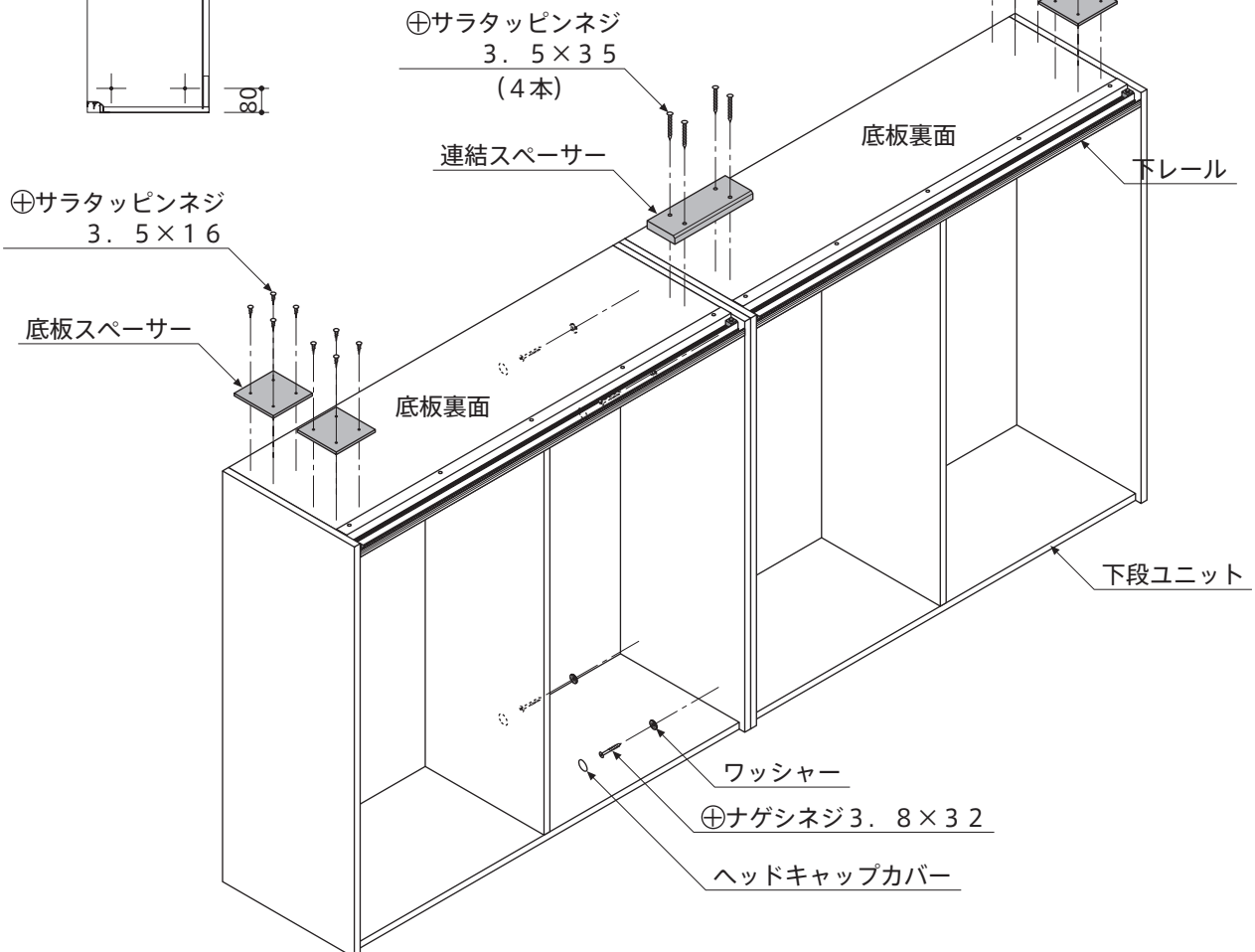
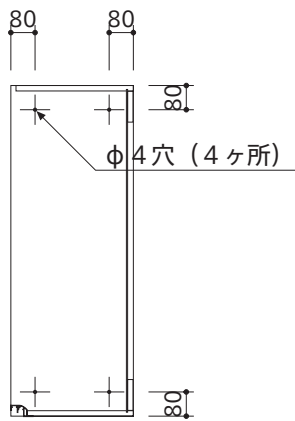
##### 《背面の壁に出巾木がない場合》



##### 《背面の壁に出巾木がある場合》



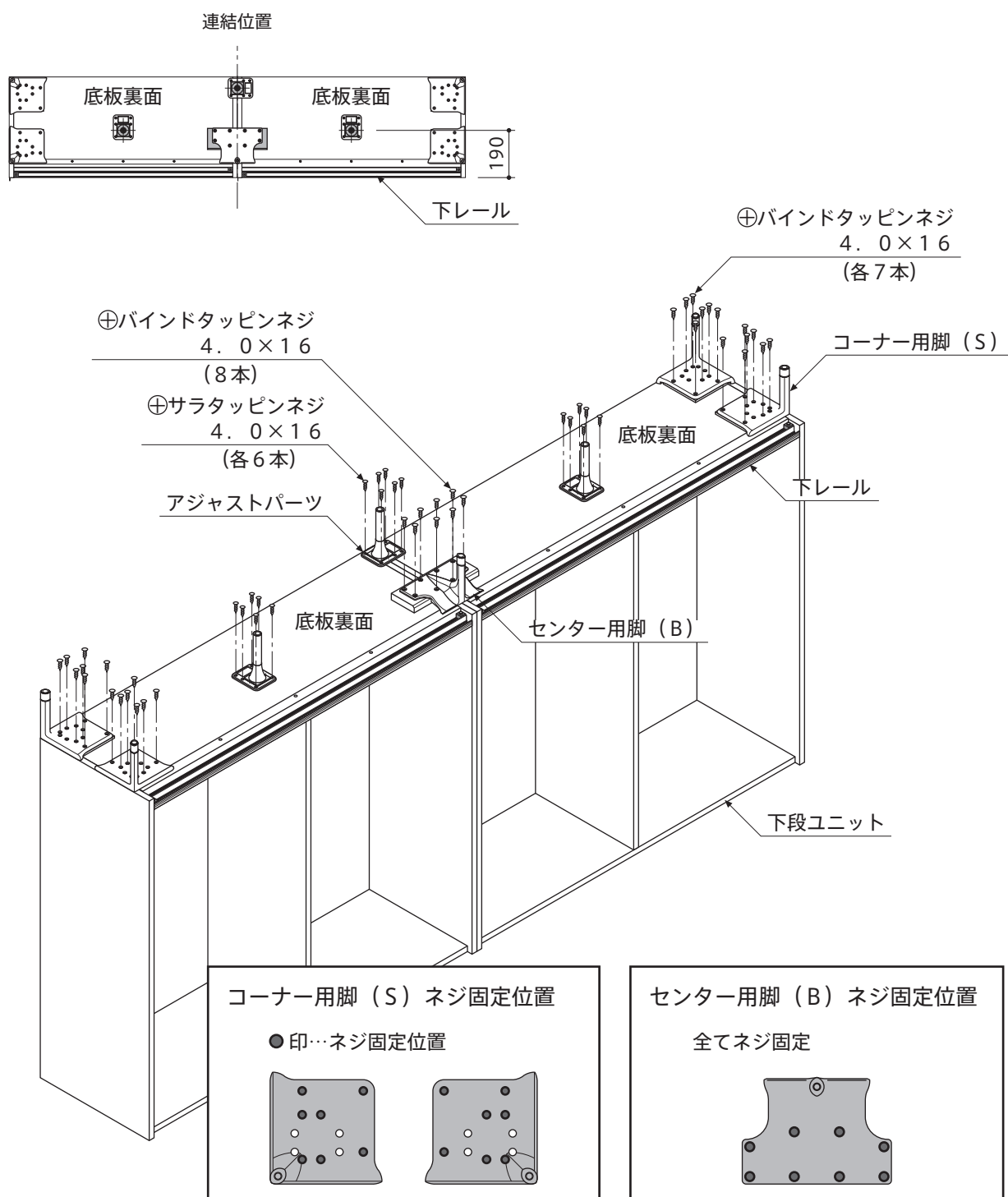
#### ユニット連結位置



## ■CORE AF、アジャストパーツの取付け

- ・連結した下段ユニット全体の四隅にCORE AFを取付けます。  
底板スペーサーの外角に合わせて、⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてコーナー用脚（S）を取付けます。
  - ・下段ユニット連結部分の連結スペーサーの指定位置に⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてセンター用脚（B）を取付けます。
  - ・各下段ユニット中央の指定位置と下段ユニット連結部分の指定位置に⊕サラタッピンネジ4.0×16にてアジャストパーツを取付けます。
- ※アジャストパーツの組立てについては、26ページ「アジャスターの取付け」を参照のこと。

### CORE AF アジャストパーツ取付位置



《単独置き、連結する場合共通》

## ■CORE AF、アジャストパーツの調整

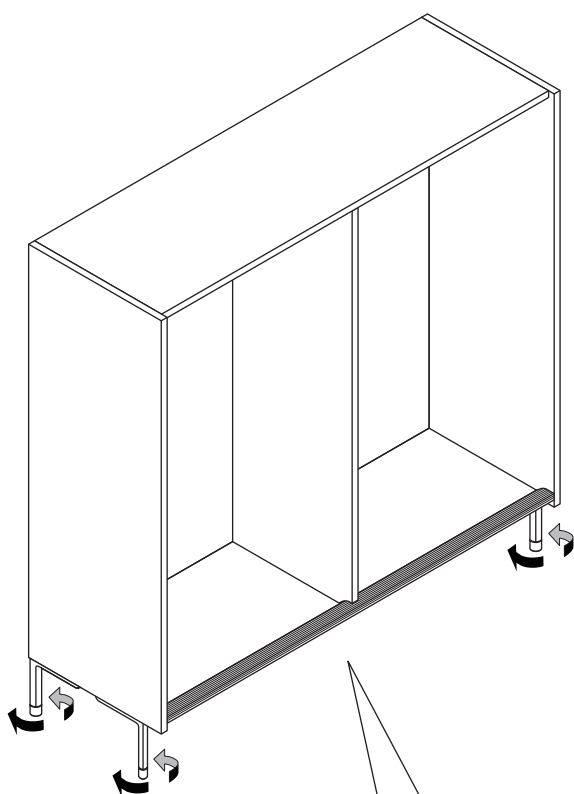


ユニットは脚を軸にして起こしたり、引きずらないでください。



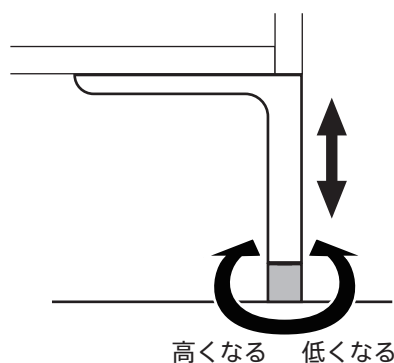
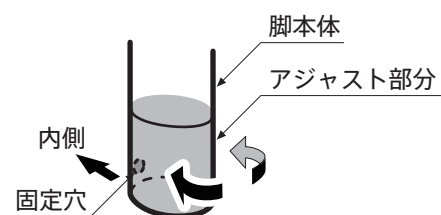
床を傷つけたり、ユニットが破損する恐れがあります。

- ・下段ユニットを元に戻し、床面に置いてください。
- ・底板の高さや水平を調整してください。



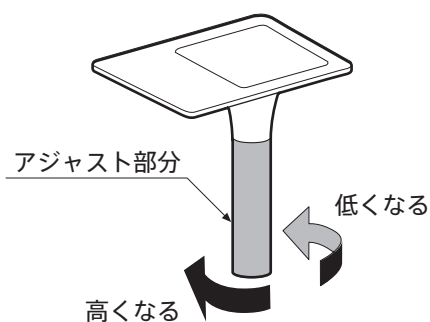
### CORE AFの調整

- ・アジャスト部分を手で回して調整します。  
■調整範囲  $-0\text{mm} \sim +10\text{mm}$
- ・アジャスト部分の固定穴が見えないように内側へ向けてください。
- ・脚本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整してください。



### アジャストパーツの調整

- ・アジャスト部分を手で回して調整します。  
■調整範囲  $-0\text{mm} \sim +10\text{mm}$
- ※調整は0mmを基準として、最小範囲で行ってください。





### 3. 電源コード取出用の穴開け、スペーサーの取付け

#### 【MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合】

- ・下段ユニット背板の指定位置に電源コード取出穴φ20をあけます。(図1)
- ・事前に壁出ししておいた電源コードを下段ユニット背板の電源コード取出穴からユニット内に引き込み、スペーサーの背面からスライドコンセント取付穴へ通します。(図2)
- ※スペーサーはスライドコンセント取付穴が背板側にくるようにしてください。
- ・スライドコンセント取付穴から出ている電源コードは、スライドコンセントとのジョイントに必要な長さを確保し、余分な電源コードは背板の電源コード取出穴へ戻してください。(図3)
- ・下段ユニットの中仕切の指定位置に⊕バインド小ネジM4×30にてスペーサーを取付けます。(図4)
- ※スペーサーを取付けるときに、電源コードがスペーサーと中仕切に挟まれて断線しないように注意してください。
- ・スペーサーを取付けた穴を穴キャップにてふさいでください。(図4)

注意：スライドコンセントのコードと電源コードを接続する前に、スライドコンセントをスペーサーにはめ込まないでください。

図1

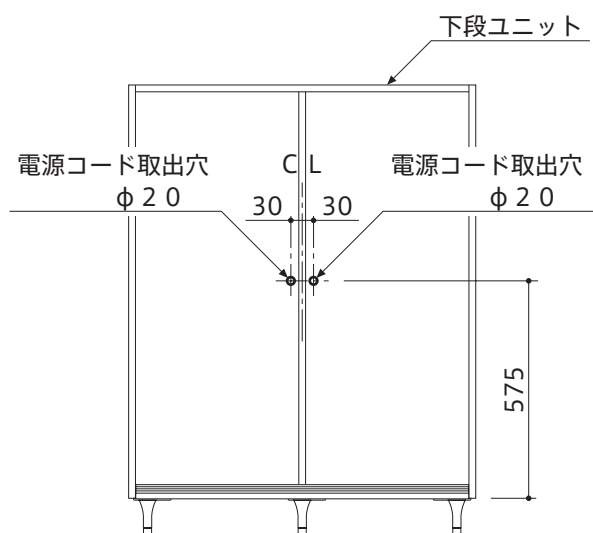


図2

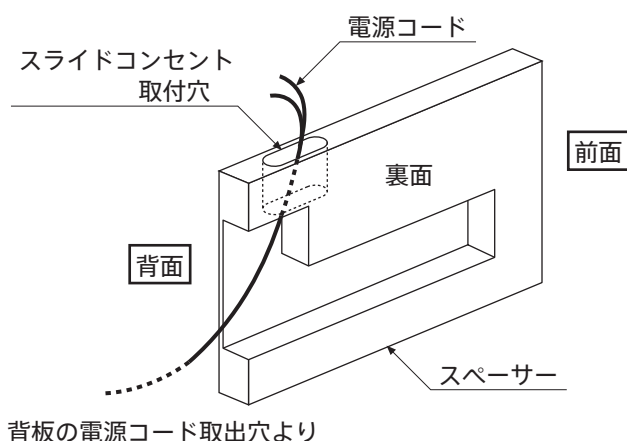


図3

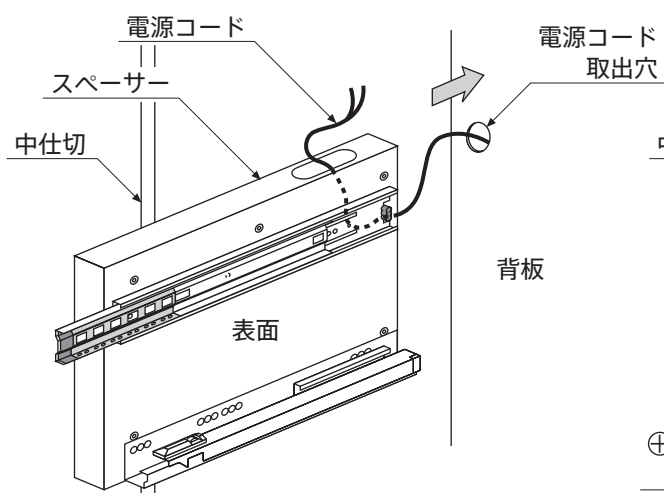
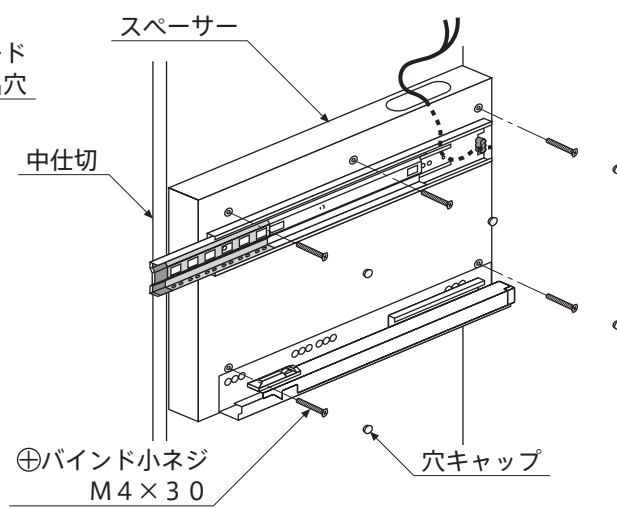


図4



## 4. スライドコンセントの取付け

【MRT ☆ - 90(120)HBATS \* 1 の場合】



電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電の原因になることがあります。

- ・スライドコンセントに付属のP C 接続端子を電源コードの先に取り付け、スライドコンセントのP C 接続端子と接続します。(図4)
- ・余分な電源コードはスペーサー内へ戻しながら、スライドコンセントを取付穴に差し込み、取付けます。(図5)

図4

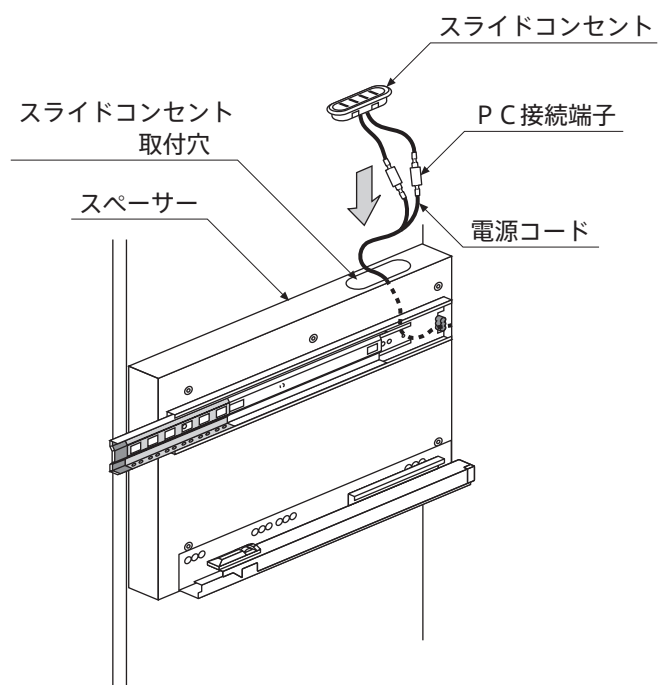
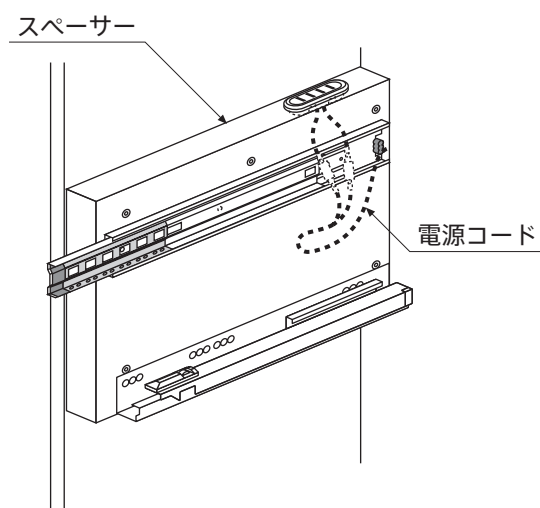


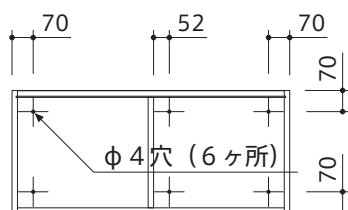
図5



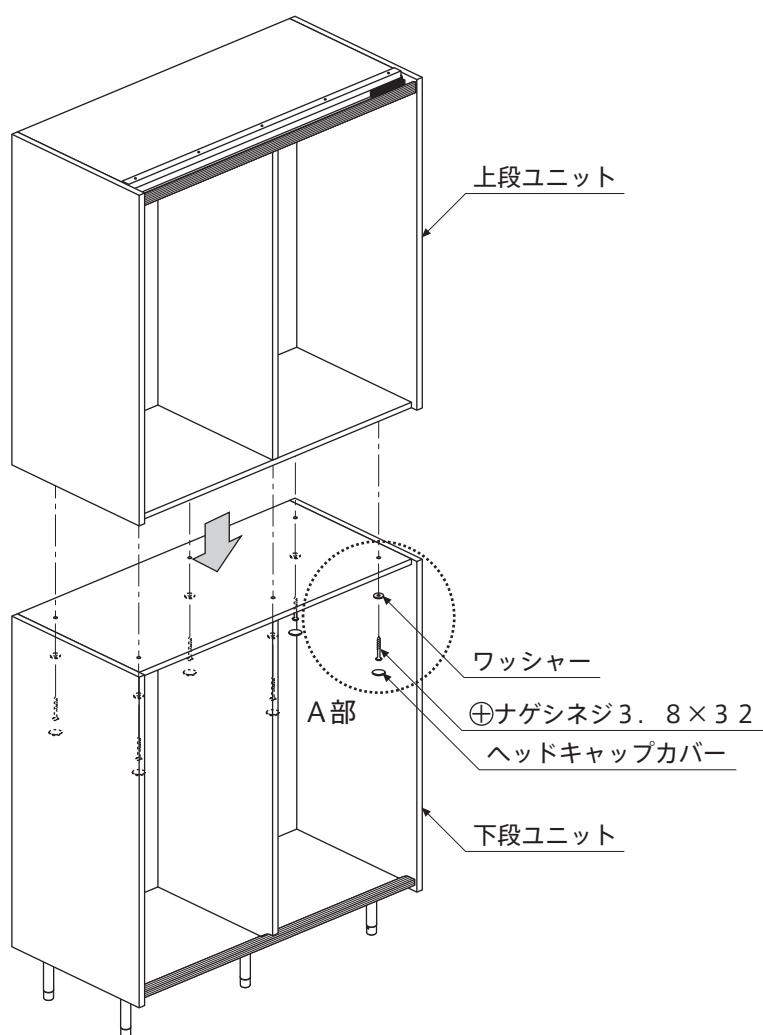
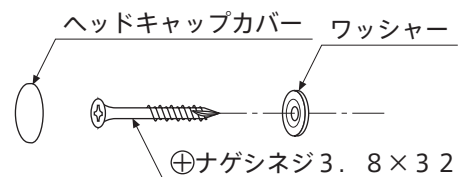
## 5. 上段ユニットの設置、固定

- ・下段ユニット天板の指定位置にユニット固定穴φ4をあけます。
- ・下段ユニットの上に上段ユニットをのせます。
- ・上段ユニットと下段ユニットの側板前面を揃え、⊕ナゲシネジ3. 8×3 2にワッシャーを通して、下段ユニットの天板から上段ユニットと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

ユニット固定穴位置

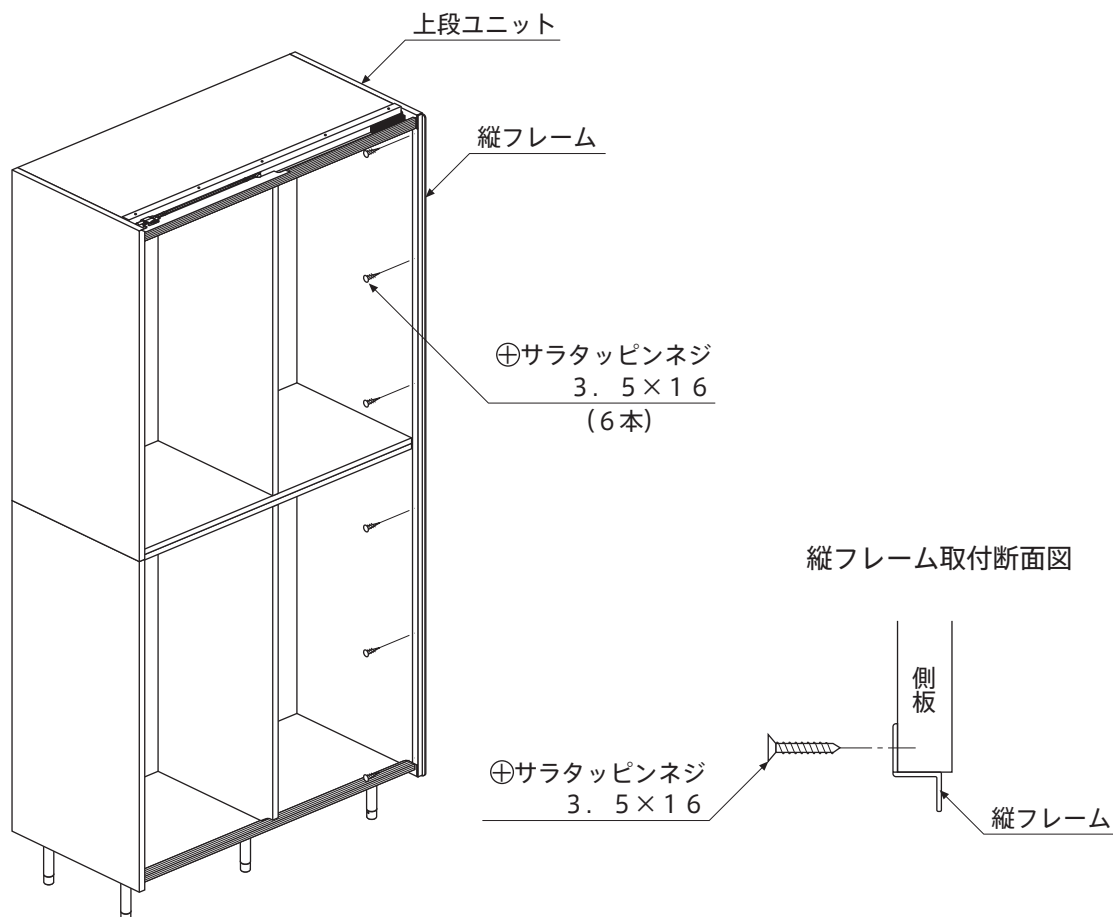


A部詳細図



## 6. 縦フレームの取付け

- ・側板前面に縦フレームを取付けます。  
縦フレーム上端を上段ユニット側板の上端に揃えて、⊕サラタッピンネジ 3.5×16 にて固定します。



## 7. ユニットの壁面固定



警告

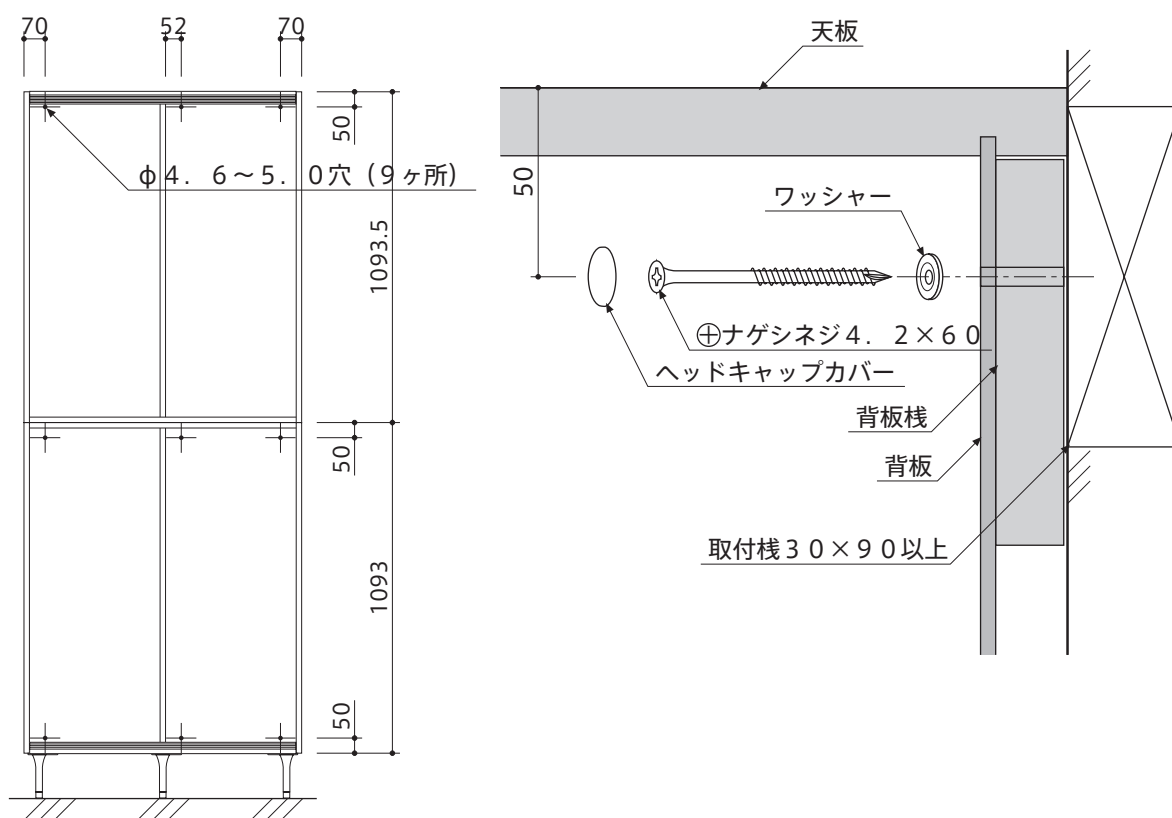
スライドドア収納庫の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



転倒して、ケガをする恐れがあります。

※ユニット本体を固定する前に、ユニットのレベル調整を必ず行ってください。

- ・ユニット内側から図に示す位置に下穴φ4.6～5.0を明け、⊕ナゲシネジ4.2×60にワッシャーを通して、壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



## 引き戸の取付け

※引き戸を取付ける前に、引き戸のフレームの直角、固定ネジのゆるみ、ローラー金具の取付ネジのゆるみが無いか確認してください。

### ■引き戸（L）の取付け

- ・引き戸（L）を持ち上げ、上部ローラーを上レールの手前のレール部分にのせます。（図1・2）
- ・引き戸（L）の下部ローラーを「カチッ！」と音がするまで手前に引き、下レールにはめます。（図2・3・4）

※引き戸（L）を左右にスライドさせ、上下部ローラーが上下レールにはまっているか確認してください。

※引き戸に傾きが無いか確認してください。

図1

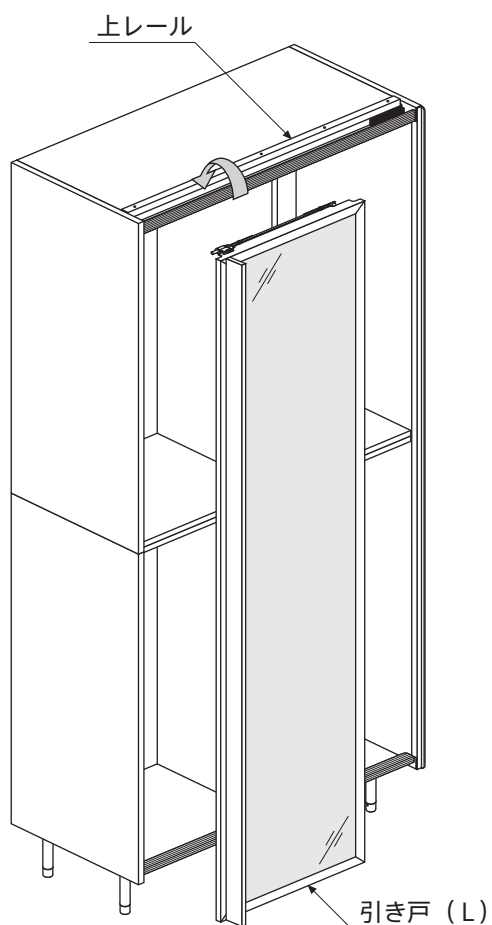


図2

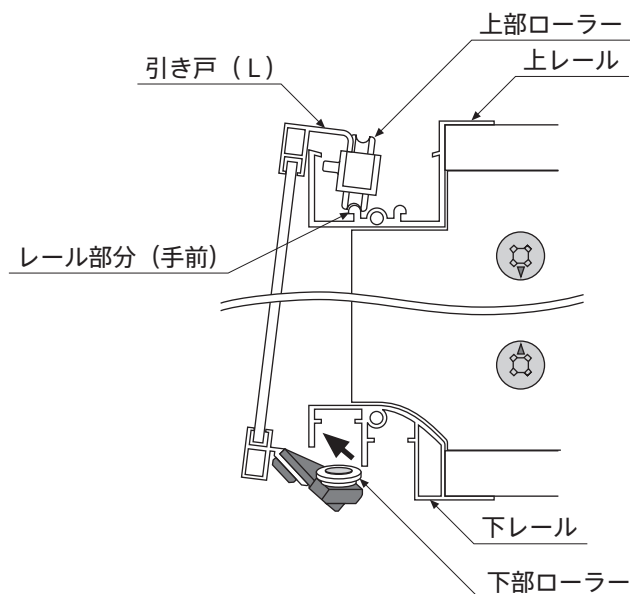


図3

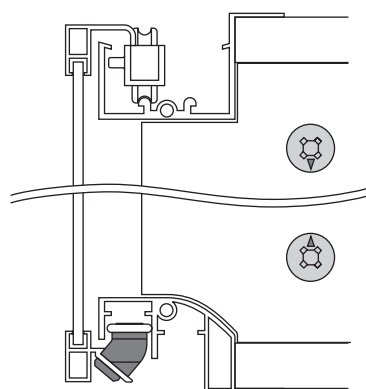
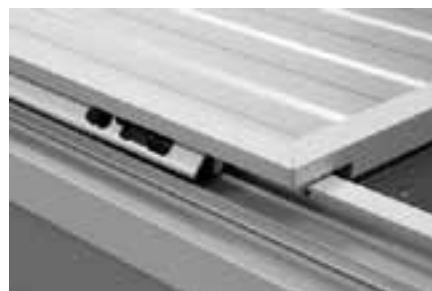
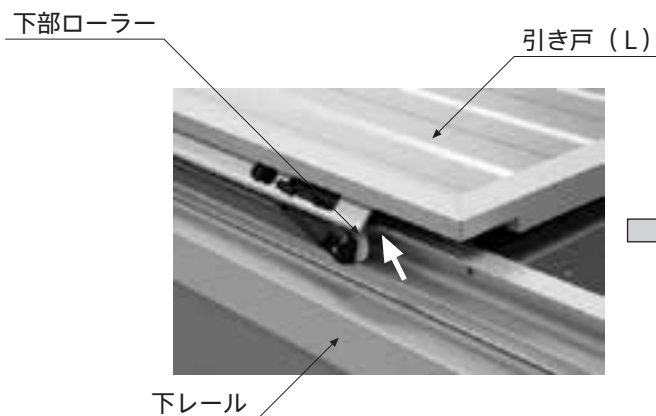


図4



## ■引き戸（R）の取付け

- ・引き戸（R）を持ち上げ、上部ローラーを上レールの奥側のレール部分にのせます。（図5・6）
  - ・引き戸（R）の下部ローラーを「カチッ！」と音がするまで手前に引き、下レールにはめます。（図6・7・8）
- ※引き戸（R）を左右にスライドさせ、上下部ローラーが上下レールにはまっているか確認してください。  
 ※引き戸に傾きが無いか確認してください。

図5

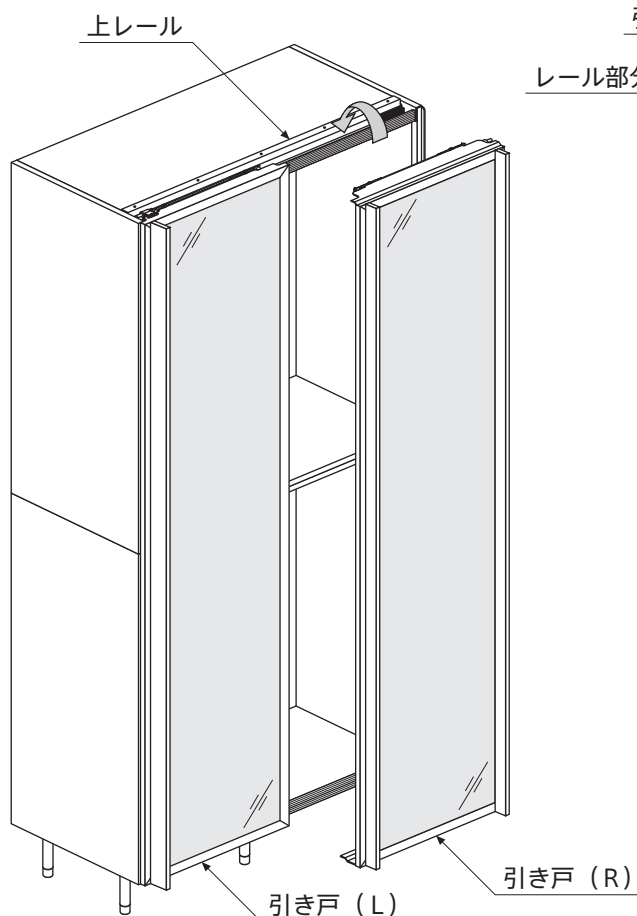


図6

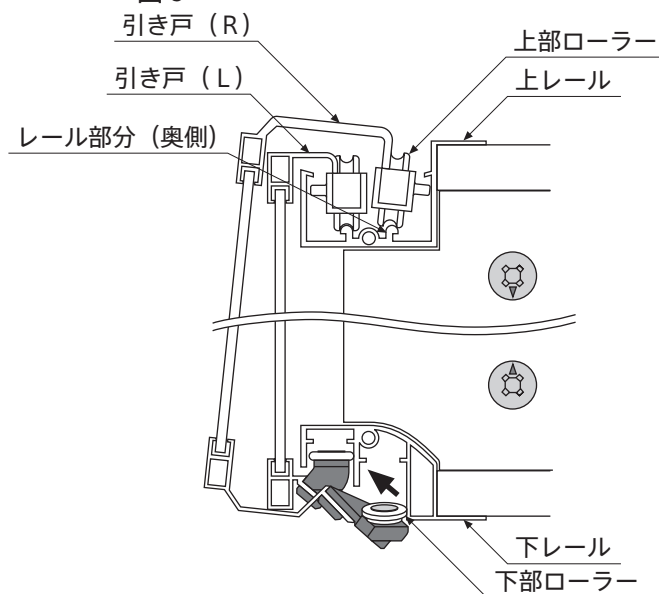


図7

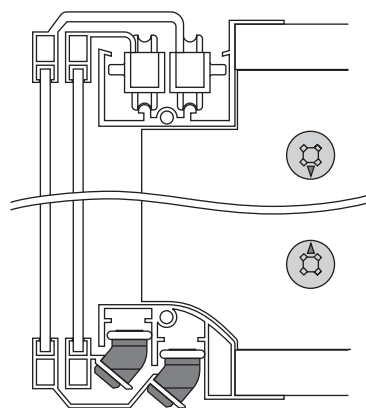
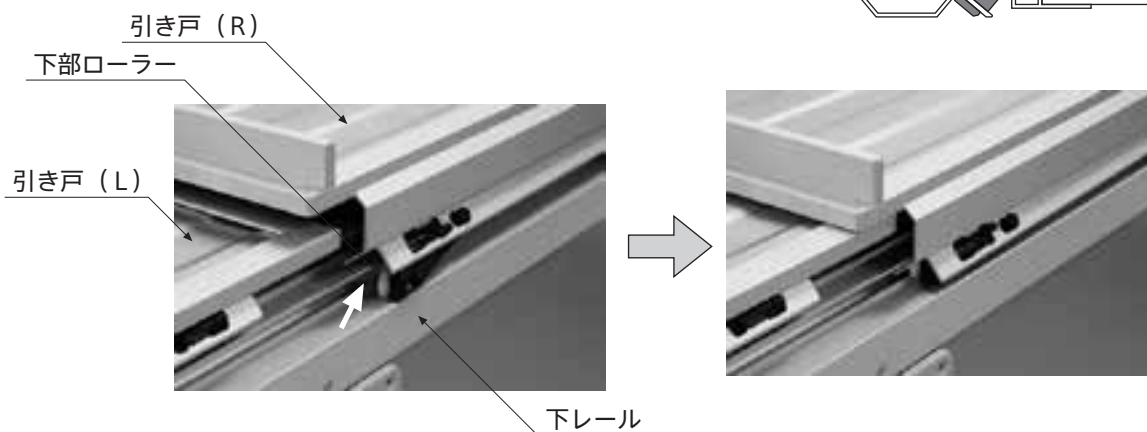


図8



## 引き戸の調整

- ・ 引き戸を取付け後、なめらかな開閉をしない場合は、まず本体の歪みをチェックし、本体と壁との間にパッキン等を入れて歪みを直します。
- ・ その他の原因としては、図1に示すように引き戸の上部a部、下部b部の角度が悪く、c部に余裕が無いために起こる場合があります。このような場合は、「引き戸の取付け」を逆の手順から行って、引き戸を取り外し、a部、b部の角度を調整してください。
- ・ 引き戸上面にある調整ネジを六角レンチ（3mm）にて回し、引き戸の水平を調整してください。（図2）
- ・ 左右の引き戸とユニット側板のチリをチェックします。図3に示すようにチリは1mmとし、前後の引き戸の枠が重なり合うように、図4の樹脂製ストッパーのネジを+ドライバーでゆるめ、チリが1mmになるように移動させ、締め付けてください。

図1

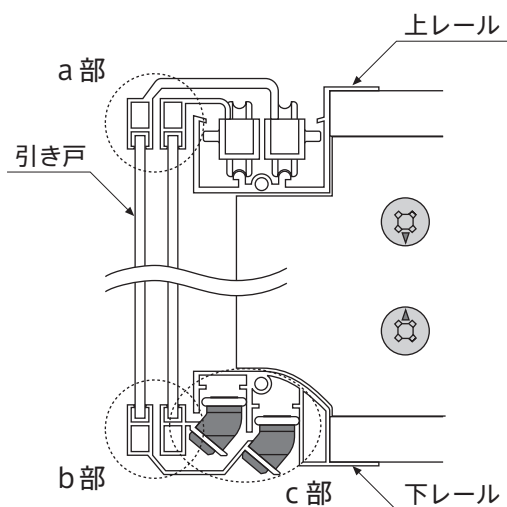
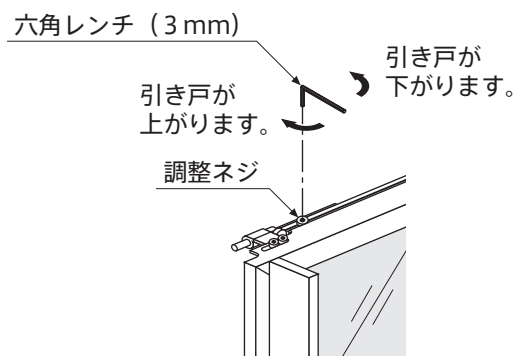


図2 d部拡大図



【引き戸の水平調整】

図3

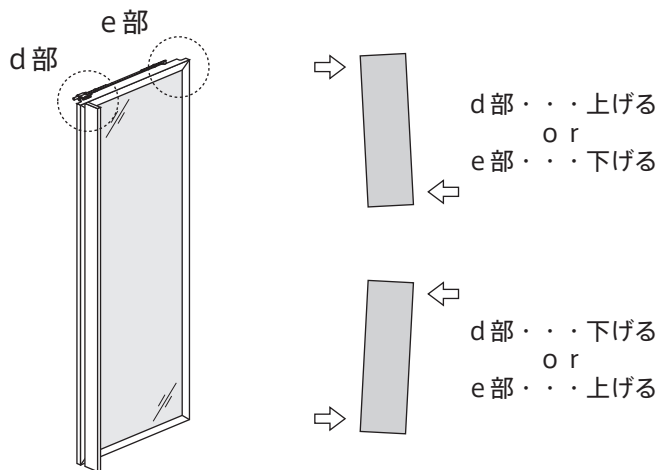
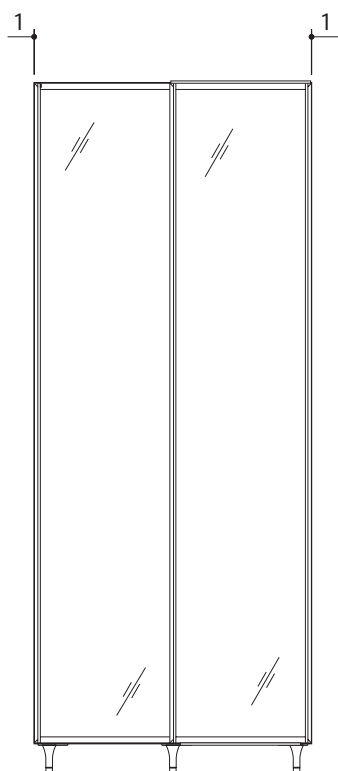
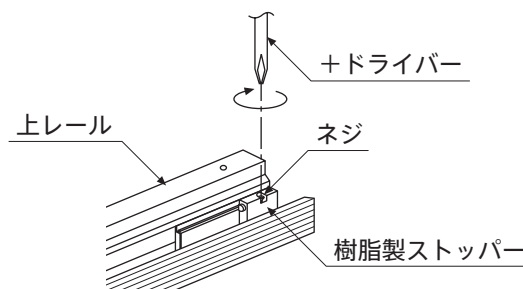
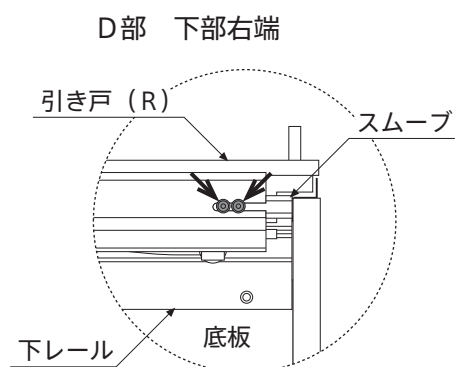
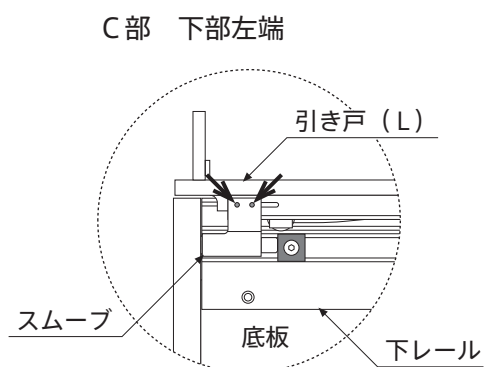
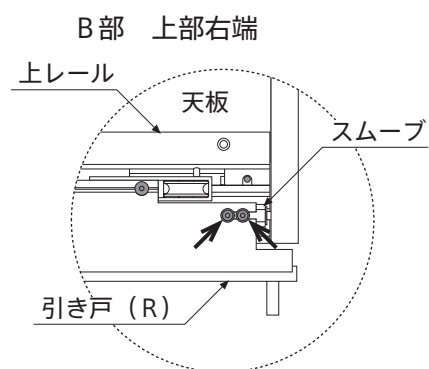
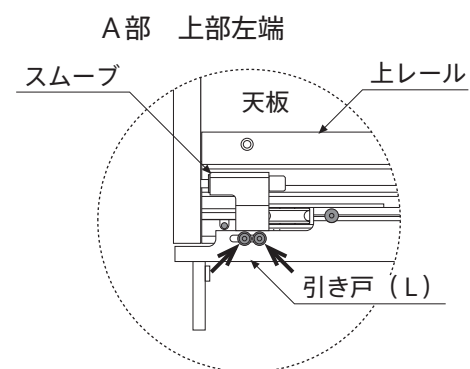
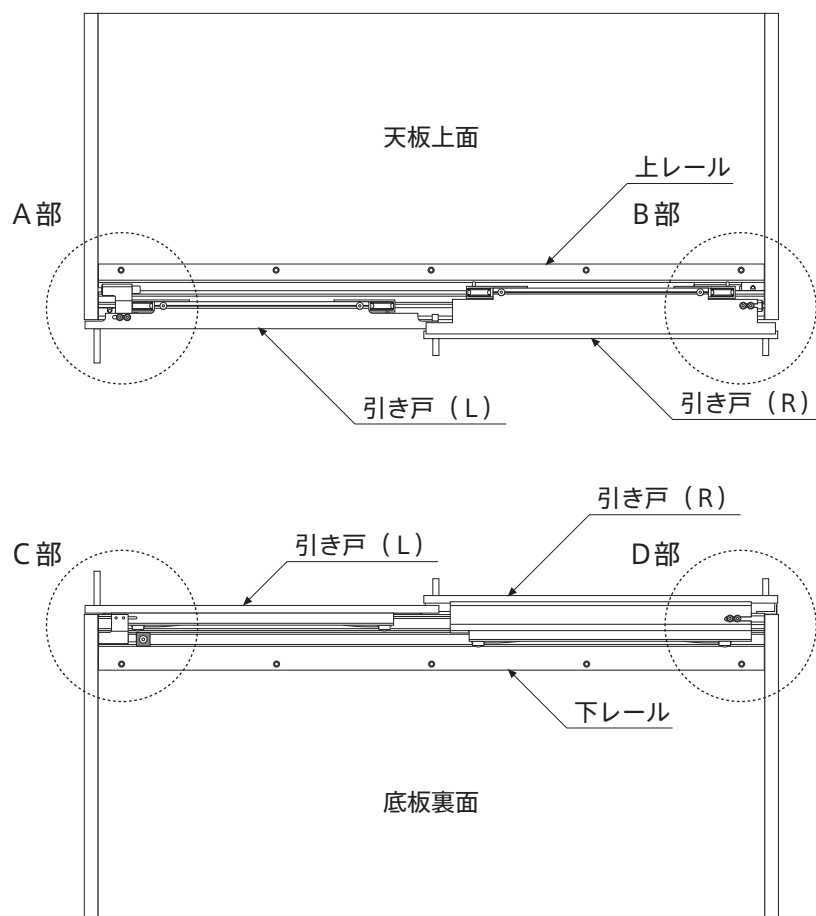


図4



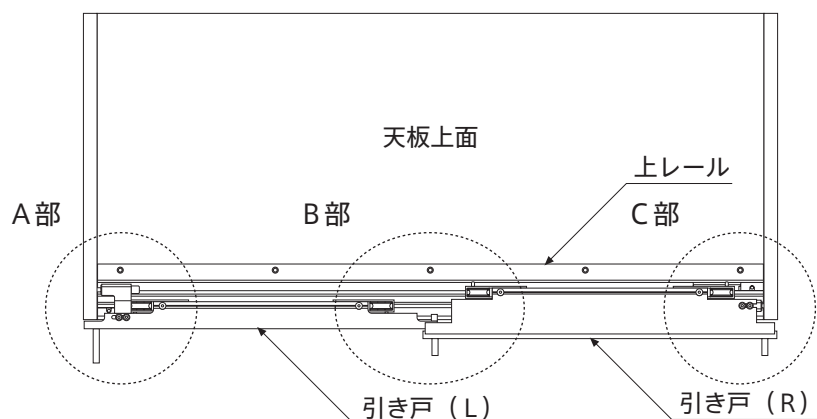


- ・引き戸がスムーズで静かに閉まらない場合は、スムーズの位置を調整してください。  
引き戸（L）の下部のスムーズの位置を調整する場合は、引き戸を取り外して行ってください。



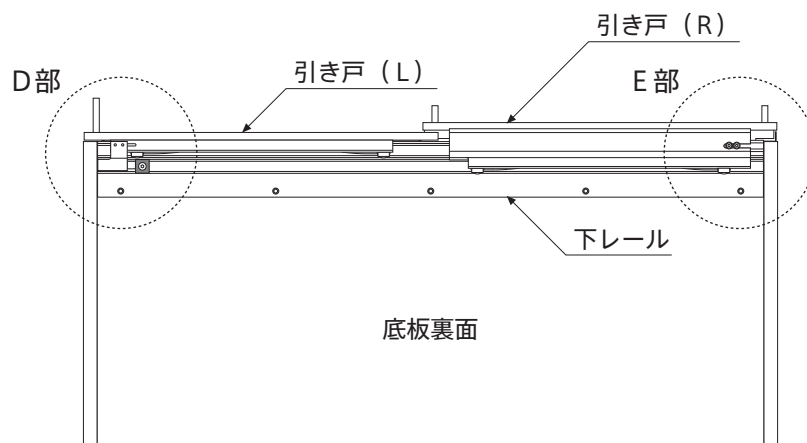
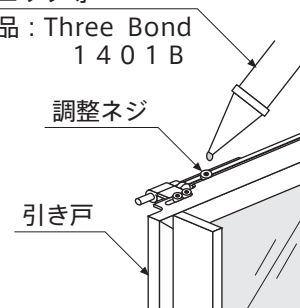
## 引き戸、上レールの固定

- ・ 引き戸（R L各上部4ヶ所、下部2ヶ所 合計12ヶ所）と上レール（2ヶ所）のネジがゆるまないように、ネジロック（推奨品：Three Bond 1401B）等で接着固定してください。



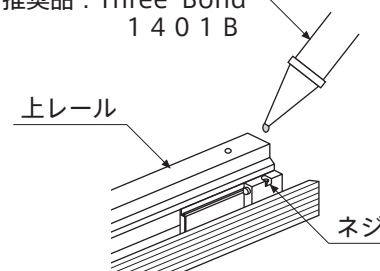
### 【引き戸】

ネジロック等  
推奨品：Three Bond  
1401B

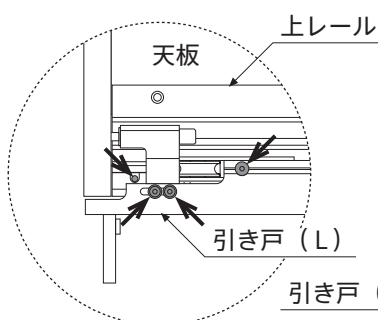


### 【上レール】

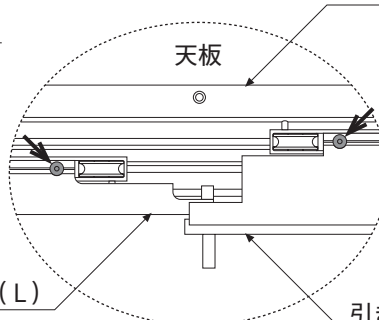
ネジロック等  
推奨品：Three Bond  
1401B



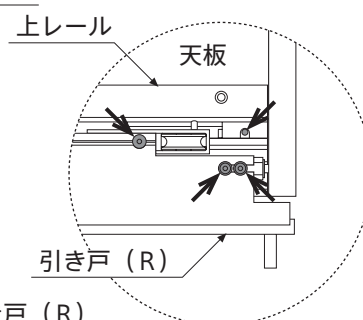
A部 上部左端



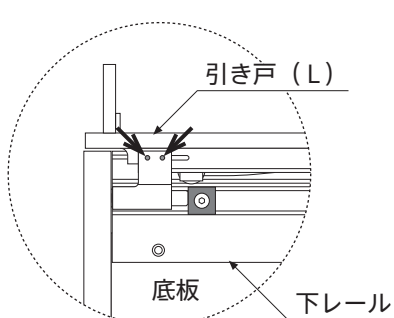
B部 上部中央



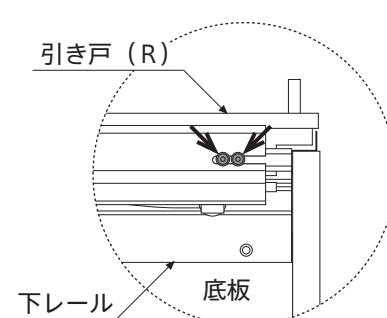
C部 上部右端



D部 下部左端

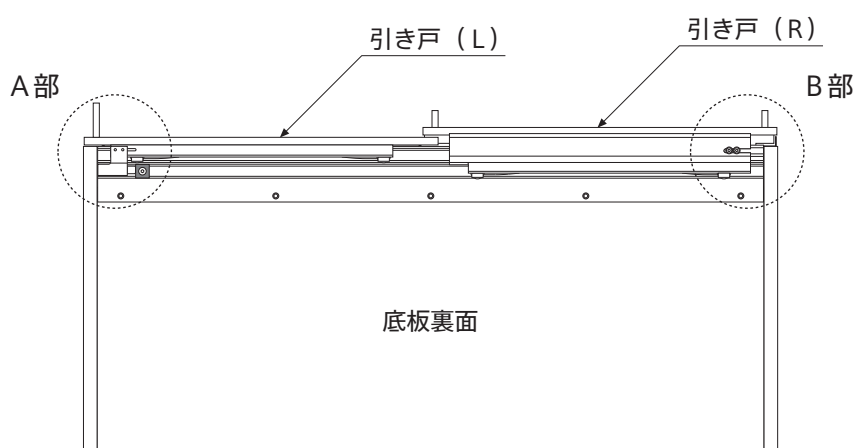


E部 下部右端

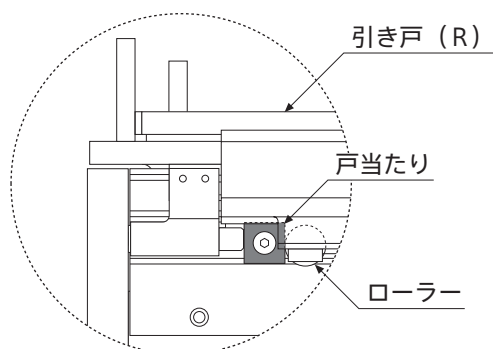


## 戸当たりの本固定

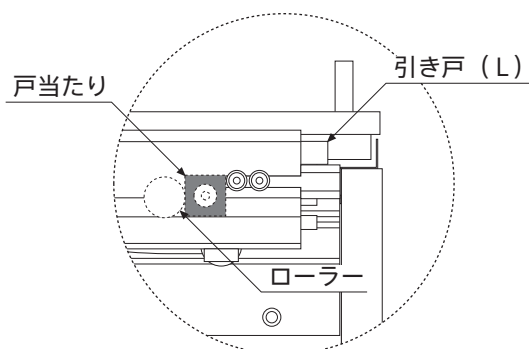
- ・引き戸の調整後、戸当たりの位置を調整し、本固定してください。
- 1. 引き戸（L）を開けます。
- 2. 戸当たりの六角穴付きサラ小ネジ（M5）をゆるめ、10cm程度内側へ移動させて仮固定します。
- 3. 引き戸（L）を閉めた後、戸当たりの六角穴付きサラ小ネジ（M5）をゆるめます。
- 4. 引き戸（R）をゆっくりといっぱいまで開け、戸当たりが引き戸（R）下部のローラーに接して止まった位置で六角穴付きサラ小ネジ（M5）を締めて固定します。
- 5. もう片方も同様に戸当たりの位置を調整後、固定します。



A部 引き戸（R）全開時



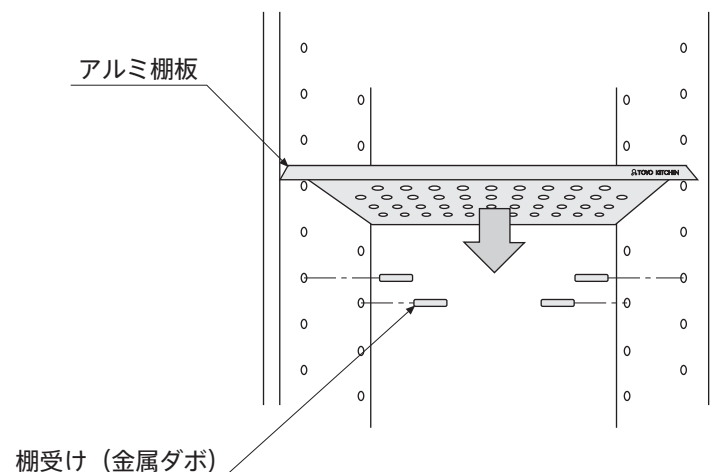
B部 引き戸（L）全開時



## ■アルミ棚板の取付け

### 【MRT☆ - 90(120)HCATS\*1の場合】

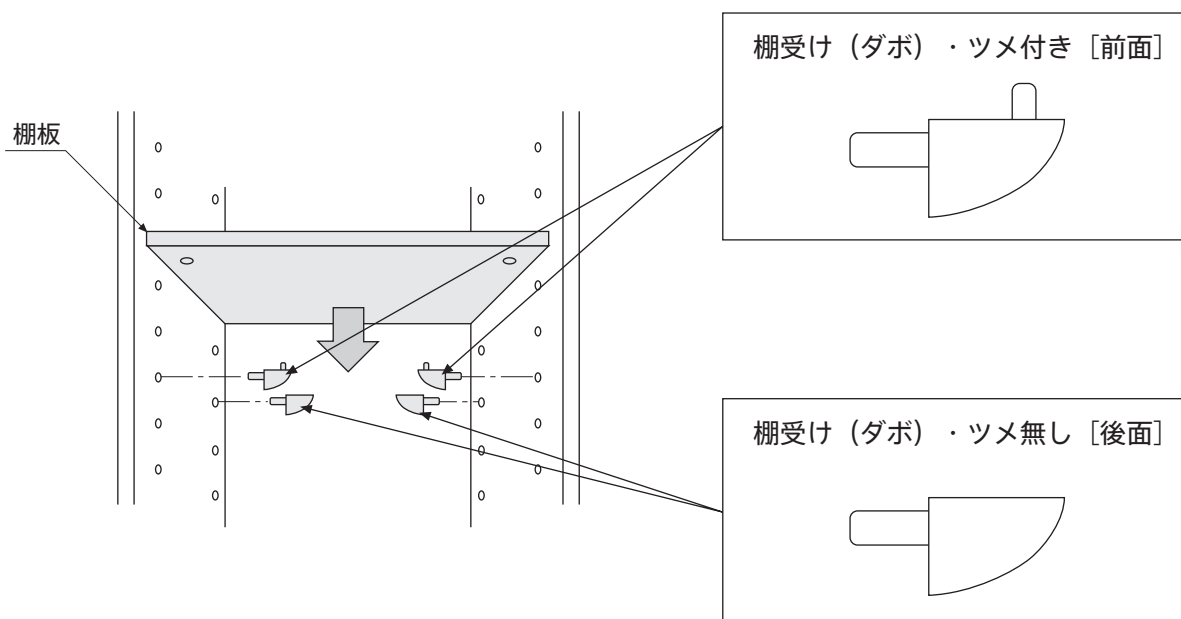
- ・側板の任意の穴位置に棚受け（金属ダボ）を差し込みます。
- ・アルミ棚板を棚受け（金属ダボ）にのせます。
- ・アルミ棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



## ■棚板の取付け

### 【MRT☆ - 90(120)HBATS\*1、MRT☆ - 90(120)TNS\*1の場合】

- ・側板の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込みます。  
取付詳細は下図のように前面にツメ付きダボ、後面にツメ無しダボを差し込んでください。
- ・棚板を棚受け（ダボ）にのせます。
- ・棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



## ■内装引出しの取付け

【MRT☆ - 90(120)HCATS\*1、MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合】

### ○内装引出しの取付け

- ・内装引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図1）
- ・内装引出しレールの上に内装引出しをのせてください。（図2）
- ・内装引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、内装引出しレールに固定します。（図3）

図1

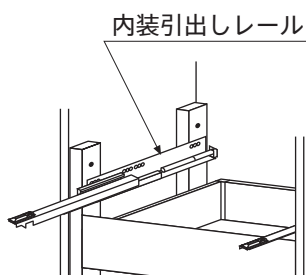


図2

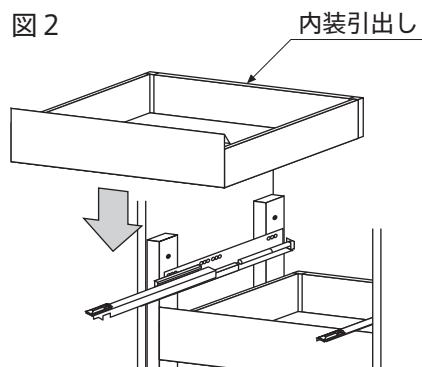
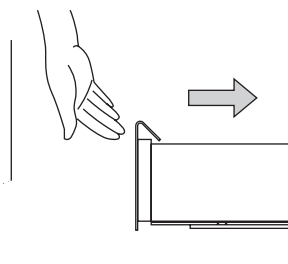


図3



### ○クロスギャラリーの取付け（※MRT☆ - 90(120)HCATS\*1の内装引出し（深型）用オプション）

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。（図1）
- ・内装引出し（深型）のギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。（図2、図3）
- ・クロスギャラリーのネジを締めます。（図1）

図1

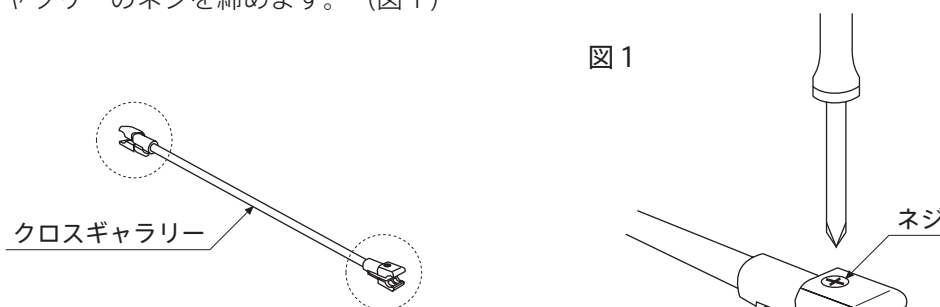


図2

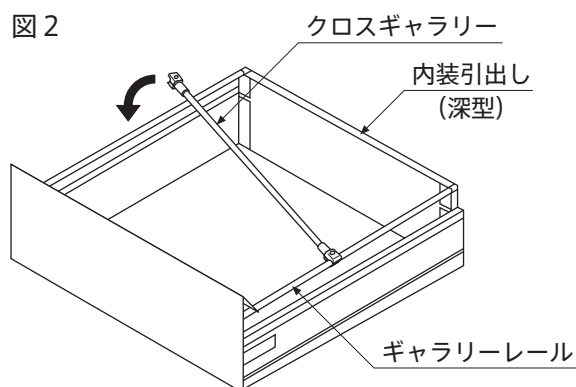
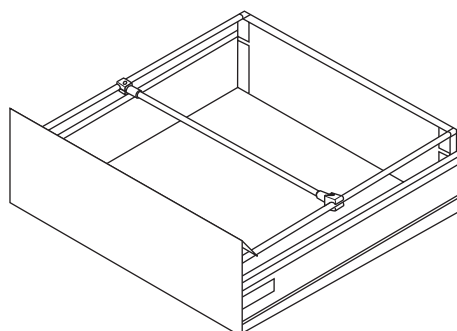


図3

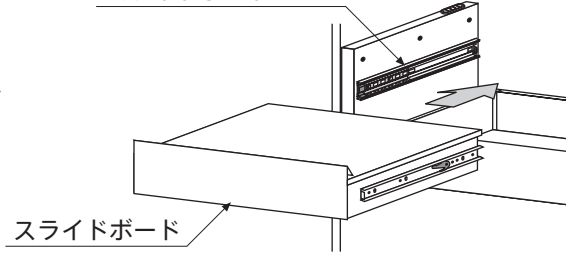


## ■スライドボードの取付け

【MRT☆ - 90(120)HBATS\*1の場合】

- ・スライドボード本体のレールをスライドボードレールに差し込むようにスライドさせて取付けてください。

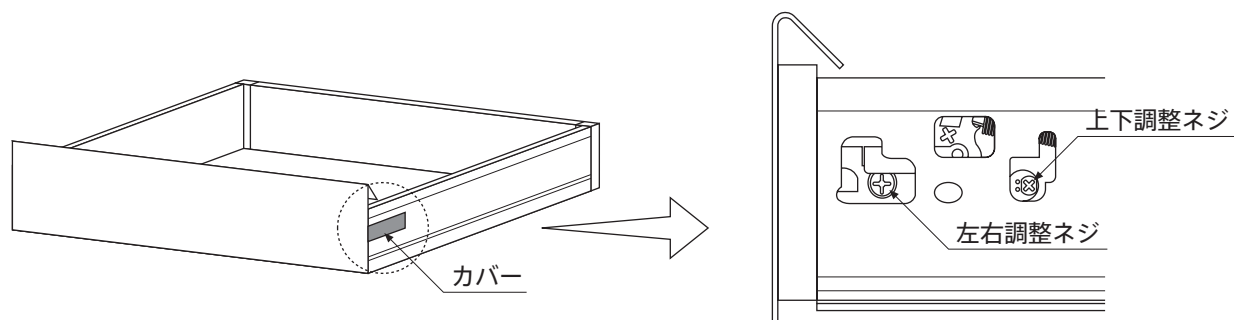
スライドボードレール



スライドボード

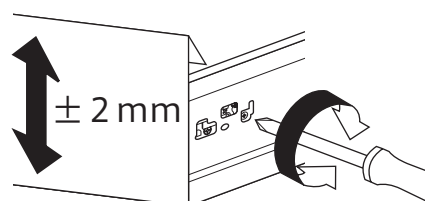
## 内装引出し前板の調整

- ・内装引出しの側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- ※調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



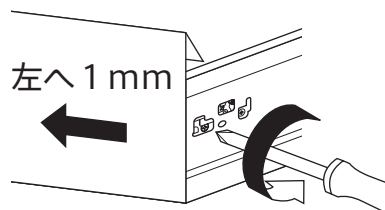
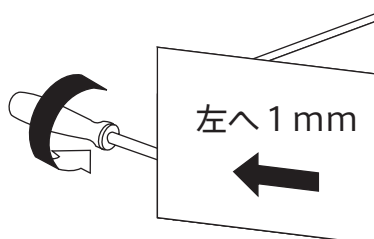
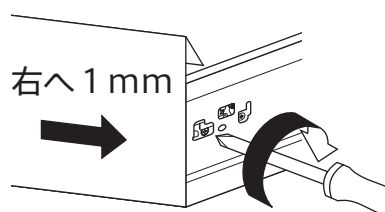
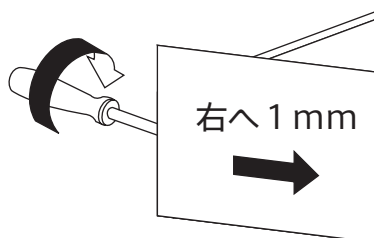
### ■上下方向の調整

- ・上下調整ネジを＋ドライバーで回して、内装引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ $\pm 2\text{ mm}$ 調整できます。



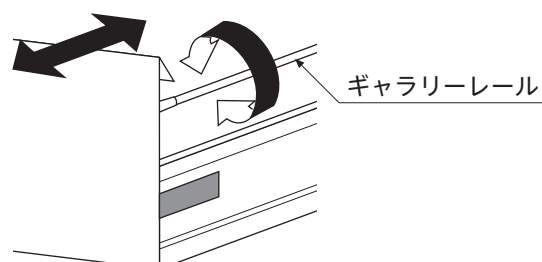
### ■左右方向の調整

- ・左右調整ネジを＋ドライバーで回して、内装引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ $\pm 1\text{ mm}$ 調整できます。



### ■前板の傾き調整

- ※MRT ☆ - 90(120)HCATS \* 1の内装引出し (深型)のみ調整できます。
- ・ギャラリーレールを回して、内装引出し前板の傾きを調整します。



【MRT☆ - 90(120)HBATS＊1の場合】



電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。



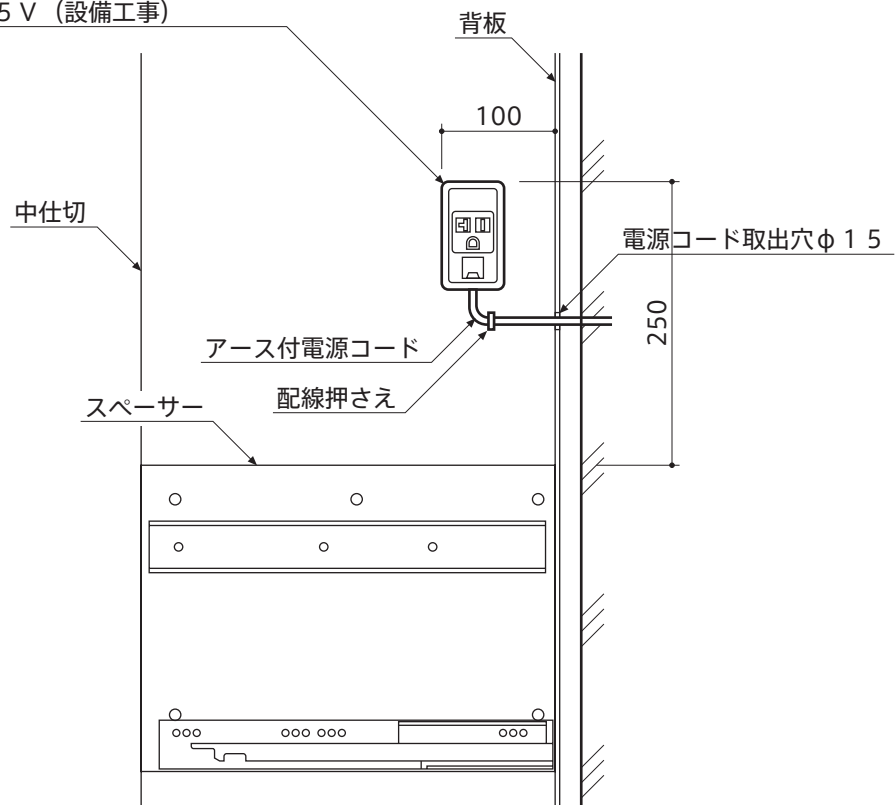
火災、感電の原因になることがあります。

※アース付家電製品をご使用になる場合は、別途アース付コンセントを設置してください。

- ・事前にコンセント取付位置付近にアース付電源コードを壁出ししておきます。
- ・コンセント取付位置付近の背板に電源コード取出穴φ15をあけます。
- ・事前に壁出ししておいた電源コードをユニット内に引き込み、中仕切の指定位置（下図参照）に15A・20A兼用露出アースターミナル付接地コンセント20A 125Vを取付けます。
- ・電源コードのたるんでいる部分を配線押さえにて固定してください。

※イラストは、スライド収納庫の右側の中仕切の場合を示しますが、左右どちらでも取付け可能です。  
使用用途に合わせて取付けてください。

15A・20A兼用  
露出アースターミナル付接地コンセント  
20A 125V（設備工事）



## 取付・設置後の確認

- ・引き戸の目地を確認してください。
- ・上下部ローラーが上下レールにはまっているか確認してください。
- ・引き戸の開閉具合を確認してください。

## 取付・設置後の点検・清掃

- ① 「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ② 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いか調べてください。

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（P B） F☆☆☆☆
	M D F F☆☆☆☆
	合 板 F☆☆☆☆
	接着剤 F☆☆☆☆

VOC放散性能	4 VOC基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。  
詳しくは、[store.toyokitchen.co.jp](https://store.toyokitchen.co.jp)をご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>  
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

### お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00~18:00（※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く）〉  
メー ル tks@toyo1.toyokitchen.co.jp  
F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも  
修理／メンテナンスの  
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

